

平成十五年四月二十五日受領  
答 弁 第 三 四 号

内閣衆質一五六第三四号

平成十五年四月二十五日

内閣総理大臣 小泉純一郎

衆議院議長 綿貫民輔殿

衆議院議員保坂展人君提出刑務官による受刑者暴行死傷事件に関する質問に対し、別紙答弁書を送付する。

衆議院議員保坂展人君提出刑務官による受刑者暴行死傷事件に関する質問に対する答弁書

(1) について

特別公務員暴行陵虐致死罪の公訴時効は、七年である。

(2) について

平成八年から平成十四年までの間に全国の行刑施設（刑務所、少年刑務所及び拘留所をいう。以下同じ。）及び少年院で死亡した被収容者に係る施設名、性別、死亡時の年齢及び死亡の経緯について、受刑者に係るものは別表一、少年院の在院者に係るものは別表二のとおりである。

罪名（非行事実）及び確定判決（保護処分決定）については、これらを公にすると、特定の個人を識別することができることとなるため、答弁することは差し控えたい。

(3) について

矯正施設（刑務所、少年刑務所、拘留所、少年院、少年鑑別所及び婦人補導院をいう。以下同じ。）の被収容者が死亡した場合（死刑執行を除く。）には、矯正臨時報告規程（平成八年法務省矯正総訓第五百二十号大臣訓令）に基づき、当該矯正施設の長が、法務省矯正局長及び当該矯正施設の所在地を管轄する矯

正管区の長に対し、その都度、遅滞なく報告することとしている。

このうち、被收容者の死亡が、自殺、作業上又は職業補導上の事故死、食中毒死等自然死以外のものによる場合及び被收容者に対する殺傷行為により生じた場合には、矯正緊急報告規程（平成八年法務省矯正総訓第五百十六号大臣訓令）に基づき、報告を要する事実を知ったときは、直ちに電話又はファクシミリ通信により、当該矯正施設の長が、法務省矯正局長及び当該矯正施設の所在地を管轄する矯正管区の長に対し報告を行うとともに、速やかに書面による報告を行うこととしている。

法務省矯正局及び矯正管区においては、これらの報告を受けた場合には、個別の事案ごとに内容を精査した上、より詳細な調査を指示して報告を求めるなどしているところである。

#### （4）について

矯正施設において被收容者の死亡事案があり、当該矯正施設の長から法務省矯正局長に報告があつた場合には、その中で特に重要と思われるものについて、法務大臣に報告することとしている。

#### （5）について

刑務官は、原則として、人事院が実施する刑務官採用試験の合格者から採用している。採用に当たって

は、同試験の合格者について、矯正管区又は行刑施設の幹部職員が採用面接を行い、積極性、堅実性、判断力等について、それぞれ具体的に評価し、刑務官として適正に職務を遂行できるかどうかを慎重に見極めた上、採用を行っている。

(6) について

刑務官の研修制度には、刑務官として必要な学術及び技能を修得させるための基礎的教育訓練を行う初等科研修、初級幹部職員として部下を指導監督するに足りる学術及び技能を修得させるための教育訓練を行う中等科研修並びに上級幹部職員として部下を指導監督するに足りる学術及び技能を修得させるための教育訓練を行う高等科研修があり、昇任については、卒業した研修の種類により区分されたグループごとに管理する制度としている。

すなわち、初等科研修のみ卒業した者については、主任矯正処遇官（公安職俸給表（一）四級）まで昇任できることとしている。また、国家公務員採用Ⅱ種試験の合格者から採用され、又は初等科研修卒業後に競争試験による選抜を経て、中等科研修を卒業した者（更に高等科研修を卒業した者を除く。）については、行刑施設の係長等（公安職俸給表（一）五級）まで昇任できることとしているが、再度の競争試験

による選抜を経て行刑施設の課長相当職等へも昇任できることとしている。さらに、国家公務員採用I種試験の合格者から採用され、又は中等科研修卒業後に競争試験による選抜を経て、高等科研修を卒業した者については、行刑施設の課長相当職以上へ昇任できることとしている。

刑務官の勤務評定については、公正な人事配置等に資することを目的として、原則として一年に一回実施している。

これらの研修や勤務評定は、おおむね適切に行われてきたものと考えているが、今後、これらの在り方についても十分に検討を行い、引き続き刑務官の人権意識の向上に努めてまいりたい。

(7) 及び (8) について

法務省矯正局は、刑及び勾留<sup>こうりゅう</sup>、少年院に送致する保護処分及び少年鑑別所に送致する観護の措置、補導処分並びに監置の裁判の執行に関すること等を所掌しているところ、これらの事務（関係法令案の作成等を含む。）は、検察官の行う事務と密接に関係があることから、一般に、法務省矯正局長には、検察官の行う事務にも精通し、専門的な法律知識と法律実務家としての豊かな経験を備えた検事が適任であるとして、法務省設置法（平成十一年法律第九十三号）附則第四項の規定により、これまで検事が同局長に任用

されているところである。

このような任用は、他の官職と同様に、適材適所の観点から行っているものであり、一律に検事以外の者は同局長に任用し得ないと考えているわけではない。

法務省において、調査し得た範囲でお答えすると、昭和二十七年六月三十日から昭和三十年六月三十日までの間、同局長（昭和二十七年六月三十日から同年七月三十一日までの間にあつては、法務府矯正保護局長）に、検事に任命される資格を有しない者が就いていた例がある。

(9) について

法務省において、情願の裁決の決裁に関する文書が保存されている平成十年以降について調査したところ、法務大臣が情願の裁決を決裁した例は認められなかった。

本年二月二十日以降、法務大臣は、法務副大臣又は法務大臣政務官に閲読させたものを除き、法務大臣に進達された情願書をすべて閲読している。

(10) について

情願は、行刑施設の処置に対し不服がある場合に、法務大臣等に対して行われるものであるところ、上

級の行政機関である法務大臣としては、情願で指摘された事項につき、的確に指揮監督権限を行使するな  
どして、これを誠実に処理するに当たり、国家行政組織法（昭和二十三年法律第二百十号）第十八条第一  
項に基づき、法務大臣を助け、省務を整理し、各部局及び機関の事務を監督する職務を有する者として置  
かれている法務事務次官や、同法第二十一条第一項並びに法務省組織令（平成十二年政令第二百四十八  
号）第六条第一号及び第五号に基づき、行刑施設の管理の適正につき責任を有する法務省矯正局にその長  
として置かれている法務省矯正局長に、必要かつ適切な範囲で専決による事務処理を行わせてきたもので  
ある。

また、監獄法（明治四十一年法律第二十八号）第七条及び監獄法施行規則（明治四十一年司法省令第十  
八号）第四条の規定は、情願の裁決の決裁方法等について定めるものではなく、情願の裁決について、専  
決による事務処理を認めない趣旨のものであるとは解されず、御指摘は当たらないものと考えている。

（11） について

矯正施設の被収容者の人権については、収容の目的を達成するために必要な限度において、合理的制限  
が加えられることはあるものの、十分に尊重されなければならないものであることは当然であると考える

いる。

(12) について

矯正施設の被収容者の人権侵害を防ぐことに資する法令の規定としては、例えば、監獄法第四条第一項及び第七条、監獄法施行規則第四条から第九条まで、少年院処遇規則（昭和二十四年法務府令第六十号）第四条、刑法（明治四十年法律第四十五号）第百九十三条、第百九十五条第二項及び第百九十六条等がある。

(13) について

人権擁護法案において、人権委員会は、人権の擁護に関する施策を総合的に推進し、人権が尊重される社会の実現に寄与するという同法案の目的を達成することを任務とするとされており、国民の権利擁護を図ることをその任務とするとともに、人権侵害に関する調査及び救済措置としての調停・仲裁、訴訟援助、差止請求訴訟の提起等の職務の遂行のための法律的な専門性を有する職員を擁し、人権救済に対する専門的な知識・経験の蓄積を有する法務省に置くことが最もふさわしいと考えられることから、その外局として設置することとされている。

また、人権委員会は、国家行政組織法第三条第二項に基づく独立の行政委員会として設置され、委員長及び委員の任命方法、身分保障、職権行使の独立性の保障等により、その職権の行使に当たっては内閣や所轄の大臣等から影響を受けることがないよう、高度の独立性を確保されているので、法務省が他面において行刑施設や少年院を管轄しているとしても、その外局として人権委員会を設置することに問題はないと考える。

(14) について

名古屋刑務所において、お尋ねの「口裏合わせをするためのプロジェクトチーム」を編成したことはない。

(15) について

名古屋刑務所で発生した刑務官による一連の受刑者致死傷事件については、矯正行政に対する国民の信頼を損なうものであり、矯正行政の改革を積極的に進めることによって、国民の信頼を一日も早く回復しなければならぬと考えている。

改革に際しては、刑務官の常識と世間の常識との間に、ずれが生じていないか、職員一人一人の自覚を

促すなど、抜本的な意識改革を行う必要があると考えている。

法務省においては、行刑運営の在り方全体を徹底して見直すため、有識者により構成される「行刑改革会議」を発足させたところであり、同会議からの提言も踏まえ、その具体的方策を検討してまいりたい。

別表一 受刑者

1 平成8年

整理 番号	施設名	性別	死亡時 の年齢	死亡の経緯		
				死亡年月	死 因	概 要
1	旭川刑務所	男	41歳	平成8年5月	急性心不全	雑居房で異状を発見し、救命救急措置を講じ、救急車で外部病院に搬送したが、急性心不全のため、死亡した。
2	旭川刑務所	男	44歳	平成8年11月	肝腫瘍、肝炎	独居房で異状を発見し、救急車で外部病院に搬送したが、肝腫瘍、肝炎のため、死亡した。
3	宮城刑務所	男	65歳	平成8年12月	転移性肝がん	胃がんによる胃の全摘手術を受け、病舎で治療中、症状が増悪し、転移性肝がんのため、死亡した。
4	秋田刑務所	男	45歳	平成8年2月	脳幹挫傷	講堂で運動中、他の被収容者から殴打され、意識がもうろうとしていたため、救命救急措置を講じ、救急車で外部病院に搬送したが、脳幹挫傷のため、死亡した。
5	山形刑務所	男	77歳	平成8年4月	急性呼吸循環不全	腸閉塞症のため外部病院で治療中、誤飲したおう吐物が気管に入り、急性呼吸循環不全のため、死亡した。
6	山形刑務所	男	84歳	平成8年7月	脳出血	独居房で突然意識が不明りようとなり、右半身にまひが見られたため、救急車で外部病院に搬送し、入院となったが、脳出血のため、死亡した。
7	黒羽刑務所	男	69歳	平成8年1月	脳梗塞	休養中、失禁が見られ、脳血管障害の疑いのため、外部病院に入院したが、敗血症性ショックを併発した脳梗塞のため、死亡した。
8	黒羽刑務所	男	63歳	平成8年4月	髄膜炎	病舎で治療中、呼吸困難になり、全身チアノーゼ、瞳孔散大が認められたことから、救急車で外部病院に搬送したが、髄膜炎のため、死亡した。
9	八王子医療刑務所	男	47歳	平成8年1月	がん性胸水、肝不全	直腸がん術後、肺・肝・皮膚転移、慢性C型肝炎、黄疸のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
10	八王子医療刑務所	男	66歳	平成8年1月	敗血症	肝性脳症、肝硬変、糖尿病、胃潰瘍、閉塞性黄疸のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
11	八王子医療刑務所	男	55歳	平成8年1月	呼吸不全	貧血、低蛋白血症、器質性精神障害のため病舎で治療中、症状が増悪し、呼吸不全のため、死亡した。
12	八王子医療刑務所	男	66歳	平成8年2月	肝不全	肝がん、肝硬変、高血圧、糖尿病のため病舎で治療中、症状が増悪し、肝不全のため、死亡した。
13	八王子医療刑務所	男	60歳	平成8年2月	肝細胞がん	食道がん、肝細胞がん、高血圧のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
14	八王子医療刑務所	男	64歳	平成8年2月	食道がん	食道がんのため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
15	八王子医療刑務所	男	65歳	平成8年3月	胃がん	胃がんのため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
16	八王子医療刑務所	女	53歳	平成8年4月	腭頭部がん	腭頭部がんのため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
17	八王子医療刑務所	男	65歳	平成8年5月	直腸がん(高分化型腺がん)	直腸がん術後、肝・肺転移、肝硬変のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
18	八王子医療刑務所	男	67歳	平成8年5月	肺炎	肺炎、胃がん、内痔核、気管支拡張症のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。

整理 番号	施設名	性別	死亡時 の年齢	死亡の経緯		
				死亡年月	死 因	概 要
19	八王子医療刑務所	男	52歳	平成8年6月	心不全	胃がん、上行結腸がん、がん性腹膜炎のため病舎で治療中、症状が増悪し、心不全のため、死亡した。
20	八王子医療刑務所	女	58歳	平成8年6月	肺がん	肺がん（腺がん）、がん性胸膜炎のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
21	八王子医療刑務所	男	69歳	平成8年6月	肝臓がん	肝臓がん、肝硬変、食道静脈瘤のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
22	八王子医療刑務所	男	26歳	平成8年7月	後天性免疫不全症候群	後天性免疫不全症候群のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
23	八王子医療刑務所	男	53歳	平成8年7月	胃幽門部がん	胃がん、糖尿病、内痔核のため病舎で治療中、症状が増悪し、胃幽門部がんのため、死亡した。
24	八王子医療刑務所	男	47歳	平成8年8月	肺小細胞がん	左肺がん、肛門尖圭コンジローム、胸膜炎のため病舎で治療中、症状が増悪し、肺小細胞がんのため、死亡した。
25	八王子医療刑務所	男	46歳	平成8年8月	急性呼吸不全	後天性免疫不全症候群のため病舎で治療中、症状が増悪し、急性呼吸不全のため、死亡した。
26	八王子医療刑務所	男	45歳	平成8年8月	後天性免疫不全症候群	後天性免疫不全症候群のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
27	八王子医療刑務所	男	63歳	平成8年8月	胆嚢がん	胆嚢がんのため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
28	八王子医療刑務所	男	27歳	平成8年9月	慢性骨髄性白血病	慢性骨髄性白血病のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
29	八王子医療刑務所	男	50歳	平成8年9月	カリニ肺炎	カリニ肺炎、後天性免疫不全症候群のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
30	八王子医療刑務所	男	54歳	平成8年10月	がん性腹膜炎	胃がん、転移性肝がん、がん性腹膜炎のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
31	八王子医療刑務所	男	59歳	平成8年10月	肝不全	肝硬変、食道静脈瘤、肝臓がんのため病舎で治療中、症状が増悪し、肝不全のため、死亡した。
32	八王子医療刑務所	男	56歳	平成8年11月	肺小細胞がん	肺小細胞がん、脳出血のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
33	八王子医療刑務所	男	65歳	平成8年11月	呼吸不全	肺炎のため病舎で治療中、症状が増悪し、呼吸不全のため、死亡した。
34	八王子医療刑務所	男	62歳	平成8年11月	脳出血	脳梗塞、高血圧症、脳出血のため病舎で治療中、症状が増悪し、脳出血のため、死亡した。
35	八王子医療刑務所	男	59歳	平成8年11月	食道がん（扁平上皮がん）	食道がん、肝硬変、食道静脈瘤のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
36	八王子医療刑務所	男	48歳	平成8年12月	胃がん	胃がん、骨髄転移のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
37	八王子医療刑務所	女	69歳	平成8年12月	原発性肝がん	非代償性肝硬変、難治性腹水、原発性肝がんのため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。

整理番号	施設名	性別	死亡時の年齢	死亡の経緯		
				死亡年月	死因	概要
38	八王子医療刑務所	男	32歳	平成8年12月	偶発性低体温症	無酸素脳症、肺炎のため病舎で治療中、偶発性低体温症のため、死亡した。
39	八王子医療刑務所	男	38歳	平成8年12月	肺がん	肺がんのため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
40	府中刑務所	男	64歳	平成8年1月	脳梗塞、残胃がん再発	意識障害となり、後日、昏睡状態となり、脳梗塞、残胃がん再発のため、死亡した。
41	府中刑務所	男	46歳	平成8年2月	脳出血（糖尿病、C型肝炎）	悪心、おう吐が出現し、徐々に意識障害が進行して昏睡状態となり、脳出血（糖尿病、C型肝炎）のため、死亡した。
42	府中刑務所	男	54歳	平成8年3月	自律神経原性急性循環不全（糖尿病）	職員の制止に従わず大声を発し続けることから、保護房に収容したところ、夕食時、職員の呼び掛けに反応がないため、保護房収容を解除し、集中治療室で治療を始めたが、次第に状態が悪化し、自律神経原性急性循環不全（糖尿病）のため、死亡した。
43	府中刑務所	男	75歳	平成8年3月	呼吸不全（肺結核）	陳旧性肺結核のため治療中、呼吸機能が低下し、救命救急措置を講じたが、呼吸不全（肺結核）のため、死亡した。
44	府中刑務所	男	66歳	平成8年5月	窒息による低酸素脳症（誤嚥性気道閉塞）	昼食時、食物による誤嚥性気道閉塞から、心肺停止、意識障害を起こし、外部病院に搬送したが、窒息による低酸素脳症のため、死亡した。
45	府中刑務所	男	61歳	平成8年6月	脳血管障害（口唇がん手術後）	意識障害を発症し、口唇がん手術のため口内変形等から気道確保が困難となり、脳血管障害のため、死亡した。
46	府中刑務所	男	74歳	平成8年8月	不整脈による心不全	不整脈による心不全を起こし、症状が増悪し、死亡した。
47	府中刑務所	男	64歳	平成8年12月	頭蓋内出血の疑い（左冠動脈前下行枝粥状硬化症に基づく急性冠不全）	幻覚妄想状態のため、休養中、大声・静穏阻害のため、保護房に収容され、解除の後、頭蓋内出血疑い（左冠動脈前下行枝粥状硬化症に基づく急性冠不全）のため、死亡した。
48	府中刑務所	男	42歳	平成8年12月	脳出血	脳出血で左上下肢まひが出現したため、救命救急措置を講じたが、症状が増悪し、死亡した。
49	府中刑務所	男	59歳	平成8年12月	脳出血	意識消失、四肢硬直が出現し、救命救急措置を講じたが、呼吸停止、チアノーゼが出現し、脳出血のため、死亡した。
50	横浜刑務所	男	43歳	平成8年1月	心筋梗塞	独居房で異状を発見し、投薬等のため一時快方に向かったものの、その後意識不明となり、救命救急措置を講じ、救急車で外部病院に搬送したが、心筋梗塞のため、死亡した。
51	水戸少年刑務所	男	31歳	平成8年5月	急性肺水腫	独居房で顔死を凶っているところを発見し、救急車で外部病院に搬送したが、急性肺水腫のため、死亡した。
52	金沢刑務所	男	55歳	平成8年1月	心筋梗塞（疑い）	高脂血症で治療中、朝点検後に倒れ、外部病院に搬送し、心肺蘇生術が施されたが、心筋梗塞（疑い）のため、死亡した。
53	金沢刑務所	男	63歳	平成8年1月	慢性肝不全	C型肝炎で経過観察中のところ、症状が急変したため、外部病院に搬送、入院したが、慢性肝不全のため、死亡した。

整理 番号	施設名	性別	死亡時 の年齢	死亡の経緯		
				死亡年月	死 因	概 要
54	名古屋刑務所	男	58歳	平成8年1月	肝性脳症	肝硬変，食道静脈瘤，消化管出血のため病舎で治療中，症状が増悪し，肝性脳症のため，死亡した。
55	名古屋刑務所	男	78歳	平成8年1月	急性心不全	多発性脳梗塞，右半身まひのため病舎で治療中，急性心不全のため，死亡した。
56	名古屋刑務所	男	80歳	平成8年1月	転移性肺がん	胃がんのため病舎で治療中，症状が増悪し，転移性肺がんのため，死亡した。
57	名古屋刑務所	男	50歳	平成8年1月	ぼうこう 膀胱がん	直腸腫瘍による膀胱浸潤のため病舎で治療中，膀胱がんのため，死亡した。
58	名古屋刑務所	男	62歳	平成8年2月	肝がん	胆石症及び肝腫瘍のため病舎で治療中，肝がんのため，死亡した。
59	名古屋刑務所	男	69歳	平成8年4月	肝臓がん	肝腫瘍のため病舎で治療中，肝臓がんのため，死亡した。
60	名古屋刑務所	男	64歳	平成8年5月	呼吸不全	脳血管障害のため病舎で治療中，呼吸不全のため，死亡した。
61	名古屋刑務所	男	49歳	平成8年7月	肺梗塞	胆嚢摘出術を行い経過観察中，症状が急変し，肺梗塞のため，死亡した。
62	名古屋刑務所	男	53歳	平成8年8月	急性心不全	雑居房で突然，胸痛発作を起こし，救命救急措置を講じたが，急性心不全のため，死亡した。
63	名古屋刑務所	男	59歳	平成8年10月	く 腹腔内出血	肝腫瘍破裂による出血のため病舎で治療中，症状が増悪し，腹腔内出血のため，死亡した。
64	大阪刑務所	男	53歳	平成8年1月	急性循環不全	糖尿病のため治療中，昏睡状態となり，救命救急措置を講じたが，急性循環不全のため，死亡した。
65	大阪刑務所	男	74歳	平成8年1月	心不全	心不全の疑いのため病舎で治療中，症状が増悪し，心不全のため，死亡した。
66	大阪刑務所	男	64歳	平成8年10月	後腹膜転移及 びがん性胸膜炎	胃がん，がん性胸膜炎のため病舎で治療中，症状が増悪し，後腹膜転移及びがん性胸膜炎のため，死亡した。
67	大阪医療刑務所	男	71歳	平成8年2月	じん 急性腎不全	腹部大動脈瘤，高血圧，腸閉塞，肺炎のため治療中，急性腎不全のため，死亡した。
68	大阪医療刑務所	男	60歳	平成8年3月	胃がん	胃がん，陳旧性心筋梗塞のため治療中，胃がんのため，死亡した。
69	大阪医療刑務所	男	58歳	平成8年4月	肝腫瘍	肝腫瘍，C型肝炎のため治療中，症状が増悪し，死亡した。
70	大阪医療刑務所	男	49歳	平成8年5月	胃がん，がん 性腹膜炎	胃がん，がん性腹膜炎のため治療中，症状が増悪し，死亡した。
71	大阪医療刑務所	男	39歳	平成8年5月	肝がん	肝がんのため治療中，症状が増悪し，死亡した。
72	大阪医療刑務所	男	70歳	平成8年6月	胃がん，がん 性腹膜炎	胃がん術後，がん性腹膜炎のため治療中，症状が増悪し，死亡した。
73	大阪医療刑務所	男	51歳	平成8年6月	慢性腎不全	慢性腎不全のため治療中，症状が増悪し，死亡した。

整理 番号	施設名	性別	死亡時 の年齢	死亡の経緯		
				死亡年月	死 因	概 要
74	大阪医療刑務所	男	47歳	平成8年7月	肺結核症	肺結核、糖尿病のため治療中、症状が増悪し、肺結核のため、死亡した。
75	大阪医療刑務所	男	49歳	平成8年7月	急性骨髄性白血病	急性骨髄性白血病のため治療中、症状が増悪し、死亡した。
76	大阪医療刑務所	男	58歳	平成8年7月	肝不全	肝がん再発による閉塞性黄疸のため治療中、症状が増悪し、肝不全のため、死亡した。
77	大阪医療刑務所	男	73歳	平成8年8月	転移性肺胸壁腫瘍	転移性肺胸壁腫瘍のため治療中、症状が増悪し、死亡した。
78	大阪医療刑務所	男	57歳	平成8年8月	肝細胞がん破裂	肝細胞がんのため治療中、肝細胞がん破裂のため、死亡した。
79	大阪医療刑務所	男	73歳	平成8年9月	敗血症	脳梗塞後遺症の疑い、敗血症等のため治療中、敗血症のため、死亡した。
80	大阪医療刑務所	男	52歳	平成8年10月	悪性リンパ腫	転移性肝腫瘍等の全身性の転移のため治療中、悪性リンパ腫のため、死亡した。
81	大阪医療刑務所	男	76歳	平成8年10月	肺がん	胃がん、肝転移巣のため治療中、肺がんを併発し、死亡した。
82	大阪医療刑務所	男	55歳	平成8年11月	肝硬変、肝不全	肝硬変、食道静脈瘤のため治療中、肝硬変、肝不全のため、死亡した。
83	大阪医療刑務所	男	65歳	平成8年11月	残胃がん	残胃がんのため治療中、症状が増悪し、死亡した。
84	神戸刑務所	男	54歳	平成8年10月	食道静脈瘤破裂	独居房で多量の吐血をし、脈拍微弱、意識障害等が確認されたため、外部病院に搬送したが、食道静脈瘤破裂のため、死亡した。
85	神戸刑務所	男	64歳	平成8年5月	脳出血	脳血管障害のため治療中、意識障害が出現したため、外部病院に搬送したが、脳出血のため、死亡した。
86	松江刑務所	男	44歳	平成8年7月	熱射病	保護房収容中、異状を発見し、救命救急措置を講じ、救急車で外部病院に搬送したが、熱射病のため、死亡した。
87	岡山刑務所	男	61歳	平成8年4月	肺炎	肺炎のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
88	広島刑務所	男	62歳	平成8年6月	気管支喘息	独居房で異状を発見し、救命救急措置を講じ、救急車で外部病院に搬送したが、気管支喘息のため、死亡した。
89	広島刑務所	男	57歳	平成8年12月	急性心不全	通路で仰向けに倒れ、血圧低下、意識レベルの低下が認められたため、救急車で外部病院に搬送したが、急性心不全のため、死亡した。
90	徳島刑務所	男	81歳	平成8年10月	肺炎	肺炎のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
91	福岡刑務所	男	67歳	平成8年1月	胃がん	胃がんのため病舎で治療中、容態が急変したため、救命救急措置を講じたが、死亡した。
92	福岡刑務所	男	45歳	平成8年1月	急性心不全	糖尿病、慢性C型肝炎のため治療中、併せて感冒の治療も行っていたところ、容態が急変し、救命救急措置を講じたが、急性心不全のため、死亡した。

(注1) 「死亡の経緯」中の「死因」については、原則として、死亡診断書又は死体検案書に基づき記載し、これらの文書が施設における保存期限を過ぎ、保存されていない場合には、死亡帳その他関係文書に基づき記載している(以下同じ。)

なお、刑務官に係る刑事事件に係属中のものについては、法務省に設置された「行刑運営に関する調査検討委員会」作成の「行刑運営の実情に関する中間報告」に基づき「死因」及び「概要」を記載している。

(注2) 「施設名」については、平成8年から平成14年までの間に組織の改編等があった場合であっても、平成15年4月現在の施設名で表記している(以下同じ。)

## 2 平成9年

整理 番号	施設名	性別	死亡時 の年齢	死亡の経緯		
				死亡年月	死 因	概 要
93	札幌刑務所	男	40歳	平成9年4月	けいれん 痙攣発作による窒息	独居房で倒れているのを発見し、救命救急措置を講じ、救急車で外部病院に搬送したが、痙攣発作による窒息のため、死亡した。
94	札幌刑務所	男	56歳	平成9年6月	急性心筋梗塞	不整脈等のため独居房で治療中、食道付近が痛いとの訴えがあり、その後容態が悪化したため、外部病院に搬送したが、急性心筋梗塞のため、死亡した。
95	札幌刑務所	男	51歳	平成9年7月	急性心不全	急性腸炎のため病舎で治療中、突然倒れたため、救急車で外部病院に搬送したが、急性心不全のため、死亡した。
96	函館少年刑務所	男	75歳	平成9年4月	吐瀉物による窒息	肺炎等のため治療中、昼食後、急にむせて呼吸困難、意識消失状態に陥ったことから、外部病院に搬送したが、吐瀉物による窒息のため、死亡した。
97	宮城刑務所	男	40歳	平成9年2月	脳内出血	雑居房で頭痛及び左半身まひを発症し、昏睡状態となったことから、外部病院に搬送したが、脳内出血のため、死亡した。
98	宮城刑務所	男	79歳	平成9年5月	肺炎	結核性胸膜炎のため病舎で治療中、肺炎を発症するなど症状が増悪し、死亡した。
99	宮城刑務所	男	59歳	平成9年9月	転移性多発性骨腫瘍	転移性多発性骨腫瘍のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
100	宮城刑務所	男	70歳	平成9年12月	肝硬変	肝機能悪化、腸閉塞、消化管出血のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
101	山形刑務所	男	40歳	平成9年1月	うっ血性心不全	精神分裂病（統合失調症）のため、房内汚染等の異常行動を反復することから保護房に収容し、動静を視察していたところ、異状を発見し、救命救急措置を講じ、救急車で外部病院に搬送したが、うっ血性心不全のため、死亡した。
102	福島刑務所	男	68歳	平成9年3月	急性心筋梗塞	雑居房で突然おう吐して倒れ、意識不明の状態になったため、救命救急措置を講じ、救急車で外部病院に搬送したが、急性心筋梗塞のため、死亡した。
103	黒羽刑務所	男	29歳	平成9年3月	はん 汎発性血管内凝固症	食欲不振による体重減少のため病舎で休養中、急激な血圧低下が認められ、心不全による心停止のおそれが認められたことから、外部病院に搬送したが、汎発性血管内凝固症のため、死亡した。
104	黒羽刑務所	男	43歳	平成9年9月	虚血性心疾患	意識消失及び全身チアノーゼが認められ、心原性ショックの疑いがあったことから、救急車で外部病院に搬送したが、虚血性心疾患のため、死亡した。
105	前橋刑務所	男	57歳	平成9年3月	脳出血	夕食喫食後、めまい、吐き気を訴えた後、意識消失、昏睡状態となったため、外部病院に搬送したが、脳出血のため、死亡した。
106	千葉刑務所	男	53歳	平成9年6月	呼吸不全	肺がんの疑いのため病舎で治療中、症状が増悪し、救命救急措置を講じ、救急車で外部病院に搬送したが、呼吸不全のため、死亡した。
107	千葉刑務所	男	55歳	平成9年10月	縊死	工場内での休憩時間中、縊死を図っているところを発見し、救命救急措置を講じ、救急車で外部病院に搬送したが、死亡した。
108	千葉刑務所	男	67歳	平成9年12月	呼吸不全	精神分裂病（統合失調症）のため病舎で治療中、食物をのどに詰まらせたため、救命救急措置を講じ、救急車で外部病院に搬送したが、呼吸不全のため、死亡した。
109	八王子医療刑務所	男	44歳	平成9年1月	肝不全	肺結核、糖尿病、閉塞性黄疸、膵頭部がんのため病舎で治療中、症状が増悪し、肝不全のため、死亡した。

整理番号	施設名	性別	死亡時の年齢	死亡の経緯		
				死亡年月	死 因	概 要
110	八王子医療刑務所	男	61歳	平成9年1月	上行結腸がん	上行結腸がんのため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
111	八王子医療刑務所	男	47歳	平成9年2月	がん性腹膜炎	胃がん術後イレウス、がん性腹膜炎のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
112	八王子医療刑務所	男	56歳	平成9年2月	口腔底がん	口腔底がんのため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
113	八王子医療刑務所	男	56歳	平成9年3月	胃がん	胃がん、多発性肝転移、腹膜転移の疑いのため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
114	八王子医療刑務所	男	66歳	平成9年3月	肝臓がん	肝細胞がん、肝硬変のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
115	八王子医療刑務所	男	38歳	平成9年3月	大腸がん	大腸がんのため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
116	八王子医療刑務所	男	60歳	平成9年4月	肺がん	肺がんのため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
117	八王子医療刑務所	男	67歳	平成9年4月	肝細胞がん	肝細胞がん、食道静脈瘤、肝硬変、腹壁腫瘤、肝細胞がん骨転移のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
118	八王子医療刑務所	男	56歳	平成9年4月	肝不全	肝不全、肝硬変、食道静脈瘤、胆石症、糖尿病のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
119	八王子医療刑務所	男	58歳	平成9年4月	肺がん脳転移	肺がん再発、肺がん脳転移のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
120	八王子医療刑務所	男	49歳	平成9年4月	食道がん	食道がん、右頸部リンパ節転移のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
121	八王子医療刑務所	男	51歳	平成9年4月	カリニ肺炎	後天性免疫不全症候群、両側カリニ肺炎のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
122	八王子医療刑務所	男	64歳	平成9年4月	がん性リンパ管症	大腸がん、がん性リンパ管症、胆内胆管がんのため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
123	八王子医療刑務所	男	55歳	平成9年4月	胸腺腫瘍	胸腺腫瘍、肝硬変症、肝細胞がん疑い、食道静脈瘤のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
124	八王子医療刑務所	男	50歳	平成9年4月	直腸がん	直腸がんのため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
125	八王子医療刑務所	男	68歳	平成9年5月	肺炎	肺炎のため病舎において治療中、症状が増悪し、死亡した。
126	八王子医療刑務所	男	59歳	平成9年5月	肺炎	多発脳梗塞、脳梗塞後遺症、肺炎のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
127	八王子医療刑務所	男	61歳	平成9年5月	肺炎	脳出血、脳梗塞後遺症、肺炎のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
128	八王子医療刑務所	男	62歳	平成9年5月	胃がん	胃がんのため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
129	八王子医療刑務所	男	46歳	平成9年6月	肺がん	肺がんのため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。

整理番号	施設名	性別	死亡時の年齢	死亡の経緯		
				死亡年月	死因	概要
130	八王子医療刑務所	男	45歳	平成9年6月	食道がん	食道がんのため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
131	八王子医療刑務所	男	59歳	平成9年6月	大腸がん	大腸がん、転移性肺がん、肝硬変、食道静脈瘤、高血圧、内痔核のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
132	八王子医療刑務所	男	59歳	平成9年6月	左腎細胞がん、肝・肺・脳・骨転移	左腎細胞がん、左腎細胞がん肝・肺・脳・骨転移のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
133	八王子医療刑務所	男	55歳	平成9年7月	胃がん	胃がん、高血圧、下血のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
134	八王子医療刑務所	女	57歳	平成9年7月	子宮体がん	子宮体がんのため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
135	八王子医療刑務所	男	53歳	平成9年8月	肺がん	右肺がん、糖尿病、C型肝炎のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
136	八王子医療刑務所	男	72歳	平成9年8月	右顎下腺腫瘍	右顎下腺腫瘍のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
137	八王子医療刑務所	男	73歳	平成9年9月	肝がん	肝がん、肝硬変、高血圧症、左腎多発性のう胞、耐糖能異常のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
138	八王子医療刑務所	男	58歳	平成9年9月	胃がん	胃がん、がん性腹膜炎、狭心症、高血圧症、C型肝炎、インシュリン非依存性糖尿病のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
139	八王子医療刑務所	男	49歳	平成9年10月	喉頭がん	喉頭がんのため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
140	八王子医療刑務所	男	53歳	平成9年10月	がん性腹膜炎	腹水、転移性肝腫瘍、膵頭部腫瘍のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
141	八王子医療刑務所	男	64歳	平成9年10月	進行胃がん	進行胃がん、貧血、C型肝炎、食道静脈瘤、肝硬変、精神分裂病（統合失調症）のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
142	八王子医療刑務所	男	59歳	平成9年10月	脳出血	脳出血、肺炎、肝硬変（非代償期）、食道静脈瘤、肝性脳症、インシュリン非依存性糖尿病のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
143	八王子医療刑務所	男	61歳	平成9年10月	右肺がん	右肺がん、右顎下リンパ節転移のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
144	八王子医療刑務所	男	21歳	平成9年11月	心内膜炎	心内膜炎、敗血症、心不全、大動脈弁閉鎖不全のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
145	八王子医療刑務所	男	65歳	平成9年11月	膝がん	膝腫瘍のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
146	八王子医療刑務所	男	39歳	平成9年12月	肺がん	肺がんのため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
147	八王子医療刑務所	男	66歳	平成9年12月	慢性骨髄性白血病	慢性骨髄性白血病、肝硬変、左白内障、イレウスのため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
148	八王子医療刑務所	男	55歳	平成9年12月	肝不全	肝細胞がん、肝硬変、肝性脳症、食道静脈瘤のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
149	八王子医療刑務所	男	67歳	平成9年12月	うっ血性心不全	うっ血性心不全、慢性腎不全のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。

整理 番号	施設名	性別	死亡時 の年齢	死亡の経緯		
				死亡年月	死 因	概 要
150	府中刑務所	男	63歳	平成9年1月	てんかん発作による窒息（気道閉塞）	就寝中、てんかん発作を起こし意識消失したため、救命救急措置を講じたが、窒息のため、死亡した。
151	府中刑務所	男	47歳	平成9年1月	胃・食道静脈瘤破裂	入所時、肝硬変、胃・食道静脈瘤が認められ、突然大量吐血したため、外部病院に搬送したが、胃・食道静脈瘤破裂のため、死亡した。
152	府中刑務所	男	45歳	平成9年1月	喘息重積発作	喘息発作のため、治療を行っていたが、症状が増悪し、喘息重積発作のため、死亡した。
153	府中刑務所	男	71歳	平成9年2月	大腸がん、肺がん	老人性痴呆 <sup>ぼう</sup> 、パーキンソン病の悪化のため病舎で治療中、大量の下血、貧血のため輸血の救命救急措置を講じたが、大腸がん、肺がんのため、死亡した。
154	府中刑務所	男	38歳	平成9年6月	覚せい剤中毒後遺症による急性心不全	不穏興奮状態にあり、その後、自発呼吸が低下し、人工呼吸を開始したものの、覚せい剤中毒後遺症による急性心不全のため、死亡した。
155	府中刑務所	男	54歳	平成9年8月	脳幹（中脳）出血	右半身まひ、頭痛のため、外部病院に搬送したが、脳幹（中脳）出血のため、死亡した。
156	府中刑務所	男	48歳	平成9年9月	急性心筋梗塞	居房で頭痛、不整脈等の症状が出現し、意識消失、失禁、呼吸停止状態となり、救命救急措置を講じたが、急性心筋梗塞のため、死亡した。
157	府中刑務所	男	49歳	平成9年11月	頸部圧迫による窒息（縊死）	居房で縊死を凶っているところを発見し、救命救急措置を講じたが、頸部圧迫による窒息のため、死亡した。
158	横浜刑務所	男	41歳	平成9年3月	縊死	独居房で縊死を凶っているところを発見し、救命救急措置を講じたが、死亡した。
159	横浜刑務所	男	65歳	平成9年5月	呼吸不全	独居房で異状を発見し、救命救急措置を講じ、救急車で外部病院に搬送したが、呼吸不全のため、死亡した。
160	横浜刑務所	男	64歳	平成9年12月	肺出血	脳幹出血のため、外部病院に入院中、肺出血のため、死亡した。
161	新潟刑務所	男	44歳	平成9年1月	食道静脈瘤破裂	貧血、肝硬変症（C型肝炎）、食道静脈瘤のため病舎で治療中、胸が苦しいと訴え、口から少量の吐血があり、呼びかけても応答がなかったため、救命救急措置を講じたが、食道静脈瘤破裂のため、死亡した。
162	長野刑務所	男	73歳	平成9年11月	脳出血	腰痛、老人性痴呆症のため病舎で治療中、異状を発見し、外部病院に搬送したが、脳出血のため、死亡した。
163	川越少年刑務所	男	57歳	平成9年3月	肺がん	肺がんの疑い、両側胸水、腹水及び左側無気肺が認められたため、外部病院に入院していたが、容態が急変し、同病院で死亡した。
164	東京拘置所	男	63歳	平成9年4月	肝硬変	肝硬変、糖尿病、潰瘍性大腸炎等のため、外部病院に入院していたが、症状が増悪し、死亡した。
165	東京拘置所	男	28歳	平成9年4月	縊死による窒息	縊死を凶っているところを発見し、外部病院に搬送したが、窒息のため、死亡した。
166	福井刑務所	男	62歳	平成9年6月	急性心不全	心不全のため病舎で治療中、異状を発見し、救命救急措置を講じ、救急車で外部病院に搬送したが、急性心不全のため、死亡した。
167	笠松刑務所	女	21歳	平成9年3月	急性心不全	うつ伏したまま横臥し、反応がなかったため、救命救急措置を講じ、救急車で外部病院に搬送したが、急性心不全のため、死亡した。

整理 番号	施設名	性別	死亡時 の年齢	死亡の経緯		
				死亡年月	死 因	概 要
168	岡崎医療刑務所	男	71歳	平成9年11月	急性心不全	雑居房でおう吐物（コーヒー残渣様吐物）が口内に詰まり意識消失し、自発呼吸も認められない状態で発見し、救命救急措置を講じたが、急性心不全のため、死亡した。
169	名古屋刑務所	男	51歳	平成9年5月	肝がん	肝細胞がん、肝硬変等のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
170	名古屋刑務所	男	49歳	平成9年7月	胃がん	胃がんのため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
171	名古屋刑務所	男	50歳	平成9年7月	脳血管障害	脳卒中のため病舎で治療中、症状が増悪し、脳血管障害のため、死亡した。
172	名古屋刑務所	男	61歳	平成9年8月	脳血管障害	脳血管障害のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
173	名古屋刑務所	男	53歳	平成9年9月	肺炎	肺炎のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
174	名古屋刑務所	男	65歳	平成9年10月	急性心筋梗塞	雑居房で異状を発見し、救命救急措置を講じたが、急性心筋梗塞で死亡した。
175	名古屋刑務所	男	56歳	平成9年11月	肝不全	肝硬変、肝性脳症のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
176	名古屋刑務所	男	58歳	平成9年11月	消化管出血	消化管出血のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
177	名古屋刑務所	男	72歳	平成9年12月	膵がん	膵がんのため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
178	京都刑務所	男	86歳	平成9年3月	胆嚢炎	胆嚢炎のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
179	大阪刑務所	男	45歳	平成9年2月	急性呼吸不全	上半身筋萎縮進行のため治療中、症状が増悪し、死亡した。
180	大阪刑務所	男	50歳	平成9年3月	心不全	独居房で異状を発見し、救命救急措置を講じたが、心不全のため、死亡した。
181	大阪刑務所	男	66歳	平成9年4月	脊髄性進行性筋萎縮症による呼吸不全	脊髄性進行性筋萎縮症のため治療中、症状が増悪し、死亡した。
182	大阪刑務所	男	66歳	平成9年6月	悪性リンパ腫	悪性リンパ腫のため治療中、症状が増悪し、死亡した。
183	大阪刑務所	男	77歳	平成9年8月	心筋梗塞	まひ性イレウスのため治療中、心筋梗塞による意識消失状態に陥り、死亡した。
184	大阪刑務所	男	53歳	平成9年8月	急性心筋梗塞（疑い）	居房で突然おう吐し、意識消失、呼吸停止状態に陥ったため、救命救急措置を講じたが、急性心筋梗塞（疑い）のため、死亡した。
185	大阪刑務所	男	57歳	平成9年9月	胃静脈瘤破裂	消化管出血の疑いのため治療中、症状が増悪し、胃静脈瘤破裂のため、死亡した。

整理番号	施設名	性別	死亡時の年齢	死亡の経緯		
				死亡年月	死因	概要
186	大阪刑務所	男	90歳	平成9年12月	皮膚がん及び両側頸部リンパ節転移	両側頸部リンパ節がん転移のため治療中、症状が増悪し、死亡した。
187	大阪医療刑務所	男	64歳	平成9年1月	肝がん	肝がん、肝硬変のため治療中、症状が増悪し、死亡した。
188	大阪医療刑務所	男	54歳	平成9年1月	脳梗塞、喉頭がん	喉頭がんのため治療中、症状が増悪し、脳梗塞を併発し、死亡した。
189	大阪医療刑務所	男	52歳	平成9年1月	肺がん	肺がんのため治療中、症状が増悪し、死亡した。
190	大阪医療刑務所	男	61歳	平成9年1月	肝性脳症	肝硬変のため治療中、症状が増悪し、死亡した。
191	大阪医療刑務所	男	54歳	平成9年2月	肝不全	食道静脈瘤破裂等のため治療中、症状が増悪し、死亡した。
192	大阪医療刑務所	男	51歳	平成9年3月	肝がん	肝がんのため治療中、症状が増悪し、死亡した。
193	大阪医療刑務所	男	81歳	平成9年3月	食道がん	食道がんのため治療中、症状が増悪し、死亡した。
194	大阪医療刑務所	男	63歳	平成9年3月	糖尿病性慢性腎不全症	糖尿病、糖尿病性慢性腎不全症等のため治療中、症状が増悪し、死亡した。
195	大阪医療刑務所	男	61歳	平成9年4月	肺がん	肺がん、がん性胸膜炎等のため治療中、症状が増悪し、死亡した。
196	大阪医療刑務所	男	65歳	平成9年4月	直腸がん	直腸がんのため治療中、症状が増悪し、死亡した。
197	大阪医療刑務所	男	60歳	平成9年5月	肝不全	肝不全のため治療中、症状が増悪し、死亡した。
198	大阪医療刑務所	男	62歳	平成9年5月	胃がん	胃がん、頸部転移性リンパ節腫脹のため治療中、症状が増悪し、死亡した。
199	大阪医療刑務所	男	49歳	平成9年5月	胃がん	胃がんのため治療中、症状が増悪し、死亡した。
200	大阪医療刑務所	男	49歳	平成9年5月	腹部腫瘤	腹部腫瘤のため治療中、症状が増悪し、死亡した。
201	大阪医療刑務所	男	53歳	平成9年5月	肝臓がん	肝臓がんのため治療中、症状が増悪し、死亡した。
202	大阪医療刑務所	男	60歳	平成9年5月	がん性腹胸膜炎	転移性リンパ節腫のため治療中、がん性腹胸膜炎を発症し、死亡した。
203	大阪医療刑務所	男	51歳	平成9年6月	肺がん	肺がんのため治療中、症状が増悪し、死亡した。
204	大阪医療刑務所	男	62歳	平成9年7月	胃がん	胃がん、高血圧症等のため治療中、症状が増悪し、死亡した。
205	大阪医療刑務所	男	62歳	平成9年7月	原発性肝がん	原発性肝がんのため治療中、症状が増悪し、死亡した。

整理 番号	施設名	性別	死亡時 の年齢	死亡の経緯		
				死亡年月	死 因	概 要
206	大阪医療刑務所	男	49歳	平成9年7月	肝がん	肝がんのため治療中、症状が増悪し、死亡した。
207	大阪医療刑務所	男	76歳	平成9年8月	膀胱がん	膀胱がんのため治療中、症状が増悪し、死亡した。
208	大阪医療刑務所	男	42歳	平成9年9月	肺炎	肺炎のため治療中、症状が増悪し、死亡した。
209	大阪医療刑務所	男	66歳	平成9年9月	多発性肝腫瘍	多発性肝腫瘍、がん性腹膜炎のため治療中、症状が増悪し、死亡した。
210	大阪医療刑務所	男	50歳	平成9年9月	肝がん、肝硬変	肝がんのため治療中、症状が増悪し、肝がん、肝硬変のため、死亡した。
211	大阪医療刑務所	男	50歳	平成9年9月	消化管出血、胃潰瘍	食道静脈瘤、胃潰瘍、肝硬変、肝がん等のため治療中、症状が増悪し、消化管出血、胃潰瘍のため、死亡した。
212	大阪医療刑務所	男	56歳	平成9年11月	脳腫瘍（移転性）、肺がん	脳腫瘍のため治療中、症状が増悪し、脳腫瘍（移転性）、肺がんのため、死亡した。
213	大阪医療刑務所	男	57歳	平成9年12月	呼吸不全、誤嚥性肺炎	誤嚥性肺炎のため治療中、症状が増悪し、呼吸不全、誤嚥性肺炎のため、死亡した。
214	加古川刑務所	男	48歳	平成9年1月	急性心筋梗塞	発作が治まらないことから、救急車で外部病院に搬送したが、急性心筋梗塞のため、死亡した。
215	加古川刑務所	男	57歳	平成9年12月	脳内出血	糖尿病の低血糖発作のため病舎で治療中、脳内出血のため、死亡した。
216	広島刑務所	男	51歳	平成9年5月	肝不全	肝硬変のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
217	広島刑務所	男	74歳	平成9年7月	肝不全	肝不全及び肝臓がんのため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
218	広島刑務所	男	80歳	平成9年9月	肝臓がん	肝臓がん、糖尿病及び脳梗塞後左半身不全まひのため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
219	広島刑務所	男	42歳	平成9年10月	肝硬変症	肝硬変による肝性昏睡のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
220	広島刑務所	男	74歳	平成9年11月	間質性肺炎	間質性肺炎のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
221	広島刑務所	男	66歳	平成9年3月	心筋梗塞	独居房で風邪のため治療中、呼吸状態が悪化し、救急車で外部病院に搬送したが、心筋梗塞のため、死亡した。
222	山口刑務所	男	55歳	平成9年11月	急性心筋梗塞	作業中、異状を発見し、救命救急措置を講じ、救急車で外部病院に搬送したが、急性心筋梗塞のため、死亡した。
223	徳島刑務所	男	68歳	平成9年10月	急性心不全	老人性痴呆症のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
224	高松刑務所	男	48歳	平成9年4月	脳幹出血	雑居房で用便後、昏睡状態になったため、外部病院に搬送したが、脳幹出血のため、死亡した。
225	福岡刑務所	男	65歳	平成9年5月	大腸がん	大腸がんのため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。

整理 番号	施設名	性別	死亡時 の年齢	死亡の経緯		
				死亡年月	死 因	概 要
226	長崎刑務所	男	50歳	平成9年4月	肝破裂	急速にショック状態に陥ったため外部病院に搬送したが、肝細胞がんに起因する肝破裂のため、死亡した。
227	宮崎刑務所	男	37歳	平成9年12月	急性心不全 (心筋梗塞)	運動場でジョギング中に倒れ、救急車で外部病院に搬送したが、急性心不全(心筋梗塞)のため、死亡した。

## 3 平成10年

整理番号	施設名	性別	死亡時の年齢	死亡の経緯		
				死亡年月	死 因	概 要
228	札幌刑務所	男	49歳	平成10年1月	急性心不全	雑居房で異状を発見し、救命救急措置を講じ、救急車で外部病院に搬送したが、急性心不全のため、死亡した。
229	月形刑務所	男	26歳	平成10年9月	急性心不全（推定）	独居房で異状を発見し、救命救急措置を講じ、救急車で外部病院に搬送したが、急性心不全（推定）のため、死亡した。
230	宮城刑務所	男	73歳	平成10年1月	くも膜下出血	高血圧症のため投薬治療中、雑居房で突然意識を失って倒れ、外部病院に搬送したが、くも膜下出血のため、死亡した。
231	宮城刑務所	男	71歳	平成10年3月	大腸がん	直腸がん術後のため病舎で治療中、腹膜炎を併発し、死亡した。
232	宮城刑務所	男	47歳	平成10年3月	肝細胞がん	肝細胞がん、肝硬変、C型肝炎のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
233	宮城刑務所	男	66歳	平成10年5月	肺炎	前立腺がん、脳梗塞のため病舎で治療中、肺炎を併発し、死亡した。
234	宮城刑務所	男	61歳	平成10年11月	胃がん	胃がん再発の疑いのため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
235	宮城刑務所	男	63歳	平成10年12月	腓頭部がん	腓頭部がんのため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
236	宮城刑務所	男	62歳	平成10年12月	急性心不全	心不全のため病舎で治療中、多量の吐血があり、貧血症状が強くなったことから、外部病院に搬送したが、急性心不全のため、死亡した。
237	宮城刑務所	男	45歳	平成10年12月	左被殻出血	雑居房において突然倒れたことから、外部病院に搬送したが、左被殻出血のため、死亡した。
238	福島刑務所	男	42歳	平成10年1月	突然死（心筋梗塞（疑い））	工場において作業中、突然倒れ、救命救急措置を講じ、救急車で外部病院に搬送したが、心筋梗塞（疑い）のため、死亡した。
239	福島刑務所	男	71歳	平成10年2月	急性循環不全	頻尿、排尿障害のため病舎で治療中、排尿量の減少とともに、意識障害が認められたため、救命救急措置を講じ、救急車で外部病院に搬送したが、急性循環不全のため、死亡した。
240	黒羽刑務所	男	70歳	平成10年2月	心筋梗塞	突然、血圧低下等の症状のため、ショック状態となったことから、外部病院に搬送したが、心筋梗塞のため、死亡した。
241	黒羽刑務所	男	28歳	平成10年4月	不整脈の疑い	逃走企図事案により保護房収容中、反応が鈍く、意識喪失の状態であったため、外部病院に搬送したが、不整脈の疑いのため、死亡した。
242	黒羽刑務所	男	28歳	平成10年12月	虚血性心疾患	腰痛、貧血、肝機能障害の治療中、うつ伏せの状態でおう吐し、呼吸停止、意識消失していたことから、外部病院に搬送したが、虚血性心疾患のため、死亡した。
243	前橋刑務所	男	39歳	平成10年12月	肝不全	下血のため、外部病院に搬送したが、肝不全が悪化し、同病院において死亡した。
244	千葉刑務所	男	38歳	平成10年9月	いん中咽頭がん	舌腫瘍の疑いのため病舎で治療中、症状が増悪し、外部病院に搬送したが、中咽頭がんのため、死亡した。
245	八王子医療刑務所	女	32歳	平成10年1月	急性心不全	身体衰弱、低血圧症、貧血のため病舎で治療中、症状が増悪し、急性心不全のため、死亡した。

整理 番号	施設名	性別	死亡時 の年齢	死亡の経緯		
				死亡年月	死 因	概 要
246	八王子医療刑務所	男	56歳	平成10年1月	肝がん	肝がん、がん性腹膜炎、がん性胸膜炎、大腸がん疑い、腹水のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
247	八王子医療刑務所	男	44歳	平成10年1月	肝不全	肝不全のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
248	八王子医療刑務所	男	65歳	平成10年1月	直腸がん	直腸がん、転移性肝がん、C型肝炎、糖尿病のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
249	八王子医療刑務所	男	51歳	平成10年2月	肝不全	肝硬変、肝がんのため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
250	八王子医療刑務所	男	44歳	平成10年2月	肝細胞がん	肝硬変、食道静脈瘤、肝細胞がんのため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
251	八王子医療刑務所	男	60歳	平成10年2月	肺がん	肺がんのため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
252	八王子医療刑務所	男	50歳	平成10年2月	急性腎不全	心不全、糖尿病、急性腎不全のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
253	八王子医療刑務所	男	51歳	平成10年3月	肝細胞がん	肝細胞がんのため病舎で治療中、病状が増悪し、死亡した。
254	八王子医療刑務所	男	74歳	平成10年3月	肝細胞がん	慢性肝炎、肝腫瘍、食道静脈瘤のため病舎で治療中、病状が増悪し、死亡した。
255	八王子医療刑務所	男	63歳	平成10年3月	出血性ショック	肝硬変症、上部消化管出血、食道・胃静脈瘤、表層性胃炎のため病舎で治療中、病状が増悪し、死亡した。
256	八王子医療刑務所	男	47歳	平成10年3月	出血性ショック	肝細胞がん、肝硬変、食道静脈瘤、胃潰瘍 <sup>ほんこん</sup> 癒痕のため病舎で治療中、病状が増悪し、出血性ショックのため、死亡した。
257	八王子医療刑務所	男	46歳	平成10年3月	肝不全	肝硬変のため病舎で治療中、病状が増悪し、肝不全のため、死亡した。
258	八王子医療刑務所	男	60歳	平成10年3月	脳腫瘍	脳腫瘍、副鼻腔内腫瘍、肋骨転移のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
259	八王子医療刑務所	男	48歳	平成10年3月	肺炎	肺炎、低栄養状態、精神分裂病（統合失調症）のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
260	八王子医療刑務所	男	78歳	平成10年3月	左耳下腺腫瘍	左耳下腺腫瘍のため病舎で治療中、病状が増悪し、死亡した。
261	八王子医療刑務所	男	40歳	平成10年4月	上咽頭がん	上咽頭がんのため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
262	八王子医療刑務所	男	58歳	平成10年5月	膝がん	膝がん、慢性肝炎のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
263	八王子医療刑務所	男	32歳	平成10年6月	右肺がん	右肺がんのため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
264	八王子医療刑務所	男	64歳	平成10年7月	肝がん	肝細胞がん、骨転移、C型肝炎、高血圧症のため病舎で治療中、病状が増悪し、死亡した。

整理 番号	施設名	性別	死亡時 の年齢	死亡の経緯		
				死亡年月	死 因	概 要
265	八王子医療刑務所	男	58歳	平成10年7月	肝性昏睡	肝硬変、肝性脳症のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
266	八王子医療刑務所	男	48歳	平成10年7月	心筋梗塞	心筋梗塞のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
267	八王子医療刑務所	男	62歳	平成10年8月	呼吸不全	甲状腺がんのため病舎で治療中、症状が増悪し、呼吸不全のため、死亡した。
268	八王子医療刑務所	男	48歳	平成10年8月	肝硬変	肝硬変症、食道静脈瘤、左大腿骨転子間骨折のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
269	八王子医療刑務所	男	51歳	平成10年9月	肝細胞がん	肝細胞がん、肝硬変のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
270	八王子医療刑務所	男	43歳	平成10年10月	肝細胞がん	肝細胞がんのため病舎で治療中、病状が増悪し、死亡した。
271	八王子医療刑務所	男	64歳	平成10年10月	痙攣発作	脳梗塞、慢性腎不全のため病舎で治療中、痙攣発作のため、死亡した。
272	八王子医療刑務所	男	60歳	平成10年10月	腹部腫瘍	腹部腫瘍、肝転移疑いのため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
273	八王子医療刑務所	男	75歳	平成10年10月	転移性肺がん	大腸がん術後、肺転移、右胸水貯留のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
274	八王子医療刑務所	男	48歳	平成10年10月	肝硬変	肝硬変、食道静脈瘤、食道炎、糖尿病のため病舎で治療中、病状が増悪し、死亡した。
275	八王子医療刑務所	男	63歳	平成10年11月	肺がん	肺がんのため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
276	八王子医療刑務所	男	50歳	平成10年11月	膵臓がん	膵臓がんのため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
277	八王子医療刑務所	男	65歳	平成10年11月	急性心不全	肺がんのため病舎で治療中、病状が増悪し、急性心不全のため、死亡した。
278	八王子医療刑務所	男	57歳	平成10年11月	敗血症	直腸がんのため病舎で治療中、症状が増悪し、敗血症のため、死亡した。
279	八王子医療刑務所	女	56歳	平成10年11月	大量性器出血	子宮頸がん、糖尿病のため病舎で治療中、症状が増悪し、大量性器出血のため、死亡した。
280	八王子医療刑務所	男	54歳	平成10年11月	肝細胞がん	肝細胞がん、肝硬変症、食道静脈瘤のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
281	府中刑務所	男	75歳	平成10年3月	心筋梗塞	高血圧症、狭心症、気管支喘息のため治療中、胸痛を訴えたため、救命救急措置を講じたが、心筋梗塞のため、死亡した。
282	府中刑務所	男	50歳	平成10年4月	脳出血	慢性腎不全のため治療中、症状が増悪し、高血圧性脳出血のため、死亡した。
283	府中刑務所	男	82歳	平成10年8月	播種性血管内凝固	尿路感染症による発熱のため、意識障害、全身衰弱状態を発症し、救命救急措置を講じたが、播種性血管内凝固のため、死亡した。
284	府中刑務所	男	66歳	平成10年9月	肝臓がん、転移性肺腫瘍、肝硬変	肝臓がん、転移性肺腫瘍、肝硬変のため著明な腹水貯留を起こし、その後、病状が増悪し、死亡した。

整理 番号	施設名	性別	死亡時 の年齢	死亡の経緯		
				死亡年月	死 因	概 要
285	府中刑務所	男	52歳	平成10年9月	糖尿病、不整脈、心肥大による急性心不全	感冒のため治療中、意識障害、下顎呼吸が出現し、救命救急措置を講じたが、心肥大による急性心不全のため、死亡した。
286	横浜刑務所	男	58歳	平成10年1月	心筋梗塞	工場において作業中、異状を発見し、救命救急措置を講じ、外部病院に搬送したが、心筋梗塞のため、死亡した。
287	静岡刑務所	男	54歳	平成10年7月	食物吸引による窒息	のどに食物を詰まらせ、房内に倒れているのを発見し、蘇生措置を講じた後、外部病院に搬送したが、死亡した。
288	静岡刑務所	男	65歳	平成10年10月	脳梗塞の疑い	雑居房で異状を発見し、救命救急措置を講じたが、脳梗塞の疑いのため、死亡した。
289	水戸少年刑務所	男	49歳	平成10年3月	急性心筋梗塞	上気道炎のため治療中、症状が増悪し、外部病院に搬送したが、急性心筋梗塞のため、死亡した。
290	水戸少年刑務所	女	59歳	平成10年10月	窒息	独居房で縊死を図っているところを発見し、救命救急措置を講じたが、窒息のため、死亡した。
291	川越少年刑務所	男	51歳	平成10年1月	脳塞栓症再発	心房細動及び脳梗塞の疑いのため病舎で治療中、呼吸停止となり、外部病院に搬送したが、心房細動からの脳塞栓症再発のため、死亡した。
292	福井刑務所	男	50歳	平成10年9月	低酸素性脳症	左足打撲を治療中、病舎において縊死を図っているところを発見し、救命救急措置を講じ、救急車で外部病院に搬送したが、低酸素脳症のため、死亡した。
293	福井刑務所	男	57歳	平成10年12月	脳梗塞	雑居房で心臓発作を生じたため、救命救急措置を講じ、救急車で外部病院に搬送したが、脳梗塞のため、死亡した。
294	名古屋刑務所	男	48歳	平成10年3月	縊死	独居房の便所で縊死を図っているところを発見し、救命救急措置を講じたが、死亡した。
295	名古屋刑務所	男	56歳	平成10年4月	胃がん	胃がんのため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
296	名古屋刑務所	男	69歳	平成10年5月	肝がん	肝細胞がん及び肝硬変のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
297	名古屋刑務所	男	58歳	平成10年5月	急性肺炎	肺炎のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
298	名古屋刑務所	男	55歳	平成10年5月	上行結腸がん	上行結腸がんのため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
299	名古屋刑務所	男	47歳	平成10年7月	肝臓がん	肝臓がんのため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
300	名古屋刑務所	男	61歳	平成10年8月	肝臓がん	肝臓がんのため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
301	名古屋刑務所	男	65歳	平成10年8月	呼吸不全	肺炎のため病舎で治療中、症状が増悪し、呼吸不全のため、死亡した。
302	名古屋刑務所	男	52歳	平成10年8月	脳卒中	雑居房で突然意識消失状態に陥り、救命救急措置を講じたが、脳卒中のため、死亡した。
303	名古屋刑務所	男	61歳	平成10年9月	脳血管障害	脳梗塞後及び糖尿病のため病舎で治療中、症状が増悪し、脳血管障害のため、死亡した。

整理 番号	施設名	性別	死亡時 の年齢	死亡の経緯		
				死亡年月	死 因	概 要
304	名古屋刑務所	男	57歳	平成10年10月	胃静脈瘤破裂	胃静脈瘤破裂のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
305	名古屋刑務所	男	53歳	平成10年10月	原発性肺がん	原発性肺がんのため病舎で治療中、病状が悪化し、死亡した。
306	名古屋刑務所	男	58歳	平成10年11月	急性心不全	おう吐症状等のため病舎で治療中、便座に座ったまま反応しないことから、救命救急措置を講じたが、急性心不全のため、死亡した。
307	名古屋刑務所	男	46歳	平成10年11月	肝不全	肝硬変悪化のため病舎で治療中、症状が増悪し、肝不全のため、死亡した。
308	名古屋刑務所	男	63歳	平成10年11月	肺がん	肺がんのため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
309	名古屋刑務所	男	54歳	平成10年12月	脳出血	雑居房で異状を発見したため、救命救急措置を講じ、外部病院に搬送したが、脳出血のため、死亡した。
310	名古屋刑務所	男	87歳	平成10年12月	老衰	脳血管性痴呆、心房細動のため病舎で治療中、徐々に老衰現象が進み、死亡した。
311	名古屋刑務所	男	59歳	平成10年12月	胃がん	胃がんのため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
312	名古屋拘置所	男	28歳	平成10年12月	非定型縊死	独居房でタオルを頸部に一巻きして垂下しているのを発見し、救命救急措置を講じ、救急車で外部病院に搬送したが、死亡した。
313	滋賀刑務所	男	27歳	平成10年9月	解離性大動脈瘤破裂	独居房で異状を発見し、救命救急措置を講じたが、解離性大動脈瘤破裂のため、死亡した。
314	滋賀刑務所	男	63歳	平成10年9月	縊死	独居房で縊死を図っているところを発見し、救命救急措置を講じたが、死亡した。
315	滋賀刑務所	男	35歳	平成10年10月	急性心筋梗塞	工場において作業中、突然、呼吸停止等が認められたため、救命救急措置を講じ、救急車で外部病院に搬送したが、急性心筋梗塞のため、死亡した。
316	京都刑務所	男	60歳	平成10年2月	脳血管障害	高血圧脳症のため病舎で治療中、症状が増悪し、脳血管障害のため、死亡した。
317	京都刑務所	男	36歳	平成10年5月	頸部圧迫による窒息	独居房で縊死を図っているところを発見し、救命救急措置を講じ、救急車で外部病院に搬送したが、頸部圧迫による窒息のため、死亡した。
318	大阪刑務所	男	68歳	平成10年4月	尿毒症	慢性腎不全のため治療中、全身状態が悪化し、尿毒症のため、死亡した。
319	大阪刑務所	男	63歳	平成10年10月	心不全	貧血、心不全の疑いのため治療中、突然、意識不明となり、心不全のため、死亡した。
320	大阪医療刑務所	男	54歳	平成10年1月	食道がん	食道がんのため治療中、症状が増悪し、死亡した。
321	大阪医療刑務所	男	48歳	平成10年1月	多臓器不全	糖尿病、糖尿病性腎症のため治療中、多臓器不全のため、死亡した。
322	大阪医療刑務所	男	74歳	平成10年2月	心不全、糖尿病	糖尿病、左足第二趾潰瘍のため治療中、症状が増悪し、死亡した。
323	大阪医療刑務所	男	55歳	平成10年2月	膀胱腫瘍術後尿道再発	膀胱腫瘍術後尿道再発のため治療中、症状が増悪し、死亡した。

整理 番号	施設名	性別	死亡時 の年齢	死亡の経緯		
				死亡年月	死 因	概 要
324	大阪医療刑務所	男	69歳	平成10年2月	胃がん	胃がん、高血圧症のため治療中、症状が増悪し、死亡した。
325	大阪医療刑務所	男	59歳	平成10年2月	播種性血管内凝固症候群を伴う多臓器不全	糖尿病、肝炎のため治療中、播種性血管内凝固症候群を伴う多臓器不全のため、死亡した。
326	大阪医療刑務所	男	59歳	平成10年3月	肝細胞がん	肝細胞がん、転移性胸椎腫瘍のため治療中、症状が増悪し、死亡した。
327	大阪医療刑務所	男	65歳	平成10年3月	肝硬変（C型）	肝硬変、肺結核症のため治療中、症状が増悪し、死亡した。
328	大阪医療刑務所	男	77歳	平成10年3月	肝硬変	肝硬変、前立腺肥大、食道静脈瘤のため治療中、症状が増悪し、死亡した。
329	大阪医療刑務所	男	54歳	平成10年5月	肝細胞がん	食道静脈瘤、肝がんのため治療中、症状が増悪し、肝細胞がんのため、死亡した。
330	大阪医療刑務所	男	51歳	平成10年6月	多臓器不全	非代償性肝硬変、食道静脈瘤、糖尿病のため治療中、症状が増悪し、多臓器不全のため、死亡した。
331	大阪医療刑務所	男	43歳	平成10年6月	肝不全	肝がん(末期状態)、肝硬変等のため治療中、症状が増悪し、肝不全のため、死亡した。
332	大阪医療刑務所	男	51歳	平成10年6月	原発性肝がん	肝硬変、原発性肝がん(末期肝がん)のため治療中、症状が増悪し、多臓器不全のため、死亡した。
333	大阪医療刑務所	男	44歳	平成10年6月	胃がん	胃がんのため治療中、症状が増悪し、死亡した。
334	大阪医療刑務所	男	62歳	平成10年6月	胆嚢がん	胆嚢がんのため治療中、症状が増悪し、死亡した。
335	大阪医療刑務所	男	27歳	平成10年6月	右心不全	原発性肺高血圧症、慢性右心不全のため治療中、症状が増悪し、死亡した。
336	大阪医療刑務所	男	58歳	平成10年6月	肝がん破裂	肝がんのため治療中、症状が増悪し、肝がん破裂のため、死亡した。
337	大阪医療刑務所	男	59歳	平成10年7月	胃がん	胃がんのため治療中、症状が増悪し、死亡した。
338	大阪医療刑務所	男	53歳	平成10年7月	原発性肝がん	肝細胞がんのため治療中、症状が増悪し、原発性肝がんのため、死亡した。
339	大阪医療刑務所	男	52歳	平成10年8月	呼吸不全	脳内出血のため治療中、症状が増悪し、呼吸不全のため、死亡した。
340	大阪医療刑務所	男	50歳	平成10年9月	小脳出血	ネフローゼ症候群、高血圧症等のため治療中、症状が増悪し、小脳出血を併発し、死亡した。
341	大阪医療刑務所	男	50歳	平成10年9月	直腸がん	直腸がんのため治療中、症状が増悪し、死亡した。
342	大阪医療刑務所	男	55歳	平成10年9月	心不全、高カリウム血症	腹部大動脈瘤のため治療中、症状が増悪し、心不全等のため、死亡した。
343	大阪医療刑務所	男	68歳	平成10年10月	潰瘍性大腸炎増悪	食道静脈瘤破裂のため治療中、潰瘍性大腸炎増悪のため、死亡した。

整理番号	施設名	性別	死亡時の年齢	死亡の経緯		
				死亡年月	死因	概要
344	大阪医療刑務所	男	66歳	平成10年11月	肝細胞がん、胃がん	多発性肝がん、胃がんのため治療中、症状が増悪し、死亡した。
345	大阪医療刑務所	男	42歳	平成10年12月	右がん性胸膜炎	がん性胸膜炎のため治療中、症状が増悪し、死亡した。
346	大阪医療刑務所	男	57歳	平成10年12月	非代償性肝硬変	肝硬変、肝がん、食道静脈瘤、非代償性肝硬変の悪化による腹水貯留のため治療中、症状が増悪し、死亡した。
347	大阪医療刑務所	男	68歳	平成10年12月	肝がん	肝細胞がん末期状態のため治療中、症状が増悪し、死亡した。
348	神戸刑務所	男	60歳	平成10年10月	脳梗塞	腸炎の治療中、意識障害、脈拍微弱が認められたため、外部病院に搬送したが、同病院で脳梗塞のため、死亡した。
349	大阪拘置所	男	71歳	平成10年7月	急性心筋梗塞	独居房で異状を発見し、救命救急措置を講じたが、急性心筋梗塞のため、死亡した。
350	岡山刑務所	男	71歳	平成10年10月	急性心臓死	工場で体操中、突然倒れたため、救急車で外部病院に搬送したが、急性心臓死のため、死亡した。
351	広島刑務所	男	62歳	平成10年6月	肝がん	肝硬変及び肝腫瘍のため病舎で治療中、症状が増悪し、肝がんのため、死亡した。
352	広島刑務所	男	61歳	平成10年7月	急性心不全	下痢のため病舎で治療中、夕食喫食中に突然意識を喪失したため、救命救急措置を講じたが、急性心不全のため、死亡した。
353	広島刑務所	男	33歳	平成10年11月	急性心不全	腸閉塞の疑いで治療中、症状が増悪し、急性心不全のため、死亡した。
354	広島刑務所	男	74歳	平成10年1月	多臓器不全	まひ性イレウスのため治療中、意識レベル、血圧の低下が認められたため、外部病院に搬送したが、多臓器不全のため、死亡した。
355	山口刑務所	男	60歳	平成10年9月	小脳出血	理髪実施中、気分が悪いとの申出があり、外部の病院に搬送したが、小脳出血のため、死亡した。
356	徳島刑務所	男	57歳	平成10年1月	多臓器不全	肝硬変のため病舎で治療中、症状が増悪したことから、救急車で外部病院に搬送したが、多臓器不全のため、死亡した。
357	松山刑務所	男	69歳	平成10年6月	急性心不全	居房で倒れているのを発見し、救命救急措置を講じ、外部病院に搬送したが、急性心不全のため、死亡した。
358	松山刑務所	男	42歳	平成10年6月	膵がん	居房で吐血しているのを発見し、救命救急措置を講じ、外部病院に搬送したが、膵がんのため、死亡した。
359	北九州医療刑務所	男	56歳	平成10年4月	縊死	雑居房で縊死を図っているところを発見し、救命救急措置を講じ、救急車で外部病院に搬送したが、死亡した。
360	福岡刑務所	男	66歳	平成10年1月	肝臓がん	肝臓がん等のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
361	福岡刑務所	男	64歳	平成10年7月	心不全	糖尿病のため病舎で治療中、症状が増悪し、心不全のため、死亡した。
362	鹿児島刑務所	男	51歳	平成10年10月	急性心肺不全	居房でうつむいて壁にもたれ掛かり、呼び掛けにも応答がなかったため、救命救急措置を講じ、救急車で外部病院に搬送したが、急性心肺不全のため、死亡した。

## 4 平成11年

整理 番号	施設名	性別	死亡時 の年齢	死亡の経緯		
				死亡年月	死 因	概 要
363	札幌刑務所	男	48歳	平成11年3月	左脳内出血	独居房で昏睡状態に陥っているのを発見し、外部病院に搬送したが、左脳内出血のため、死亡した。
364	札幌刑務所	男	69歳	平成11年4月	窒息 (かたん 喀痰)	C型肝炎、肝硬変のため病舎で治療中、異状を発見し、救命救急措置を講じたが、窒息 (喀痰) のため、死亡した。
365	札幌刑務所	男	59歳	平成11年4月	肝がん	肝臓末期がんのため病舎で治療中、症状が増悪し、肝がんのため、死亡した。
366	宮城刑務所	男	52歳	平成11年6月	肝がん	原発性肝がんのため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
367	宮城刑務所	男	57歳	平成11年8月	心筋梗塞	雑居房で突然倒れ、呼吸停止し、血圧測定不能状態となり病舎で救命救急措置を講じたが、心筋梗塞のため、死亡した。
368	宮城刑務所	男	59歳	平成11年8月	肝がん	外部病院で肝がん末期の診断があり、経過観察していたところ、症状が増悪し、肝がんのため、死亡した。
369	宮城刑務所	男	56歳	平成11年9月	肝性脳症	肝硬変、糖尿病のため病舎で治療中、症状が増悪し、肝性脳症のため、死亡した。
370	福島刑務所	男	85歳	平成11年6月	急性心不全、 老衰	老衰、腰痛症のため病舎で休養中、異状を発見し、救命救急措置を講じたが、急性心不全、老衰のため、死亡した。
371	福島刑務所	男	40歳	平成11年12月	誤嚥による窒息	雑居房で昼食喫食中、てんかん発作を起こして卒倒し、摂取した食物を気管支に詰まらせ窒息状態となったため、救命救急措置を講じ、救急車で外部病院に搬送したが、誤嚥による窒息のため、死亡した。
372	黒羽刑務所	男	86歳	平成11年3月	脳梗塞	意識障害、身体衰弱のため病舎で治療中、身体衰弱が顕著となり、症状が増悪し、救急車で外部病院に搬送し、救命救急措置が講じられたが、脳梗塞のため、死亡した。
373	黒羽刑務所	男	65歳	平成11年4月	消化管出血	肝機能低下のため病舎で治療中、呼吸苦を訴え、徐々に問い掛けにも反応が薄れ、意識レベル及び血圧の低下等が見られたため、外部病院に搬送したが、消化管出血のため、死亡した。
374	黒羽刑務所	男	54歳	平成11年4月	急性心筋梗塞	冠不全、急性気管支炎のため病舎で治療中、症状が増悪し、急性心筋梗塞のため、死亡した。
375	黒羽刑務所	男	50歳	平成11年5月	くも膜下出血	呼吸停止が認められたため、外部病院に搬送したが、くも膜下出血のため、死亡した。
376	黒羽刑務所	男	70歳	平成11年7月	肝細胞がん破 裂	肝細胞がんのため病舎で治療中、自発呼吸がなく心停止状態となったため、救急車で外部病院に搬送したが、肝細胞がん破裂のため、死亡した。
377	黒羽刑務所	男	26歳	平成11年10月	気管支喘息	喘息のため治療中、おう吐が認められ、心停止状態になったことから、救急車で外部病院に搬送したが、気管支喘息のため、死亡した。
378	千葉刑務所	男	40歳	平成11年4月	縊死	独居房で縊死を図っているところを発見し、救命救急措置を講じ、救急車で外部病院に搬送後、死亡した。
379	千葉刑務所	男	82歳	平成11年3月	心不全	大腸がんの肺転移のため病舎で治療中、症状が増悪し、救命救急措置を講じたが、救急車で外部病院に搬送後、心不全のため、死亡した。
380	千葉刑務所	男	51歳	平成11年4月	急性心不全	慢性腎不全のため病舎で治療中、症状が増悪し、急性心不全のため、死亡した。

整理 番号	施設名	性別	死亡時 の年齢	死亡の経緯		
				死亡年月	死 因	概 要
381	千葉刑務所	男	58歳	平成11年7月	急性心不全	独居房で異状を発見し、救命救急措置を講じたが、急性心不全のため、死亡した。
382	千葉刑務所	男	68歳	平成11年11月	多臓器不全症	老人性精神病、痴呆、褥瘡のため病舎で治療中、褥瘡処置時に突然無呼吸状態となったため、救命救急措置を講じ、救急車で外部病院に搬送したが、多臓器不全のため、死亡した。
383	千葉刑務所	男	68歳	平成11年12月	肺炎	糖尿病のため病舎で治療中、症状が増悪し、肺炎のため、死亡した。
384	八王子医療刑務所	男	54歳	平成11年1月	出血	右咽頭がんのため病舎で治療中、症状が増悪し、出血のため、死亡した。
385	八王子医療刑務所	男	33歳	平成11年2月	食道静脈瘤破裂	食道静脈瘤破裂、肝硬変症（非代償性）、糖尿病、アルコール依存症のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
386	八王子医療刑務所	男	69歳	平成11年2月	敗血症	左皮弁出血、敗血症のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
387	八王子医療刑務所	男	52歳	平成11年2月	汎血管内凝固 亢進症	多発性骨髄腫のため病舎で治療中、症状が増悪し、汎血管内凝固亢進症のため、死亡した。
388	八王子医療刑務所	男	53歳	平成11年2月	肝細胞がん	肝細胞がん、頸部腫瘍、肝硬変症、胃潰瘍のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
389	八王子医療刑務所	男	69歳	平成11年2月	多臓器不全	胃がん、肺結核、慢性腎不全、肝硬変のため病舎で治療中、症状が増悪し、多臓器不全のため、死亡した。
390	八王子医療刑務所	男	53歳	平成11年2月	肝細胞がん	肝臓がん、C型慢性肝炎、高血圧症のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
391	八王子医療刑務所	男	54歳	平成11年2月	肺腫瘍	肺腫瘍、右胸膜炎、尋常性乾癬のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
392	八王子医療刑務所	男	64歳	平成11年3月	がん性腹膜炎	がん性腹膜炎のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
393	八王子医療刑務所	男	56歳	平成11年3月	残胃癌	残胃癌、肝硬変のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
394	八王子医療刑務所	女	59歳	平成11年3月	肝臓がん	肝臓がん、肝硬変、食道静脈瘤のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
395	八王子医療刑務所	男	85歳	平成11年3月	胃がん	進行胃がん、貧血のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
396	八王子医療刑務所	男	50歳	平成11年3月	がん性腹膜炎	進行胃がんのため病舎で治療中、症状が増悪し、がん性腹膜炎のため、死亡した。
397	八王子医療刑務所	男	74歳	平成11年3月	胃がん	胃がんのため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
398	八王子医療刑務所	男	77歳	平成11年3月	直腸がん	直腸がん、肝転移、多発性脳梗塞性痴呆のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
399	八王子医療刑務所	男	53歳	平成11年4月	肝細胞がん	肝硬変、肝細胞がんのため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。

整理 番号	施設名	性別	死亡時 の年齢	死亡の経緯		
				死亡年月	死 因	概 要
400	八王子医療刑務所	男	70歳	平成11年4月	多発性骨髄腫	多発性骨髄腫のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
401	八王子医療刑務所	男	63歳	平成11年4月	肺がん	肺がんのため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
402	八王子医療刑務所	男	54歳	平成11年4月	咯血による気管閉塞	咯血、肺結核、呼吸不全のため病舎で治療中、症状が増悪し、咯血による気管閉塞のため、死亡した。
403	八王子医療刑務所	男	54歳	平成11年4月	S状結腸がん	S状結腸がんのため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
404	八王子医療刑務所	男	51歳	平成11年5月	敗血症	敗血症のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
405	八王子医療刑務所	男	69歳	平成11年5月	肝不全	肝硬変のため病舎で治療中、症状が増悪し、肝不全のため、死亡した。
406	八王子医療刑務所	男	63歳	平成11年5月	全身衰弱	直腸がん仙骨前面再発のため病舎で治療中、症状が増悪し、全身衰弱のため、死亡した。
407	八王子医療刑務所	男	67歳	平成11年6月	食道がん	食道がんのため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
408	八王子医療刑務所	男	60歳	平成11年6月	肝臓がん	肝臓がんのため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
409	八王子医療刑務所	男	48歳	平成11年6月	肝細胞がん	肝硬変のため病舎で治療中、症状が増悪し、肝細胞がんのため、死亡した。
410	八王子医療刑務所	男	47歳	平成11年7月	肺結核	肺結核のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
411	八王子医療刑務所	男	42歳	平成11年7月	胃がん	胃がん術後の肝転移、腹膜播腫の疑いのため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
412	八王子医療刑務所	男	60歳	平成11年7月	肝細胞がん	肝硬変、肝細胞がんのため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
413	八王子医療刑務所	男	54歳	平成11年7月	肝腫瘍	肝腫瘍、肝不全進行のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
414	八王子医療刑務所	男	59歳	平成11年7月	肝腫瘍	肝腫瘍のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
415	八王子医療刑務所	男	62歳	平成11年8月	慢性リンパ性白血病	慢性リンパ性白血病のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
416	八王子医療刑務所	男	64歳	平成11年8月	肺炎	右肺がん、大腸がん、大腸ポリープのため病舎で治療中、症状が増悪し、肺炎のため、死亡した。
417	八王子医療刑務所	男	45歳	平成11年8月	悪性リンパ腫（ホジキン病）再発	悪性リンパ腫（ホジキン病）再発のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
418	八王子医療刑務所	男	70歳	平成11年8月	悪液質（全身衰弱）	前立腺がん、多発性肝転移、右側脈絡膜転移のため病舎で治療中、症状が増悪し、悪液質（全身衰弱）のため、死亡した。
419	八王子医療刑務所	男	27歳	平成11年8月	急性呼吸不全	精巣悪性腫瘍のため病舎で治療中、症状が増悪し、急性呼吸不全のため、死亡した。

整理 番号	施設名	性別	死亡時 の年齢	死亡の経緯		
				死亡年月	死 因	概 要
420	八王子医療刑務所	男	67歳	平成11年9月	肺炎	S状結腸がん、脳梗塞のため病舎で治療中、症状が増悪し、肺炎のため、死亡した。
421	八王子医療刑務所	男	53歳	平成11年9月	敗血症	食道がん、敗血症、肝硬変症、食道静脈瘤のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
422	八王子医療刑務所	男	57歳	平成11年10月	胃がん	胃がんのため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
423	八王子医療刑務所	男	65歳	平成11年10月	胃がん術後再発	胃がん術後再発のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
424	八王子医療刑務所	男	48歳	平成11年10月	食道がん	食道がんのため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
425	八王子医療刑務所	男	53歳	平成11年10月	骨盤内平滑筋肉腫	骨盤内平滑筋肉腫のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
426	八王子医療刑務所	男	65歳	平成11年11月	食道がん	食道がんのため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
427	八王子医療刑務所	男	76歳	平成11年11月	肺炎	肺炎、胆嚢穿孔性腹膜炎、C型肝炎のため病舎で治療中、症状が増悪し、肺炎のため、死亡した。
428	八王子医療刑務所	男	52歳	平成11年11月	多発性肝がん	多発性肝がん、肝硬変症のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
429	八王子医療刑務所	男	65歳	平成11年11月	肺炎	低酸素脳症、脳梗塞後遺症、直腸がん術後、肺炎のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
430	八王子医療刑務所	男	72歳	平成11年11月	肺炎（誤嚥性）	原発性十二指腸がんのため病舎で治療中、症状が増悪し、肺炎（誤嚥性）のため、死亡した。
431	八王子医療刑務所	男	65歳	平成11年11月	敗血症	敗血症、悪性リンパ腫再発、覚せい剤後遺症のため病舎で治療中、症状が増悪し、敗血症のため、死亡した。
432	八王子医療刑務所	男	32歳	平成11年11月	噴門がん	噴門がんのため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
433	八王子医療刑務所	男	54歳	平成11年12月	肝細胞がん	肝細胞がん、脊椎転移、肝硬変、高血圧のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
434	八王子医療刑務所	男	54歳	平成11年12月	肺扁平上皮がん	肺扁平上皮がんのため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
435	八王子医療刑務所	男	68歳	平成11年12月	急性心不全	ネフローゼ症候群、腎前性急性腎不全のため病舎で治療中、症状が増悪し、腎前性急性腎不全による急性心不全のため、死亡した。
436	府中刑務所	男	51歳	平成11年1月	糖尿病による急性心不全	運動中に転倒し、歩行困難のため休養後、熱、咳、咽頭痛が出現し、さらに意識不明の状態となり、糖尿病による急性心不全のため、死亡した。
437	府中刑務所	男	46歳	平成11年1月	てんかんによる呼吸不全	居房で呼吸停止状態で発見され、救命救急措置を講じたが、てんかんによる呼吸不全のため、死亡した。
438	府中刑務所	男	76歳	平成11年2月	C型肝炎、肝硬変、高血圧、肝性意識障害による衰弱死	居房で、便失禁等の異常行動があったため、集中治療室へ搬送したが、肝性意識障害が次第に悪化し、C型肝炎、肝硬変、高血圧、肝性意識障害による衰弱のため、死亡した。

整理番号	施設名	性別	死亡時の年齢	死亡の経緯		
				死亡年月	死因	概要
439	府中刑務所	男	61歳	平成11年4月	肺がん	呼吸時胸痛のため初診後、左半身まひが徐々に進行し、肺がんのため、死亡した。
440	府中刑務所	男	35歳	平成11年8月	急性心筋梗塞	居房で自発呼吸なく倒れているところを発見し、救命救急措置を講じたが、急性心筋梗塞のため、死亡した。
441	府中刑務所	男	46歳	平成11年8月	急性心不全	保護房収容中、意識不明状態で発見され、集中治療室に搬送後、救命救急措置を講じたが、急性心不全のため、死亡した。
442	府中刑務所	男	58歳	平成11年10月	急性心不全	慢性心不全のため治療中、心筋梗塞により意識消失、失禁し、急性心不全のため、死亡した。
443	府中刑務所	男	80歳	平成11年12月	肺炎	発熱、食事摂取不良となり、補液などを行い、治療していたが、肺炎の悪化のため、死亡した。
444	横浜刑務所	男	69歳	平成11年1月	急性肺炎	急性肺炎のため搬送された外部病院で症状が悪化し、救命救急措置を講じたが、死亡した。
445	甲府刑務所	男	67歳	平成11年12月	食道静脈瘤破裂	肝硬変及び食道静脈瘤のため、外部病院に搬送したが、食道静脈瘤破裂のため、死亡した。
446	長野刑務所	男	57歳	平成11年9月	急性心筋梗塞	独居房で異状を発見し、救命救急措置を講じ、救急車で外部病院に搬送したが、急性心筋梗塞のため、死亡した。
447	静岡刑務所	男	58歳	平成11年6月	窒息	雑居房便所内で縊死を図っているところを発見し、心肺停止状態であったことから、救命救急措置を講じ、救急車で外部病院に搬送したが、窒息のため、死亡した。
448	東京拘置所	男	54歳	平成11年7月	心不全	悪性症候群のため集中治療室で治療中、血管内血液凝固症が増悪し、心不全のため、死亡した。
449	東京拘置所	男	51歳	平成11年8月	消化管出血	肝硬変等のため病舎収容中に倒れ、症状が増悪し、消化管出血のため、死亡した。
450	福井刑務所	男	51歳	平成11年1月	肺炎	糖尿病の既往歴があり、感冒で治療中であったが、症状が増悪し、救命救急措置を講じ、外部病院に搬送したが、肺炎のため、死亡した。
451	岡崎医療刑務所	男	37歳	平成11年4月	縊死	独居房で縊死を図っているところを発見し、救命救急措置を講じ、救急車で外部病院に搬送したが、死亡した。
452	名古屋刑務所	男	59歳	平成11年1月	食道静脈瘤破裂	食道静脈瘤破裂のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
453	名古屋刑務所	男	61歳	平成11年2月	胃がん再発	胃がん再発のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
454	名古屋刑務所	男	52歳	平成11年5月	がん性腹膜炎	HCV陽性、がん性腹膜炎、転移性肺がん、肝がんのため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
455	名古屋刑務所	男	52歳	平成11年7月	脳出血	脳出血のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
456	名古屋刑務所	男	56歳	平成11年7月	急性呼吸不全	急性呼吸不全のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
457	名古屋刑務所	男	40歳	平成11年8月	脳血管障害	慢性腎不全、狭心症、高血圧症のため治療中、人工透析実施時に、突然右半身まひ、意識低下が認められ、脳血管障害のため、死亡した。
458	名古屋刑務所	男	39歳	平成11年9月	急性呼吸不全	肝障害のため病舎で治療中、症状が増悪し、急性呼吸不全のため、死亡した。

整理番号	施設名	性別	死亡時の年齢	死亡の経緯		
				死亡年月	死 因	概 要
459	名古屋刑務所	男	50歳	平成11年9月	急性心不全	覚せい剤後遺症のため病舎で治療中、症状が増悪し、急性心不全のため、死亡した。
460	名古屋刑務所	男	38歳	平成11年10月	脳血管障害	慢性腎不全のため透析治療中、脳血管障害が悪化し、死亡した。
461	名古屋刑務所	男	62歳	平成11年11月	脳卒中	脳梗塞のため病舎で治療中、症状が増悪し、脳卒中のため、死亡した。
462	名古屋刑務所	男	72歳	平成11年12月	肺がん	肺がんのため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
463	三重刑務所	男	47歳	平成11年2月	敗血症性ショック	貧血のため治療中、意識がない状態で発見し、外部の病院へ搬送し、処置後症状が安定したことから帰所したが、突然呼吸の異常を来し、再度外部病院に搬送後、敗血症性ショックのため、死亡した。
464	大阪刑務所	男	60歳	平成11年1月	頸部再発(舌がん)	舌がん術後右頸部再発のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
465	大阪刑務所	男	55歳	平成11年2月	多臓器不全	意識障害のため治療中、症状が増悪し、外部病院に搬送したが、多臓器不全のため、死亡した。
466	大阪刑務所	男	50歳	平成11年6月	脳腫瘍再発	脳腫瘍再発のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
467	大阪刑務所	男	59歳	平成11年7月	急性循環不全	脱水症のため治療中、症状が増悪し、急性循環不全のため、死亡した。
468	大阪刑務所	男	75歳	平成11年11月	肺炎	脳血管障害による神経因性膀胱炎のため治療中、肺炎を併発し、死亡した。
469	大阪刑務所	男	58歳	平成11年12月	急性心不全	高血圧症のため治療中、症状が増悪し、外部病院に搬送したが、急性心不全のため、死亡した。
470	大阪医療刑務所	男	52歳	平成11年1月	急性心不全	高血圧、糖尿病、多発性脳梗塞のため治療中、症状が増悪し、急性心不全のため、死亡した。
471	大阪医療刑務所	男	79歳	平成11年1月	上部消化管出血	転移性多発性腫瘍のため治療中、吐血・下血が止まらないなど、症状が増悪し、上部消化管出血のため、死亡した。
472	大阪医療刑務所	男	65歳	平成11年1月	大腸がん	大腸がんによる腸閉塞のため治療中、症状が増悪し、死亡した。
473	大阪医療刑務所	男	53歳	平成11年2月	肺炎	糖尿性ケトアシドーシスに両側肺炎を合併したため、気管切除を施行して治療中、症状が増悪し、肺炎のため、死亡した。
474	大阪医療刑務所	男	68歳	平成11年3月	汎発性血管内凝固症候群	右肺臓炎、汎発性血管凝固症候群のため治療中、症状が増悪し、死亡した。
475	大阪医療刑務所	男	73歳	平成11年3月	老衰	慢性腎不全、直腸腫瘍疑いのため治療中、老衰のため、死亡した。
476	大阪医療刑務所	男	68歳	平成11年5月	胃がん	胃がんのため治療中、症状が増悪し、死亡した。
477	大阪医療刑務所	男	62歳	平成11年5月	心不全	心不全のため治療中、症状が増悪し、死亡した。
478	大阪医療刑務所	男	83歳	平成11年5月	膀胱がん	膀胱がん再発、多発性肺転移両側胸水貯留のため治療中、症状が増悪し、死亡した。

整理 番号	施設名	性別	死亡時 の年齢	死亡の経緯		
				死亡年月	死 因	概 要
479	大阪医療刑務所	男	67歳	平成11年5月	呼吸不全	呼吸不全のため治療中、症状が増悪し、死亡した。
480	大阪医療刑務所	男	68歳	平成11年6月	肝不全	肝硬変、高アンモニア血症のため治療中、症状が増悪し、肝不全のため、死亡した。
481	大阪医療刑務所	男	62歳	平成11年6月	脳出血	意識消失発作、右被殻出血のため治療中、症状が増悪し、脳出血のため、死亡した。
482	大阪医療刑務所	男	68歳	平成11年6月	敗血症	敗血症の疑いのため治療中、症状が増悪し、死亡した。
483	大阪医療刑務所	男	52歳	平成11年6月	悪性リンパ腫	慢性腹膜炎、膵臓がん、悪性リンパ腫のため治療中、症状が増悪し、死亡した。
484	大阪医療刑務所	男	34歳	平成11年7月	敗血症	絵死企図、蘇生後脳症のため治療中、症状が増悪し、敗血症のため、死亡した。
485	大阪医療刑務所	男	72歳	平成11年8月	大腸がん再発	大腸がん切除術施行後、肝転移、骨転移のため全身状態が悪化し、大腸がん再発のため、死亡した。
486	大阪医療刑務所	男	45歳	平成11年8月	転移性肝腫瘍	転移性肝腫瘍のため治療中、症状が増悪し、死亡した。
487	大阪医療刑務所	男	56歳	平成11年8月	膵臓がん	膵臓がん、慢性腹膜炎のため治療中、症状が増悪し、死亡した。
488	大阪医療刑務所	男	48歳	平成11年8月	肝がん	肝腫瘍、腹水のため治療中、検査で肝両葉及び肺両葉に多数の腫瘍を認め、症状が増悪し、肝がんのため、死亡した。
489	大阪医療刑務所	男	68歳	平成11年9月	膀胱がん再発	膀胱がん再発のため治療中、症状が増悪し、死亡した。
490	大阪医療刑務所	男	65歳	平成11年9月	転移性肺腫瘍	転移性肺腫瘍のため治療中、症状が増悪し、死亡した。
491	大阪医療刑務所	男	64歳	平成11年9月	食道がん	食道がんのため治療中、症状が増悪し、死亡した。
492	大阪医療刑務所	男	67歳	平成11年11月	肝がん	肝がん、胆石のため治療中、症状が増悪し、死亡した。
493	大阪医療刑務所	男	79歳	平成11年11月	脳梗塞	うっ血性心不全のため治療中、検査で脳梗塞を認め、症状が増悪し、死亡した。
494	大阪医療刑務所	男	63歳	平成11年12月	胃がん術後再発	胃がん術後再発のため治療中、症状が増悪し、死亡した。
495	神戸刑務所	男	51歳	平成11年1月	窒息	雑居房で餅をのどに詰めたため、異物を除去し、救命救急措置を講じ、外部病院に搬送したが、窒息のため、死亡した。
496	神戸刑務所	男	56歳	平成11年5月	脳内出血	雑居房で左半身まひ、舌のしびれ、おう吐の訴えがあり、治療をしたが、意識状態が急激に悪化したため、外部病院に搬送し、更に専門病院に転院させたが、脳内出血のため、死亡した。
497	神戸刑務所	男	48歳	平成11年12月	左脳出血	雑居房で頭が痛い、右手が動かないと訴えたため、脳内出血の疑いがあるので、外部病院に搬送したが、脳内出血が広範囲に及んでおり、救命救急措置を講じたが、左脳出血のため、死亡した。

整理 番号	施設名	性別	死亡時 の年齢	死亡の経緯		
				死亡年月	死 因	概 要
498	加古川刑務所	男	64歳	平成11年2月	急性心不全	感冒のため病舎で治療中、急性心筋梗塞となり、救急車で外部病院に搬送したが、急性心不全のため、死亡した。
499	加古川刑務所	男	69歳	平成11年7月	急性呼吸不全	肺線維症のため病舎で治療中、急性呼吸不全となり、救急車で外部病院に搬送したが、症状が増悪し、急性呼吸不全のため、死亡した。
500	大阪拘置所	男	39歳	平成11年1月	出血性ショック	独居房で自傷行為を発見し、救命救急措置を講じ、救急車で外部病院に搬送したが、出血性ショックのため、死亡した。
501	広島刑務所	男	30歳	平成11年3月	多臓器不全	覚せい剤精神病のため治療中、居房で縊死を図っているところを発見し、救命救急措置を講じ、外部病院に搬送したが、多臓器不全のため、死亡した。
502	広島刑務所	男	70歳	平成11年4月	肝不全	肝不全のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
503	広島刑務所	男	67歳	平成11年12月	多臓器不全	慢性腎不全、狭心症のため治療中、症状が増悪し、救命救急措置を講じたが、多臓器不全のため、死亡した。
504	徳島刑務所	男	47歳	平成11年1月	大葉性肺炎	肺炎、感冒のため病舎で治療中、症状が増悪し、救急車で外部病院に搬送したが、大葉性肺炎のため、死亡した。
505	北九州医療刑務所	男	49歳	平成11年9月	窒息	独居房で座机に伏し、声掛けにも反応がないため、救命救急措置を講じ、救急車で外部病院に搬送したが、食物の誤嚥による窒息のため、死亡した。
506	北九州医療刑務所	男	80歳	平成11年5月	心筋梗塞	独居房で症状が増悪し、救命救急措置を講じたが、心筋梗塞のため、死亡した。
507	福岡刑務所	男	63歳	平成11年1月	敗血症	脳梗塞後遺症のため病舎で治療中、容態が急変したため、救命救急措置を講じたが、敗血症のため、死亡した。
508	福岡刑務所	男	69歳	平成11年5月	急性上気道炎による肺炎	風邪のため病舎で治療中、容態が急変したため、外部病院に搬送したが、急性上気道炎による肺炎のため、死亡した。
509	福岡刑務所	男	65歳	平成11年7月	肝不全	肝硬変等のため病舎で治療中、容態が急変したため、救命救急措置を講じたが、肝不全のため、死亡した。
510	福岡刑務所	男	65歳	平成11年8月	肝がん	多発性肝がん等のため病舎で治療中、症状が増悪して容態が急変し、死亡した。
511	宮崎刑務所	男	33歳	平成11年5月	急性肝不全	黄疸及び全身倦怠感のため、外部病院に搬送し、肝硬変、黄疸、著明腹水、高アンモニア血症、肝性脳症のため緊急入院したが、急性肝不全のため、死亡した。

## 5 平成12年

整理 番号	施設名	性別	死亡時 の年齢	死亡の経緯		
				死亡年月	死 因	概 要
512	札幌刑務所	男	62歳	平成12年12月	非定型抗酸菌性肺炎	非定型抗酸菌性肺炎等のため病舎で治療中、症状が増悪し、救命救急措置を講じたが、死亡した。
513	網走刑務所	男	41歳	平成12年7月	窒息	被害妄想、被害妄想が見られ経過観察中、鼻にちり紙を詰め、呼び掛けに反応しない状態であったため、直ちに外部病院に搬送したが、気道閉塞による窒息のため、死亡した。
514	網走刑務所	男	52歳	平成12年12月	急性肺水腫	胸の苦しさを訴えたため、外部病院に搬送したが、急性肺水腫のため、死亡した。
515	月形刑務所	男	58歳	平成12年5月	急性肺炎	急性肺炎のため、外部病院に搬送したが、死亡した。
516	月形刑務所	男	43歳	平成12年7月	脳幹出血	独居房で異状を発見し、救急車で外部病院に搬送したが、脳幹出血のため、死亡した。
517	青森刑務所	男	63歳	平成12年6月	ショック（低血糖）	脳梗塞後遺症のため病舎で治療中、意識障害を起こしたため、外部病院に搬送し、一時小康を得て運送したが、再度症状が増悪し、救命救急措置を講じ、救急車で外部病院に搬送したが、低血糖によるショックのため、死亡した。
518	青森刑務所	男	46歳	平成12年6月	肺炎	消化管出血、腎不全、呼吸不全、意識障害等のため、外部病院に搬送し、入院中、症状が増悪し、肺炎のため、死亡した。
519	宮城刑務所	男	79歳	平成12年10月	転移性肝がん	胃がんの肝転移のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
520	宮城刑務所	男	62歳	平成12年11月	肺炎	肺炎のため病舎で治療中、胃がんによる胃の全摘出による貧血が増悪したため、全身症状が増悪し、死亡した。
521	山形刑務所	男	28歳	平成12年3月	急性呼吸促進症候群	風邪のため病舎で治療中、症状が増悪したため、救命救急措置を講じ、救急車で外部病院に搬送したが、急性呼吸促進症候群のため、死亡した。
522	山形刑務所	男	63歳	平成12年4月	急性心不全	胃のむかつき、おう吐があり、経過観察していたところ、容態が急変し、救命救急措置を講じ、救急車で外部病院に搬送したが、急性心不全のため、死亡した。
523	山形刑務所	男	36歳	平成12年12月	急性心不全	雑居房で就寝中、呼吸の停止が認められたため、救命救急措置を講じ、救急車で外部病院に搬送したが、急性心不全のため、死亡した。
524	福島刑務所	男	36歳	平成12年7月	縊死	独居房で縊死を図っているところを発見し、救命救急措置を講じ、救急車で外部病院に搬送したが、死亡した。
525	黒羽刑務所	男	57歳	平成12年4月	くも膜下出血（疑い）	午睡時間が終了しても本人が起きないため、確認したところ、心肺停止の状態であったため、救急車で外部病院に搬送したが、くも膜下出血（疑い）のため、死亡した。
526	黒羽刑務所	男	54歳	平成12年10月	脳出血	居房で激しいおう吐、瞳孔散大、意識障害が認められたため、外部病院に搬送し、入院治療を行ったが、脳出血のため、死亡した。
527	前橋刑務所	男	65歳	平成12年12月	急性心筋梗塞	居房で倒れたため、外部病院に搬送したが、急性心筋梗塞のため、死亡した。
528	千葉刑務所	男	56歳	平成12年2月	急性循環不全	胸部大動脈がん疑いのため病舎で治療中、急性循環不全のため、死亡した。
529	千葉刑務所	男	71歳	平成12年12月	肺がん	肺がんの疑いのため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。

整理 番号	施設名	性別	死亡時 の年齢	死亡の経緯		
				死亡年月	死 因	概 要
530	八王子医療刑務所	男	81歳	平成12年1月	肺炎	肺炎、慢性気管支炎、高血圧、左大腿骨頸部骨折のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
531	八王子医療刑務所	男	60歳	平成12年1月	がん性腹膜炎	胃がんのため病舎で治療中、がん性腹膜炎のため、死亡した。
532	八王子医療刑務所	男	56歳	平成12年1月	下咽頭がん	下咽頭がんのため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
533	八王子医療刑務所	男	84歳	平成12年2月	胃がん	胃がんのため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
534	八王子医療刑務所	男	54歳	平成12年2月	消化管出血、 肝不全	肝臓がん、食道静脈瘤、C型肝炎、大腸がん術後、糖尿病、胃十二指腸潰瘍のため病舎で治療中、症状が増悪し、消化管出血、肝不全のため、死亡した。
535	八王子医療刑務所	男	59歳	平成12年2月	肝不全	アルコール性肝硬変、糖尿病のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
536	八王子医療刑務所	男	78歳	平成12年2月	誤嚥性肺炎	誤嚥性肺炎、脳梗塞、心不全、陳旧性心筋梗塞のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
537	八王子医療刑務所	男	52歳	平成12年2月	消化管出血	肝硬変のため病舎で治療中、症状が増悪し、消化管出血のため、死亡した。
538	八王子医療刑務所	男	67歳	平成12年2月	急性心不全	右口底がん、糖尿病のため病舎で治療中、急性心不全のため、死亡した。
539	八王子医療刑務所	男	56歳	平成12年3月	原発性肺がん	原発性肺がん、糖尿病のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
540	八王子医療刑務所	男	74歳	平成12年3月	急性間質性肺炎	間質性肺炎、心不全、高血圧症、糖尿病のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
541	八王子医療刑務所	男	54歳	平成12年3月	扁桃がん	扁桃がん、左頸部リンパ節転移、左腋窩リンパ節転移、高血圧、左副鼻腔炎のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
542	八王子医療刑務所	男	69歳	平成12年3月	口底がん	口底がん、右頸部リンパ節転移のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
543	八王子医療刑務所	男	66歳	平成12年3月	誤嚥性肺炎	誤嚥性肺炎、脳内出血、左気胸のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
544	八王子医療刑務所	男	65歳	平成12年3月	呼吸不全	肺がんのため病舎で治療中、症状が増悪し、呼吸不全のため、死亡した。
545	八王子医療刑務所	男	67歳	平成12年3月	呼吸不全	脳腫瘍（悪性）のため病舎で治療中、症状が増悪し、呼吸不全のため、死亡した。
546	八王子医療刑務所	男	72歳	平成12年3月	肺炎	心房細動、心不全、糖尿病のため病舎で治療中、肺炎のため、死亡した。
547	八王子医療刑務所	男	49歳	平成12年3月	左上顎洞がん	左上顎洞がんのため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
548	八王子医療刑務所	男	60歳	平成12年4月	感染症ショック	肺炎、進行性痴呆、クロイツフェルトヤコブ病、てんかん性精神障害疑い、人格障害のため病舎で治療中、症状が増悪し、感染症ショックのため、死亡した。

整理 番号	施設名	性別	死亡時 の年齢	死亡の経緯		
				死亡年月	死 因	概 要
549	八王子医療刑務所	男	64歳	平成12年4月	肝不全	肝がん、肝硬変、肝不全、C型肝炎のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
550	八王子医療刑務所	男	56歳	平成12年4月	肺がん	肺がんのため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
551	八王子医療刑務所	男	56歳	平成12年4月	肝細胞がん	右軟口蓋腫瘍、肝細胞がん、C型肝炎のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
552	八王子医療刑務所	男	65歳	平成12年4月	転移性肝腫瘍	胃がんのため病舎で治療中、症状が増悪し、転移性肝腫瘍のため、死亡した。
553	八王子医療刑務所	男	73歳	平成12年5月	肝がん	肝がんのため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
554	八王子医療刑務所	男	63歳	平成12年6月	腹腔内腫瘍	腹部腫瘍のため病舎で治療中、症状が増悪し、腹腔内腫瘍のため、死亡した。
555	八王子医療刑務所	男	69歳	平成12年6月	膵がん	膵がんのため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
556	八王子医療刑務所	女	59歳	平成12年6月	敗血症	うつ病、精神分裂病（統合失調症）、貧血、低栄養、敗血症のため病舎で治療中、症状が増悪し、敗血症のため、死亡した。
557	八王子医療刑務所	男	67歳	平成12年6月	食道がん	食道がんのため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
558	八王子医療刑務所	男	64歳	平成12年7月	転移性肺腫瘍	転移性肺腫瘍、大腸がん術後、転移性肝腫瘍のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
559	八王子医療刑務所	男	70歳	平成12年8月	肝不全	肝がんのため病舎で治療中、症状が増悪し、肝不全のため、死亡した。
560	八王子医療刑務所	男	64歳	平成12年8月	誤嚥性肺炎	糖尿病、脱水、脳梗塞、副腎機能不全、誤嚥性肺炎、褥瘡、躁うつ病のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
561	八王子医療刑務所	男	47歳	平成12年8月	食道静脈瘤破裂による出血	肝細胞がん、肝硬変、食道静脈瘤のため病舎で治療中、症状が増悪し、食道静脈瘤破裂による出血のため、死亡した。
562	八王子医療刑務所	男	48歳	平成12年8月	悪性リンパ腫	悪性リンパ腫のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
563	八王子医療刑務所	男	64歳	平成12年9月	肝細胞がん	肝硬変、肝細胞がん、がん性腹膜炎のため病舎で治療中、症状が増悪し、肝細胞がんのため、死亡した。
564	八王子医療刑務所	男	39歳	平成12年9月	大腸がん	大腸がんのため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
565	八王子医療刑務所	男	52歳	平成12年9月	慢性骨髄球形性白血病	骨髄異形成症候群、糖尿病のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
566	八王子医療刑務所	男	52歳	平成12年10月	敗血症	肺炎、脳出血、慢性腎不全、糖尿病、C型肝炎のため病舎で治療中、症状が増悪し、敗血症のため、死亡した。
567	八王子医療刑務所	男	44歳	平成12年10月	咽頭がん	咽頭がんのため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
568	八王子医療刑務所	女	45歳	平成12年10月	胃がん	胃がん、多発性肝転移、がん性腹膜炎のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。

整理番号	施設名	性別	死亡時の年齢	死亡の経緯		
				死亡年月	死因	概要
569	八王子医療刑務所	男	56歳	平成12年11月	肺がん	肺がんのため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
570	八王子医療刑務所	男	72歳	平成12年11月	致死的不整脈（心筋梗塞（疑い））	慢性腎不全、糖尿病、狭心症、血管内凝固症候群のため病舎で治療中、致死的不整脈（心筋梗塞（疑い））のため、死亡した。
571	八王子医療刑務所	男	58歳	平成12年11月	肝がん	肝がんのため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
572	八王子医療刑務所	男	62歳	平成12年12月	肝臓がん	肝臓がんのため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
573	八王子医療刑務所	男	51歳	平成12年12月	致死性不整脈	致死性不整脈、 <sup>血栓</sup> 薬粒結核のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
574	八王子医療刑務所	男	41歳	平成12年12月	転移性脳腫瘍	肺がんのため病舎で治療中、転移性脳腫瘍のため、死亡した。
575	八王子医療刑務所	男	64歳	平成12年12月	消化器出血	尿毒症、慢性腎不全、糖尿病のため病舎で治療中、消化器出血のため、死亡した。
576	八王子医療刑務所	男	54歳	平成12年12月	後腹膜腫瘍	後腹膜腫瘍のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
577	府中刑務所	男	62歳	平成12年1月	脳梗塞	意識消失発作が出現し、脳幹梗塞の疑いと診断され、救命救急措置を講じたが、脳梗塞のため、死亡した。
578	府中刑務所	男	46歳	平成12年1月	薬剤アレルギーによる衰弱死	発熱、頭痛のため治療中、薬剤アレルギーによる衰弱のため、死亡した。
579	府中刑務所	男	50歳	平成12年1月	慢性骨髄性白血病	全身のしびれが出現したため、外部病院に搬送し、救命救急措置を講じたが、慢性骨髄性白血病のため、死亡した。
580	府中刑務所	男	69歳	平成12年2月	脳梗塞	意識障害が発症し、救命救急措置を講じたが、脳梗塞のため、死亡した。
581	府中刑務所	男	49歳	平成12年3月	不整脈の疑い	慢性腎不全のため治療中、症状が増悪し、不整脈の疑いのため、死亡した。
582	府中刑務所	男	65歳	平成12年6月	肺梗塞の疑い	イレウスのため治療中、症状が増悪し、肺梗塞の疑いのため、死亡した。
583	府中刑務所	男	61歳	平成12年9月	播種性血管内凝固症候群	腸閉塞のため病舎で治療中、症状が増悪し、外部病院に搬送し、帰所後も引き続き治療を行っていたが、症状が増悪し、播種性血管内凝固症候群のため、死亡した。
584	府中刑務所	男	42歳	平成12年11月	肝不全、肝性脳症	肝不全、肝性脳症のため治療中、症状が増悪し、死亡した。
585	府中刑務所	男	54歳	平成12年11月	肝硬変	肝硬変のため治療中、症状が増悪し、死亡した。
586	府中刑務所	男	57歳	平成12年12月	肺炎	気管支炎のため治療中、症状が増悪し、肺炎のため、死亡した。
587	府中刑務所	男	70歳	平成12年12月	敗血症（慢性腸閉塞）	慢性腸閉塞のため、外部病院に搬送し、入院、手術を実施したが、症状が増悪し、敗血症のため、死亡した。
588	府中刑務所	男	68歳	平成12年12月	薬剤性肝障害	肺結核のため病舎で治療中、症状が増悪し、薬剤性肝障害のため、死亡した。

整理 番号	施設名	性別	死亡時 の年齢	死亡の経緯		
				死亡年月	死 因	概 要
589	横浜刑務所	男	73歳	平成12年5月	脳出血	意識消失のため外部病院に搬送したが、脳出血のため、死亡した。
590	横浜刑務所	男	56歳	平成12年7月	縊死	舎房倉庫で縊死を図っているところを発見し、救命救急措置を講じたが、死亡した。
591	横須賀刑務所	男	58歳	平成12年12月	脳腫瘍	保護房収容中、異状を発見し、救急車で外部病院に搬送したが、脳腫瘍のため、死亡した。
592	甲府刑務所	男	77歳	平成12年10月	腸閉塞	腹痛のため病舎で治療中、腸閉塞のため、死亡した。
593	長野刑務所	男	51歳	平成12年9月	肝不全	肝硬変、慢性C型肝炎、肝性脳症のため、外部病院に搬送したが、肝不全のため、死亡した。
594	静岡刑務所	男	50歳	平成12年1月	縊死	独居房で縊死を図っているところを発見し、救命救急措置を講じ、救急車で外部病院に搬送したが、死亡した。
595	静岡刑務所	男	42歳	平成12年2月	不整脈	独居房で座ったまま意識消失の状態を発見され、救命救急措置を講じ、救急車で外部病院に搬送したが、不整脈のため、死亡した。
596	静岡刑務所	男	49歳	平成12年12月	肺がん	肺がんのため治療中、症状が増悪し、外部病院に搬送したが、死亡した。
597	水戸少年刑務所	男	27歳	平成12年5月	心筋梗塞（疑い）	独居房で異状を発見し、救命救急措置を講じ、救急車で外部病院に搬送したが、心筋梗塞（疑い）のため、死亡した。
598	川越少年刑務所	男	21歳	平成12年2月	不明（脳表の顕著な浮腫）	雑居房で本人がおう吐しているところを発見し、その後容態が急変したことから、救急車で外部病院に搬送したが、死亡した。
599	富山刑務所	男	59歳	平成12年11月	脳血管障害（脳出血）	脳血管障害のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
600	岐阜刑務所	男	66歳	平成12年2月	心筋梗塞	脳出血後遺症のため病舎で治療中、異状を発見し、救命救急措置を講じ、救急車で外部病院に搬送したが、心筋梗塞のため、死亡した。
601	岐阜刑務所	男	65歳	平成12年7月	肝硬変	肝硬変、腹水のため病舎で治療中、肝機能増悪による昏睡状態となったことから、外部病院に搬送したが、肝硬変のため、死亡した。
602	名古屋刑務所	男	37歳	平成12年1月	不詳	肺結核、糖尿病のため病舎で治療中、突然、心停止したため、救命救急措置を講じ、外部病院に搬送したが、死亡した。
603	名古屋刑務所	男	76歳	平成12年1月	原発性肺がん	肺気腫、心不全、肺がんのため病舎で治療中、症状が増悪し、原発性肺がんのため、死亡した。
604	名古屋刑務所	男	62歳	平成12年3月	慢性腎不全の急性増悪	糖尿病性神経症、糖尿病性腎症、糖尿病性網膜症のため病舎で治療中、慢性腎不全の急性増悪のため、死亡した。
605	名古屋刑務所	男	78歳	平成12年3月	結核性胸膜炎	結核性胸膜炎のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
606	名古屋刑務所	男	53歳	平成12年3月	肝不全	肝性脳症のため病舎で治療中、肝不全のため、死亡した。
607	名古屋刑務所	男	57歳	平成12年5月	食道がん	食道がんのため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
608	名古屋刑務所	男	66歳	平成12年7月	肝細胞がん	肝細胞がんのため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。

整理 番号	施設名	性別	死亡時 の年齢	死亡の経緯		
				死亡年月	死 因	概 要
609	名古屋刑務所	男	59歳	平成12年8月	直腸がん	直腸がんのため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
610	名古屋刑務所	男	49歳	平成12年9月	肝不全	肝硬変、食道静脈瘤のため病舎で治療中、肝不全のため、死亡した。
611	名古屋刑務所	男	52歳	平成12年11月	大腸がん	直腸がんのため病舎で治療中、徐々に症状が増悪し、死亡した。
612	名古屋刑務所	男	65歳	平成12年12月	急性心不全	胸部症状を訴えたため、救命救急措置を講じたが、急性心不全のため、死亡した。
613	名古屋刑務所	男	65歳	平成12年12月	急性呼吸不全	重症肺炎のため治療中、脈拍微弱、自発呼吸も弱く、症状が増悪し、急性呼吸不全のため、死亡した。
614	名古屋刑務所	男	54歳	平成12年12月	胃がん	胃がんのため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
615	滋賀刑務所	男	51歳	平成12年1月	急性腎不全	急性腎不全、敗血症の疑いのため、外部病院に搬送中のところ、突然、容態が急変したことから、救命救急措置を講じたが、死亡した。
616	滋賀刑務所	男	56歳	平成12年4月	くも膜下出血	雑居房で異状を発見し、救急車で外部病院に搬送したが、くも膜下出血のため、死亡した。
617	京都刑務所	男	58歳	平成12年6月	呼吸不全	脳卒中のため病舎で治療中、症状が増悪し、呼吸不全のため、死亡した。
618	大阪刑務所	男	40歳	平成12年1月	急性心筋梗塞 (疑い)	意識障害のため病舎で治療中、急性心筋梗塞(疑い)のため、死亡した。
619	大阪刑務所	男	57歳	平成12年2月	脳出血	居房で突然倒れたため、救命救急措置を講じたが、脳出血のため、死亡した。
620	大阪刑務所	男	59歳	平成12年3月	肺炎	肺炎のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
621	大阪刑務所	男	69歳	平成12年5月	脳出血	意識障害のため病舎で治療中、症状が増悪し、脳出血のため、死亡した。
622	大阪刑務所	男	73歳	平成12年12月	多発性肝がん	肝がんのため病舎で治療中、症状が増悪し、多発性肝がんのため、死亡した。
623	大阪刑務所	男	53歳	平成12年12月	急性心筋梗塞 (疑い)	脳梗塞、右半身まひ、高血圧症、慢性関節リウマチのため病舎で治療中、急性心筋梗塞(疑い)のため、死亡した。
624	大阪医療刑務所	男	69歳	平成12年1月	回盲部がん	胆嚢炎、肝内腫瘍、胃がん術後で治療中、回盲部がんのため、死亡した。
625	大阪医療刑務所	男	78歳	平成12年1月	乾酪性肺炎	肺結核のため治療中、症状が増悪し、乾酪性肺炎のため、死亡した。
626	大阪医療刑務所	男	43歳	平成12年2月	肝不全	肝硬変、食道静脈瘤のため治療中、症状が増悪し、肝不全のため、死亡した。
627	大阪医療刑務所	男	61歳	平成12年2月	転移性肺腫瘍	肝がん、肺転移、腹腔内リンパ節転移、がん性腹膜炎のため治療中、症状が増悪し、転移性肺腫瘍のため、死亡した。
628	大阪医療刑務所	男	58歳	平成12年2月	右脳出血	右脳出血のため治療中、症状が増悪し、死亡した。

整理 番号	施設名	性別	死亡時 の年齢	死亡の経緯		
				死亡年月	死 因	概 要
629	大阪医療刑務所	男	71歳	平成12年3月	大腸がん	大腸がん、肺転移のため治療中、症状が増悪し、死亡した。
630	大阪医療刑務所	男	63歳	平成12年3月	胃がん	胃がんのため治療中、症状が増悪し、死亡した。
631	大阪医療刑務所	男	64歳	平成12年3月	がん性腹膜炎	胃がんのため治療中、症状が増悪し、がん性腹膜炎のため、死亡した。
632	大阪医療刑務所	男	68歳	平成12年3月	パーキンソン病	パーキンソン病のため治療中、症状が増悪し、死亡した。
633	大阪医療刑務所	男	66歳	平成12年3月	敗血症	右片まひ、左被殻陳旧性出血、糖尿病、高血圧症のため治療中、敗血症を発症し、死亡した。
634	大阪医療刑務所	男	67歳	平成12年4月	右被殻出血	右被殻出血のため治療中、肺塞栓症を発症するなど、症状が増悪し、死亡した。
635	大阪医療刑務所	男	62歳	平成12年4月	脾臓がん	脾臓がんの疑い、がん性腹膜炎のため治療中、症状が増悪し、死亡した。
636	大阪医療刑務所	男	62歳	平成12年4月	脳出血	左大脳半球に広範囲の出血巣を認め、更に右大脳半球も出血を認め治療中、症状が増悪し、脳出血のため、死亡した。
637	大阪医療刑務所	男	67歳	平成12年4月	肝がん	肝硬変、肝がんのため治療中、症状が増悪し、死亡した。
638	大阪医療刑務所	男	60歳	平成12年5月	胃がん	胃がんのため治療中、症状が増悪し、死亡した。
639	大阪医療刑務所	男	65歳	平成12年6月	右上顎洞部悪性腫瘍	右上顎洞部悪性腫瘍のため治療中、症状が増悪し、死亡した。
640	大阪医療刑務所	男	62歳	平成12年6月	肝細胞がん	肝細胞がん疑い、肝硬変、食道静脈瘤、パーキンソン病のため治療中、症状が増悪し、肝細胞がんのため、死亡した。
641	大阪医療刑務所	男	57歳	平成12年6月	胃がん	胃がんのため治療中、症状が増悪し、死亡した。
642	大阪医療刑務所	男	62歳	平成12年7月	肛門管がん	肛門管がんのため治療中、症状が増悪し、死亡した。
643	大阪医療刑務所	男	51歳	平成12年7月	脳内出血	脳内出血治療のため入所した当日、症状が増悪し、死亡した。
644	大阪医療刑務所	男	68歳	平成12年7月	肝がん	肝細胞がんのため治療中、症状が増悪し、死亡した。
645	大阪医療刑務所	男	52歳	平成12年7月	肝細胞がん	多発性肝細胞がんのため治療中、症状が増悪し、死亡した。
646	大阪医療刑務所	男	77歳	平成12年7月	腹腔内出血	肝がんのため治療中、肝がん破裂による腹腔内出血を発症し、死亡した。
647	大阪医療刑務所	男	72歳	平成12年7月	肝細胞がん	肝細胞がんのため治療中、症状が増悪し、死亡した。
648	大阪医療刑務所	男	66歳	平成12年8月	多臓器不全	腸閉塞のため治療中、多臓器不全のため、死亡した。

整理 番号	施設名	性別	死亡時 の年齢	死亡の経緯		
				死亡年月	死 因	概 要
649	大阪医療刑務所	男	67歳	平成12年9月	全身リンパ節 転移がん	低分化腺がんのため治療中、全身リンパ節転移がんを 発症し、死亡した。
650	大阪医療刑務所	男	68歳	平成12年10月	胆嚢がん	胆嚢がんのため治療中、症状が増悪し、死亡した。
651	大阪医療刑務所	男	65歳	平成12年10月	肝細胞がん	肝細胞がん、肝硬変のため治療中、症状が増悪し、死 亡した。
652	大阪医療刑務所	男	58歳	平成12年10月	肺がん	肺扁平上皮がんのため治療中、症状が増悪し、死亡し た。
653	大阪医療刑務所	男	66歳	平成12年10月	肺がん	肺がんのため治療中、症状が増悪し、死亡した。
654	大阪医療刑務所	男	54歳	平成12年11月	胃がん再発	胃がん再発のため治療中、症状が増悪し、死亡した。
655	大阪医療刑務所	男	61歳	平成12年11月	急性呼吸不全	多発性脳梗塞、肺結核、糖尿病のため治療中、急性呼 吸不全のため、死亡した。
656	大阪医療刑務所	男	52歳	平成12年11月	肝不全	肝不全のため治療中、症状が増悪し、死亡した。
657	大阪医療刑務所	男	63歳	平成12年12月	肝不全	肝硬変、胆石症、食道胃静脈瘤のため治療中、肝不全 のため、死亡した。
658	大阪医療刑務所	男	46歳	平成12年12月	がん性腹膜炎	胃がん術後の腸閉塞のため治療中、症状が増悪し、が ん性腹膜炎のため、死亡した。
659	大阪医療刑務所	男	49歳	平成12年12月	肺がん	肺がんによる腰椎転移のため治療中、症状が増悪し、 死亡した。
660	神戸刑務所	男	62歳	平成12年10月	高血圧性脳出 血	左半身まひ、発語障害等の症状があったため、外部病 院に搬送したところ、脳内出血、脳浮腫が認められたこ とから、同病院で脳内出血血腫除去手術を実施したが、 症状が増悪し、死亡した。
661	神戸刑務所	男	46歳	平成12年2月	脳内出血	作業中に異状を認め、外部病院に搬送し、さらに専門 病院へ転院したが、脳内出血のため、死亡した。
662	神戸刑務所	男	50歳	平成12年4月	急性心不全	独居房で異状を発見し、外部病院に搬送したが、急性 心不全のため、死亡した。
663	広島刑務所	男	48歳	平成12年2月	出血性脳梗塞	脳梗塞のため外部病院に入院中、症状が増悪し、出血 性脳梗塞のため、死亡した。
664	広島刑務所	男	33歳	平成12年7月	肺水腫	雑居房で異状を発見し、救命救急措置を講じたが、肺 水腫のため、死亡した。
665	広島刑務所	男	47歳	平成12年9月	脳出血	人工透析患者として治療中、脳出血を再発し、死亡し た。
666	広島刑務所	男	59歳	平成12年5月	多臓器不全	下血による血圧低下の症状が見られたことから、外部 病院に搬送したが、多臓器不全のため、死亡した。
667	山口刑務所	男	32歳	平成12年12月	心室細動	独居房で異状を発見し、救命救急措置を講じ、救急車 で外部病院に搬送したが、心室細動のため、死亡した。
668	徳島刑務所	男	76歳	平成12年3月	敗血症	感冒のため病舎で治療中、症状が増悪し、敗血症のた め、死亡した。

整理 番号	施設名	性別	死亡時 の年齢	死亡の経緯		
				死亡年月	死 因	概 要
669	徳島刑務所	男	67歳	平成12年12月	急性心筋梗塞	胸痛の訴えがあり、救急車で外部病院に搬送したが、急性心筋梗塞のため、死亡した。
670	高松刑務所	男	50歳	平成12年12月	心室性頻拍	工場で作業中、身体の不調を訴えた後、心停止となったため、救命救急措置を講じ、外部病院に搬送したが、心室性頻拍のため、死亡した。
671	北九州医療刑務所	男	54歳	平成12年12月	窒息	独居房で異状を発見し、救命救急措置を講じるとともに、救急車で外部病院に搬送したが、窒息のため、死亡した。
672	北九州医療刑務所	男	67歳	平成12年4月	(嚥下性)肺炎	イレウスのため治療中、誤嚥による肺炎を併発し、救命救急措置を講じたが、死亡した。
673	福岡刑務所	男	65歳	平成12年1月	胃幽門部がん	胃幽門部がんのため病舎で治療中、症状増悪し、死亡した。
674	福岡刑務所	男	48歳	平成12年5月	肝門部悪性リンパ腫	肝硬変及び肝腫瘍のため病舎で治療中、肝門部悪性リンパ腫のため、死亡した。
675	福岡刑務所	男	51歳	平成12年10月	悪性症候群	悪性症候群のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
676	福岡刑務所	男	59歳	平成12年11月	急性心筋梗塞	心筋梗塞、肺結核及び結核性胸膜炎のため病舎で治療中、容態が悪化したことから、救命救急措置を講じ、外部病院に搬送したが、急性心筋梗塞のため、死亡した。
677	佐世保刑務所	男	25歳	平成12年11月	脳内出血	急性白血病のため、外部病院に搬送し、入院させたが、症状が増悪し、脳内出血のため、死亡した。
678	長崎刑務所	男	43歳	平成12年12月	急性心臓死	運動場ベンチで突然倒れ、救命救急措置を講じ、救急車で外部病院に搬送したが、急性心臓死のため、死亡した。
679	大分刑務所	男	56歳	平成12年3月	肺炎	肺炎のため病舎で治療中、異状を発見し、救命救急措置を講じ、外部病院に搬送したが、肺炎のため、死亡した。
680	宮崎刑務所	男	47歳	平成12年3月	急性心不全	体操を終了した後、突然倒れたため、外部病院に搬送したが、急性心不全のため、死亡した。
681	鹿児島刑務所	男	51歳	平成12年7月	肝不全	アルコール性肝硬変のため治療中、肝性脳症に伴う昏睡状態に陥り、外部病院に搬送したが、肝不全のため、死亡した。
682	鹿児島刑務所	女	54歳	平成12年2月	心肺停止	血球貧食症候群、急性白血病の疑いのため治療中、容態が急変したため、救急車で外部病院に搬送したが、心肺停止のため、死亡した。

## 6 平成13年

整理番号	施設名	性別	死亡時の年齢	死亡の経緯		
				死亡年月	死因	概要
683	札幌刑務所	男	62歳	平成13年5月	心筋梗塞	狭心症発作治療のため病舎で治療中、心筋梗塞を発症し、死亡した。
684	網走刑務所	男	41歳	平成13年1月	食道静脈瘤破裂(肝硬変)	吐血し、貧血状態を示したため、救急車で外部病院に搬送したが、食道静脈瘤破裂(肝硬変)のため、死亡した。
685	網走刑務所	男	61歳	平成13年1月	出血性ショック(肝がん破裂)	腹痛を訴えたため、外部病院に搬送したが、出血性ショック(肝がん破裂)のため、死亡した。
686	月形刑務所	男	66歳	平成13年2月	急性心不全	独居房で異状を発見し、救命救急措置を講じ、救急車で外部病院に搬送したが、急性心不全のため、死亡した。
687	宮城刑務所	男	59歳	平成13年1月	低酸素脳症	胃がん術後病舎で治療中、居房で縊死を図ったため、外部病院に救急搬送したが、低酸素脳症のため、死亡した。
688	宮城刑務所	男	50歳	平成13年3月	急性心筋梗塞	糖尿病のため、インシュリン治療を受けていたところ、急性心筋梗塞を疑われる症状により、外部病院に搬送したが、急性心筋梗塞のため、死亡した。
689	宮城刑務所	男	63歳	平成13年4月	縦隔悪性腫瘍	縦隔悪性腫瘍のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
690	宮城刑務所	男	31歳	平成13年6月	急性心不全	雑居房で問い掛けに反応しないなどの異状が認められたため、救命救急措置を講じたが、急性心不全のため、死亡した。
691	宮城刑務所	男	54歳	平成13年7月	急性循環不全	腰痛のため病舎で治療中、職員の問い掛けに反応がなかったため、救命救急措置を講じたが、急性循環不全のため、死亡した。
692	宮城刑務所	男	65歳	平成13年9月	呼吸不全	脳幹梗塞、小脳梗塞のため病舎で治療中、誤嚥性肺炎を併発し、呼吸不全のため、死亡した。
693	宮城刑務所	男	58歳	平成13年11月	慢性腎不全	腎機能障害、腎性貧血のため病舎で治療中、症状が増悪し、慢性腎不全のため、死亡した。
694	宮城刑務所	男	69歳	平成13年12月	急性肺炎	老人性痴呆のため病舎で治療中、肺炎を発症し、死亡した。
695	宮城刑務所	男	53歳	平成13年12月	肺がん	肺がんの小脳転移のため病舎で治療中、症状が増悪し、肺がんのため、死亡した。
696	山形刑務所	男	57歳	平成13年2月	脳内出血	ろれつが回らず、ふらついていたため、救急車で外部病院に搬送したが、脳内出血のため、死亡した。
697	栃木刑務所	女	62歳	平成13年11月	急性肺塞栓症	誤嚥性肺炎のため病舎で治療中、腹部に水分の貯留が認められ、尿検査の結果、感染症状が認められたため、抗生物質の点滴を開始しようとした際、突然、呼吸停止となったため、救命救急措置を講じ、救急車で外部病院に搬送したが、急性肺塞栓症のため、死亡した。
698	黒羽刑務所	男	48歳	平成13年1月	洞不全症候群	起立性低血圧症及び洞不全症候群の疑いにより病舎で治療中、異状を発見し、救急車で外部病院に搬送したが、洞不全症候群のため、死亡した。
699	黒羽刑務所	男	45歳	平成13年11月	縊死	うつ状態で抗うつ剤の投与を受けていたが、居房で縊死を図っているところを発見し、直ちに救急車で外部病院に搬送したが、死亡した。

整理番号	施設名	性別	死亡時の年齢	死亡の経緯		
				死亡年月	死因	概要
700	黒羽刑務所	男	66歳	平成13年11月	急性心筋梗塞	糖尿病性 <sup>えそ</sup> 壊疽のため病舎で治療中、異状を発見し、救急車で外部病院に搬送したが、急性心筋梗塞のため、死亡した。
701	黒羽刑務所	男	77歳	平成13年12月	急性心筋梗塞	肝機能障害、便秘症、腰痛のため病舎で治療中、心肺停止状態となったため、救急車で外部病院に搬送したが、急性心筋梗塞のため、死亡した。
702	前橋刑務所	男	45歳	平成13年4月	脳出血	右上下肢まひ、意識障害を発症し、外部病院に搬送したが、脳出血のため、死亡した。
703	千葉刑務所	男	62歳	平成13年1月	急性心不全	老人性痴呆症に基因するせん妄状態のため病舎で治療中、症状が増悪し、救命救急措置を講じたが、救急車で外部病院に搬送後、急性心不全のため、死亡した。
704	千葉刑務所	男	68歳	平成13年2月	脳血管障害	全身衰弱のため病舎で治療中、症状が増悪し、脳血管障害のため、死亡した。
705	千葉刑務所	男	70歳	平成13年3月	急性心不全	腸閉塞の疑いのため病舎で治療中、症状が増悪し、急性心不全のため、死亡した。
706	千葉刑務所	男	60歳	平成13年5月	急性胆嚢炎	急性胆嚢炎のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
707	千葉刑務所	男	46歳	平成13年10月	肺炎	肺炎の疑いのため病舎で治療中、症状が増悪し、救命救急措置を講じ、救急車で外部病院に搬送したが、肺炎のため、死亡した。
708	八王子医療刑務所	女	61歳	平成13年1月	急性心不全	糖尿病、慢性関節リウマチ、高血圧症、狭心症、腎不全、心因反応、甲状腺腫瘍術後のため病舎で治療中、急性心不全のため、死亡した。
709	八王子医療刑務所	男	58歳	平成13年1月	肝不全	食道静脈瘤、肝硬変、胆石症のため病舎で治療中、肝不全のため、死亡した。
710	八王子医療刑務所	男	63歳	平成13年1月	呼吸不全	左上咽頭がん、左頸部リンパ節転移のため病舎で治療中、症状が増悪し、呼吸不全のため、死亡した。
711	八王子医療刑務所	女	60歳	平成13年1月	肺水腫	肺水腫、肝不全、肝硬変症、C型肝炎、胆石症、胃炎、腸閉塞術後、パーキンソン症候群、不眠症のため病舎で治療中、症状が増悪し、肺水腫のため、死亡した。
712	八王子医療刑務所	男	60歳	平成13年2月	脳梗塞	出血性脳梗塞、僧帽弁閉鎖不全症、左白内障、出血性胃潰瘍のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
713	八王子医療刑務所	男	43歳	平成13年2月	肺がん	肺がん、頸部リンパ節転移、不整脈のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
714	八王子医療刑務所	男	84歳	平成13年2月	うっ血性心不全	心不全、肺がんの疑い、気管支喘息、高血圧症、慢性腎不全のため病舎で治療中、症状が増悪し、うっ血性心不全のため、死亡した。
715	八王子医療刑務所	男	60歳	平成13年2月	食道がん	食道がん術後、後縦隔局所再発のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
716	八王子医療刑務所	男	44歳	平成13年3月	呼吸不全	胃がんのため病舎で治療中、症状が増悪し、呼吸不全のため、死亡した。
717	八王子医療刑務所	男	52歳	平成13年3月	肝不全	転移性大腸がんのため病舎で治療中、症状が増悪し、肝不全のため、死亡した。

整理番号	施設名	性別	死亡時の年齢	死亡の経緯		
				死亡年月	死因	概要
718	八王子医療刑務所	男	54歳	平成13年3月	食道がん再発	食道がん再発、吻合部狭窄のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
719	八王子医療刑務所	男	64歳	平成13年3月	敗血症性ショック	糖尿病、脳内出血、偽膜性大腸炎、高血圧症のため病舎で治療中、症状が増悪し、敗血症性ショックのため、死亡した。
720	八王子医療刑務所	男	52歳	平成13年3月	気道閉塞	右頸部腫瘤（唾液腺がん疑い）のため病舎で治療中、腫瘤による気道閉塞のため、死亡した。
721	八王子医療刑務所	男	64歳	平成13年4月	大腸がん小脳転移	盲腸がん皮膚転移の疑いのため病舎で治療中、大腸がん小脳転移のため、死亡した。
722	八王子医療刑務所	女	78歳	平成13年4月	悪液質	脳腫瘍、低蛋白血症、尿路感染症、褥瘡のため病舎で治療中、症状が増悪し、悪液質のため、死亡した。
723	八王子医療刑務所	女	68歳	平成13年4月	直腸がん腹膜播腫	直腸がん、大腸ポリープのため病舎で治療中、症状が増悪し、直腸がん腹膜播腫のため、死亡した。
724	八王子医療刑務所	男	59歳	平成13年4月	胃がん	胃がんのため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
725	八王子医療刑務所	男	64歳	平成13年4月	悪液質	膵臓がん、がん性腹膜炎、腸閉塞のため病舎で治療中、症状が増悪し、悪液質のため、死亡した。
726	八王子医療刑務所	男	74歳	平成13年5月	肺がん	肺がん、糖尿病のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
727	八王子医療刑務所	男	50歳	平成13年5月	腹膜播腫	上行結腸がん術後、腹膜播腫のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
728	八王子医療刑務所	男	70歳	平成13年5月	膵頭部腫瘍	膵頭部腫瘍のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
729	八王子医療刑務所	男	59歳	平成13年5月	肝腫瘍	肝腫瘍のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
730	八王子医療刑務所	男	54歳	平成13年5月	胃がん	進行胃がん、閉塞性黄疸のため病舎で治療中、症状が増悪し、胃がんのため、死亡した。
731	八王子医療刑務所	男	60歳	平成13年6月	呼吸不全	肺線維症、不眠症のため病舎で治療中、呼吸不全のため、死亡した。
732	八王子医療刑務所	男	71歳	平成13年6月	悪液質	肺がん、転移性脳腫瘍、高血圧症、左変形性股関節症、肺炎、両肩甲上神経炎、項中隔石灰化症のため病舎で治療中、症状が増悪し、悪液質のため、死亡した。
733	八王子医療刑務所	男	44歳	平成13年6月	がん性胸膜炎	食道がん、がん性胸膜炎のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
734	八王子医療刑務所	男	61歳	平成13年6月	膵頭部がん	膵頭部腫瘍術後、糖尿病のため病舎で治療中、症状が増悪し、膵頭部がんのため、死亡した。
735	八王子医療刑務所	男	51歳	平成13年7月	がん性腹膜炎	肝細胞がん、肝硬変症、がん性腹膜炎、食道静脈瘤のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
736	八王子医療刑務所	男	60歳	平成13年7月	中咽頭腫瘍	中咽頭腫瘍、右頸部リンパ節転移、高血圧症、糖尿病のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。

整理 番号	施設名	性別	死亡時 の年齢	死亡の経緯		
				死亡年月	死 因	概 要
737	八王子医療刑務所	男	65歳	平成13年7月	悪性リンパ腫	悪性リンパ腫のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
738	八王子医療刑務所	女	63歳	平成13年8月	直腸がん	直腸がん、転移性肝腫瘍のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
739	八王子医療刑務所	男	67歳	平成13年8月	がん性腹膜炎	多発転移性肝腫瘍、多発転移性骨腫瘍、がん性腹膜炎、腹水の疑いのため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
740	八王子医療刑務所	男	61歳	平成13年8月	上大動脈症候群、縦隔腫瘍	縦隔腫瘍、上大動脈症候群のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
741	八王子医療刑務所	男	36歳	平成13年8月	肺腺がん	肺腺がん、左反回神経まひ、右頸部結核性リンパ節炎のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
742	八王子医療刑務所	男	61歳	平成13年9月	肝不全	肝細胞がん、C型肝炎、糖尿病のため病舎で治療中、症状が増悪し、肝不全のため、死亡した。
743	八王子医療刑務所	男	65歳	平成13年9月	がん性胸膜炎、多発性肝転移	胃がん、肝転移、がん性胸膜炎のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
744	八王子医療刑務所	男	64歳	平成13年10月	肝がん	肝がん（肝細胞がん）のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
745	八王子医療刑務所	男	60歳	平成13年10月	食道がん（バレット食道がん）	食道がん（バレット食道がん）のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
746	八王子医療刑務所	男	40歳	平成13年10月	肝細胞がん（破裂）	原発性肝がん、C型肝炎硬変のため病舎で治療中、症状が増悪し、肝細胞がん（破裂）のため、死亡した。
747	八王子医療刑務所	男	44歳	平成13年11月	肝細胞がん	肝細胞がん、肝硬変（B型）、食道静脈瘤のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
748	八王子医療刑務所	男	57歳	平成13年11月	慢性腎不全	ネフローゼ症候群、うっ血性心不全、糖尿病、糖尿病性網膜症、左下肢義足、右眼硝子体出血のため病舎で治療中、症状が増悪し、慢性腎不全のため、死亡した。
749	八王子医療刑務所	男	75歳	平成13年11月	悪性リンパ腫	悪性リンパ腫のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
750	八王子医療刑務所	男	54歳	平成13年12月	胃がん（切除不能進行胃がん）	胃がん、糖尿病、急性腎不全のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
751	八王子医療刑務所	男	63歳	平成13年12月	肝細胞がん	肝細胞がん、肝硬変症、左肩甲骨部転移のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
752	府中刑務所	男	72歳	平成13年1月	肺炎	肺炎のため治療中、症状が増悪し、死亡した。
753	府中刑務所	男	71歳	平成13年1月	急性腎不全、糖尿病	急性腎不全のため治療中、症状が増悪し、急性腎不全、糖尿病のため、死亡した。
754	府中刑務所	男	71歳	平成13年3月	敗血症、肺炎	敗血症のため治療中、肺炎のため呼吸困難となり、死亡した。
755	府中刑務所	男	79歳	平成13年7月	老衰（全身衰弱）	全身衰弱状態のため、点滴治療を行ったが、老衰（全身衰弱）のため、死亡した。

整理 番号	施設名	性別	死亡時 の年齢	死亡の経緯		
				死亡年月	死 因	概 要
756	府中刑務所	男	65歳	平成13年8月	薬剤性細胞傷害型劇症肝炎	肺結核のため治療中、意識障害、発熱が生じ、救命救急措置を講じたが、薬剤性細胞傷害型劇症肝炎のため、死亡した。
757	府中刑務所	男	80歳	平成13年9月	敗血症	食欲不振のため点滴治療していたが、褥瘡部から感染が悪化し、敗血症のため、死亡した。
758	府中刑務所	男	56歳	平成13年9月	中咽頭がん	中咽頭がんのため、入所前に外部病院で手術を受けていたが、入所後、症状が増悪し、死亡した。
759	府中刑務所	男	62歳	平成13年10月	腸閉塞、がん性腹膜炎	胃がんのため胃全摘出、脾摘出手術を受け、治療中、腸閉塞、がん性腹膜炎となり、症状が増悪し、死亡した。
760	府中刑務所	男	26歳	平成13年11月	縊死の疑い	居房で縊死を図っているところを発見し、救命救急措置を講じたが、死亡した。
761	府中刑務所	男	45歳	平成13年12月	摂食障害	摂食障害のため治療中、ベッドに仰向けに寝たまま心臓停止状態になっているところを発見し、救命救急措置を講じたが、摂食障害のため、死亡した。
762	府中刑務所	男	42歳	平成13年12月	脳塞栓の疑い(心臓弁膜症)	腰痛のため診察室で横臥した際、急に口から泡を吹いたため、救命救急措置を講じたが、脳塞栓の疑い(心臓弁膜症)のため、死亡した。
763	横浜刑務所	男	53歳	平成13年1月	食道静脈瘤破裂による出血死	低血糖症のため病舎で治療中、病状不良となり、救急車で外部病院に搬送後、食道静脈瘤破裂による出血のため、死亡した。
764	新潟刑務所	男	66歳	平成13年3月	呼吸器感染症	尿失禁、歩行障害及び痴呆症状のため病舎で治療中、呼吸停止状態となり、救命救急措置を講じたが、呼吸器感染症のため、死亡した。
765	新潟刑務所	男	53歳	平成13年9月	低酸素性脳障害	感冒のため病舎で治療中、居房で縊死を図っているところを発見し、救命救急措置を講じ、救急車で外部病院に搬送したが、低酸素性脳障害のため、死亡した。
766	甲府刑務所	男	33歳	平成13年6月	縊死	独居房で縊死を図っているところを発見し、救命救急措置を講じ、救急車で外部病院に搬送したが、死亡した。
767	長野刑務所	男	43歳	平成13年5月	縊死	独居房で縊死を図っているところを発見し、救命救急措置を講じ、救急車で外部病院に搬送したが、死亡した。
768	静岡刑務所	男	53歳	平成13年1月	腹部大動脈瘤破裂	雑居房便所で仰向けに倒れ、腹痛を強く訴えていたところ、容態が急変したため、救急車で外部病院に搬送したが、腹部大動脈瘤破裂のため、死亡した。
769	静岡刑務所	男	53歳	平成13年1月	急性腎不全	糖尿病、うっ血性心不全のため病舎で治療中、意識障害に陥ったため、外部病院に搬送したが、容態が急変し、急性腎不全のため、死亡した。
770	静岡刑務所	男	76歳	平成13年3月	肺炎	肺炎のため病舎で治療中、痰を喉に詰まらせ、呼吸困難な状態に陥ったため、救急車で外部病院に搬送したが、肺炎のため、死亡した。
771	静岡刑務所	男	78歳	平成13年9月	肺がん	肺がんのため病舎で治療中、容態が急変し、救急車で外部病院に搬送したが、死亡した。
772	静岡刑務所	男	36歳	平成13年12月	縊死	配せん室内で縊死を図っているところを発見し、救命救急措置を講じ、救急車で外部病院に搬送したが、死亡した。
773	水戸少年刑務所	男	23歳	平成13年7月	急性心不全	てんかんの重積発作を起こしたため、外部病院に搬送したが、急性心不全のため、死亡した。
774	金沢刑務所	男	67歳	平成13年3月	肝不全	肝硬変のため病舎で治療中、重篤な状態となり、肝不全のため、死亡した。

整理 番号	施設名	性別	死亡時 の年齢	死亡の経緯		
				死亡年月	死 因	概 要
775	金沢刑務所	男	74歳	平成13年10月	急性心筋梗塞	高血圧症のため病舎で治療中、異状を発見し、救命救急措置を講じたが、急性心筋梗塞のため、死亡した。
776	岐阜刑務所	男	38歳	平成13年9月	急性大動脈解離	雑居房で異状を発見し、救急車で外部病院に搬送し、緊急手術を施行したが、急性大動脈解離のため、死亡した。
777	笠松刑務所	女	79歳	平成13年12月	大動脈瘤破裂	雑居房でおう吐とともに激しい腹痛を訴えたため、救命救急措置を講じ、救急車で外部病院に搬送したが、大動脈瘤破裂のため、死亡した。
778	名古屋刑務所	男	69歳	平成13年1月	肝不全	食道静脈瘤破裂のため病舎で治療中、吐血が断続的に続き、肝不全のため、死亡した。
779	名古屋刑務所	男	21歳	平成13年3月	縊死	独居房で縊死を図っているところを発見し、救命救急措置を講じ、外部病院に搬送したが、死亡した。
780	名古屋刑務所	男	38歳	平成13年3月	肝硬変	肝硬変のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
781	名古屋刑務所	男	83歳	平成13年5月	呼吸不全	貧血、低蛋白血症及び呼吸不全のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
782	名古屋刑務所	男	66歳	平成13年9月	肝がん	肝硬変のため病舎で治療中、症状が増悪し、肝がんのため、死亡した。
783	名古屋刑務所	男	43歳	平成13年9月	肝硬変	肝硬変のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
784	名古屋刑務所	男	81歳	平成13年9月	呼吸不全	肺門部及び腹部に腫瘍性病変を認め、肺腫瘍に伴う呼吸不全により病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
785	名古屋刑務所	男	68歳	平成13年10月	食道がん	食道がんのため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
786	名古屋刑務所	男	75歳	平成13年10月	脳血管障害	頭痛出現後、意識レベルが低下したため病舎で治療中、脳血管障害のため、死亡した。
787	名古屋刑務所	男	61歳	平成13年11月	胃がん	胃がんのため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
788	名古屋刑務所	男	72歳	平成13年11月	肺がん	肺がんのため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
789	名古屋刑務所	男	67歳	平成13年11月	直腸がん	直腸がんのため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
790	名古屋刑務所	男	60歳	平成13年12月	胆嚢がん	胆嚢がんのため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
791	名古屋刑務所	男	68歳	平成13年12月	腹部腫瘍	腹部腫瘍、骨転移のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
792	名古屋刑務所	男	43歳	平成13年12月	直腸裂開に基づく細菌性ショック	保護房内で刑務所職員から肛門部を目掛け、消防ホースを用いて多量に放水する暴行を加えられ、肛門挫裂創・直腸裂開の傷害を受け、直腸裂開に基づく細菌性ショックのため、死亡した。
793	京都刑務所	男	48歳	平成13年1月	細菌性ショック	貧血症のため、救急車で外部病院に搬送したところ、病状が急変し、細菌性ショックのため、死亡した。

整理番号	施設名	性別	死亡時の年齢	死亡の経緯		
				死亡年月	死因	概要
794	京都刑務所	男	56歳	平成13年2月	呼吸不全	脳出血後遺症のため病舎で治療中、症状が増悪したため救命救急措置を講じたが、呼吸不全のため、死亡した。
795	京都刑務所	男	66歳	平成13年5月	呼吸不全	肺結核症のため医療刑務所へ移送中に容態が急変し、直ちに帰所し救命救急措置を講じたが、呼吸不全のため、死亡した。
796	大阪刑務所	男	70歳	平成13年3月	心不全	独居房で本人が倒れているのを発見し、救命救急措置を講じたが、心不全のため、死亡した。
797	大阪刑務所	男	61歳	平成13年4月	急性心臓死	居房で意識消失していたため、救命救急措置を講じたが、急性心臓死のため、死亡した。
798	大阪刑務所	男	68歳	平成13年9月	菌血症	菌血症のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
799	大阪医療刑務所	男	57歳	平成13年1月	腎不全	腎不全、肝不全上部消化管出血、肝硬変のため病舎で治療中、症状が増悪し、腎不全のため、死亡した。
800	大阪医療刑務所	男	38歳	平成13年1月	播種性血管内凝固症候群の疑い	非定型精神病のため病舎で治療中、播種性血管内凝固症候群の疑いのため、死亡した。
801	大阪医療刑務所	男	42歳	平成13年1月	急性肝不全	てんかん重積発作のため病舎で治療中、急性肝不全のため、死亡した。
802	大阪医療刑務所	男	66歳	平成13年2月	脳梗塞	肺結核のため病舎で治療中、脳に梗塞巣を認め症状が増悪し、脳梗塞のため、死亡した。
803	大阪医療刑務所	男	46歳	平成13年2月	肝細胞がん	肝細胞がん、肝硬変のため治療中、症状が増悪し、死亡した。
804	大阪医療刑務所	男	55歳	平成13年2月	転移性肝がん	大腸がん術後、転移性肝がん、転移性肺がん、転移性骨腫瘍のため病舎で治療中、症状が増悪し、転移性肺がんのため、死亡した。
805	大阪医療刑務所	男	66歳	平成13年3月	胃がん	胃がん、前立腺肥大のため病舎で治療中、症状が増悪し、胃がんのため、死亡した。
806	大阪医療刑務所	男	61歳	平成13年3月	胃がん	肝腫瘍による腹水貯溜のため病舎で治療中、胃がんのため、死亡した。
807	大阪医療刑務所	男	41歳	平成13年3月	窒息	精神分裂病（統合失調症）の疑いで治療中、夕食をのどに詰まらせ気道閉塞を生じたため、救命救急措置を講じたが、窒息のため、死亡した。
808	大阪医療刑務所	男	49歳	平成13年4月	急性呼吸不全	肺がんによる右胸水、無気肺、呼吸困難のため病舎で治療中、肺がんによる急性呼吸不全のため、死亡した。
809	大阪医療刑務所	男	63歳	平成13年5月	多臓器不全	脳内出血後遺症、高血圧のため病舎で治療中、多臓器不全のため、死亡した。
810	大阪医療刑務所	男	67歳	平成13年5月	肝臓がん	肝内腫瘍のため病舎で治療中、症状が増悪し、肝臓がんのため、死亡した。
811	大阪医療刑務所	男	56歳	平成13年5月	肝がん	肝がん、肝硬変、食道静脈瘤のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
812	大阪医療刑務所	男	54歳	平成13年5月	胃がん	胃がんのため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。

整理 番号	施設名	性別	死亡時 の年齢	死亡の経緯		
				死亡年月	死 因	概 要
813	大阪医療刑務所	男	51歳	平成13年5月	盲腸がん	盲腸がんのため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
814	大阪医療刑務所	男	52歳	平成13年6月	胆嚢がん	閉塞性黄疸のため病舎で治療中、症状が増悪し、進行性胆嚢がんのため、死亡した。
815	大阪医療刑務所	男	48歳	平成13年6月	肺がん	肺腫瘍のため病舎で治療中、症状が増悪し、肺がんのため、死亡した。
816	大阪医療刑務所	男	57歳	平成13年6月	肝臓がん破裂	肝臓がん破裂による腹腔内出血のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
817	大阪医療刑務所	男	66歳	平成13年7月	肝腫瘍	肝腫瘍のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
818	大阪医療刑務所	男	68歳	平成13年8月	肺がん	肺がんのため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
819	大阪医療刑務所	男	35歳	平成13年8月	肝細胞がん	肝内腫瘍のため病舎で治療中、症状が増悪し、肝細胞がんのため、死亡した。
820	大阪医療刑務所	男	37歳	平成13年9月	腹部腫瘍	特発性門脈圧亢進症、腹部腫瘍、食道静脈瘤のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
821	大阪医療刑務所	男	61歳	平成13年9月	舌がん	舌がんのため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
822	大阪医療刑務所	男	43歳	平成13年10月	慢性腎不全	糖尿病、増殖性糖尿病網膜症、糖尿病性腎症、高血圧、硝子体出血、左脳内出血のため病舎で治療中、症状が増悪し、慢性腎不全のため、死亡した。
823	大阪医療刑務所	男	40歳	平成13年10月	肺がん	肺がんの疑いのため病舎で治療中、症状が増悪し、肺がんのため、死亡した。
824	大阪医療刑務所	男	56歳	平成13年10月	消化管出血	緊張病のため病舎で治療中、症状が増悪し、脱水、多量のおう吐が認められ、消化管出血のため、死亡した。
825	大阪医療刑務所	男	72歳	平成13年11月	大腸がん肝転移	大腸がん、肝転移のため病舎で治療中、症状が増悪し、大腸がん肝転移のため、死亡した。
826	加古川刑務所	男	63歳	平成13年2月	急性心不全	拡張型心筋症、肺結核のため経過観察していたところ、居房で心臓停止の状態に倒れていたため、救命救急措置を講じ、救急車で外部病院に搬送したが、急性心不全のため、死亡した。
827	加古川刑務所	男	68歳	平成13年11月	胃がん	外部病院で胃がんの診断を受け、病舎で治療中、心肺停止し、救命救急措置を講じたが、胃がんのため、死亡した。
828	京都拘置所	男	60歳	平成13年2月	急性心筋炎	雑居房で異状を発見し、救命救急措置を講じ、救急車で外部病院に搬送したが、急性心筋炎のため、死亡した。
829	岡山刑務所	男	64歳	平成13年12月	直腸がん	直腸がん、腹水のため病舎で治療中、病状の急変を発見し、救急車で外部病院に搬送したが、死亡した。
830	広島刑務所	男	54歳	平成13年1月	急性心不全	腸閉塞のため病舎で治療中、呼吸微弱、頸動脈の拍動触知不能の状態に陥ったため、救命救急措置を講じたが、急性心不全のため、死亡した。
831	広島刑務所	男	85歳	平成13年1月	心不全	心不全のため病舎で治療中、呼吸が微弱となったため、救命救急措置を講じたが、死亡した。

整理番号	施設名	性別	死亡時の年齢	死亡の経緯		
				死亡年月	死因	概要
832	広島刑務所	男	74歳	平成13年4月	急性心不全	脳動脈硬化症（痴呆）、外傷性てんかんのため病舎で治療中、呼吸が確認できなくなったため、救命救急措置を講じたが、急性心不全のため、死亡した。
833	広島刑務所	男	63歳	平成13年5月	がん性悪液質	食道がん手術後、腹腔動脈周囲リンパ節転移、腸閉塞症のため病舎で治療中、呼吸微弱となったため、救命救急措置を講じたが、がん性悪液質のため、死亡した。
834	広島刑務所	男	28歳	平成13年8月	肺水腫	雑居房で異状を発見し、救命救急措置を講じたが、肺水腫のため、死亡した。
835	広島刑務所	男	49歳	平成13年11月	急性心機能障害	独居房で容態が急変したため、救命救急措置を講じたが、急性心機能障害のため、死亡した。
836	広島刑務所	男	57歳	平成13年11月	肝不全	肝硬変等のため病舎で治療中、呼吸の確認ができなくなったため、救命救急措置を講じたが、肝不全のため、死亡した。
837	広島刑務所	男	44歳	平成13年2月	気道閉塞による窒息	病的心因反応と診断され、外部病院に搬送したが、気道閉塞による窒息のため、死亡した。
838	徳島刑務所	男	82歳	平成13年2月	急性心不全	心筋梗塞のため病舎で治療中、症状が増悪し、救命救急措置を講じ、救急車で外部病院に搬送したが、急性心不全のため、死亡した。
839	徳島刑務所	男	68歳	平成13年3月	播種性血管内凝固症候群	肝硬変のため病舎で治療中、症状が増悪し、救命救急措置を講じ、外部病院に搬送したが、播種性血管内凝固症候群のため、死亡した。
840	徳島刑務所	男	66歳	平成13年5月	肺がん	肺がん末期のため病舎で治療中、症状が増悪し、救命救急措置を講じ、救急車で外部病院に搬送したが、死亡した。
841	松山刑務所	男	42歳	平成13年1月	心筋梗塞（疑い）	独居房で倒れているのを発見し、救命救急措置を講じ、外部病院に搬送したが、心筋梗塞（疑い）のため、死亡した。
842	北九州医療刑務所	男	75歳	平成13年4月	がん性腹膜炎	がん性腹膜炎のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
843	福岡刑務所	男	63歳	平成13年3月	じん塵肺	塵肺のため病舎で治療中、容態が急変し、救命救急措置を講じたが、死亡した。
844	福岡刑務所	男	58歳	平成13年3月	呼吸不全	急性上気道炎等のため病舎で治療中、異状を発見し、救命救急措置を講じ、外部病院に搬送したが、呼吸不全のため、死亡した。
845	福岡刑務所	男	52歳	平成13年6月	肝硬変症	肝硬変のため病舎で治療中、血圧低下及び意識レベルの低下等が認められたため、集中管理による治療を行っていたが、症状が増悪し、死亡した。
846	熊本刑務所	男	59歳	平成13年11月	急性循環不全	運動場でジョギング中、突然倒れたため、救命救急措置を講じ、外部病院に搬送したが、急性循環不全のため、死亡した。
847	大分刑務所	男	29歳	平成13年9月	低酸素脳症	独居房で縊死を図っているところを発見し、救命救急措置を講じ、救急車で外部病院に搬送したが、低酸素脳症のため、死亡した。
848	福岡拘置所	男	68歳	平成13年12月	急性心不全	高血圧の既往があり、夜間におう吐、腹痛があったため治療中、呼吸及び脈が停止し、救命救急措置を講じたが、急性心不全のため、死亡した。

## 7 平成14年

整理 番号	施設名	性別	死亡時 の年齢	死亡の経緯		
				死亡年月	死 因	概 要
849	札幌刑務所	男	52歳	平成14年6月	肝細胞がん	肝硬変等のため病舎で治療中、症状が増悪し、肝細胞がんのため、死亡した。
850	札幌刑務所	女	46歳	平成14年11月	くも膜下出血 (疑い)	雑居房便所内で意識を失っているのを発見し、救命救急措置を講じ、救急車で外部病院に搬送したが、くも膜下出血(疑い)のため、死亡した。
851	旭川刑務所	男	68歳	平成14年7月	脳梗塞	工場で作業中、突然倒れ、意識レベルの低下と右半身まひが顕著であることから、救急車で外部病院に搬送したが、脳梗塞のため、死亡した。
852	青森刑務所	男	62歳	平成14年12月	くも膜下出血	独居房で倒れていたため、外部病院に搬送し、くも膜下出血のため緊急手術を実施したが、術後、脳梗塞、髄膜炎を併発し、死亡した。
853	宮城刑務所	男	77歳	平成14年1月	脳梗塞	脳梗塞のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
854	宮城刑務所	男	69歳	平成14年2月	脳梗塞後遺症	ギランバレー症候群のため病舎で治療中、脳梗塞を発症し、死亡した。
855	宮城刑務所	男	66歳	平成14年4月	肝不全	肝細胞がん、肝硬変、食道静脈瘤等のため病舎で治療中、末期の肝不全及び腎不全状態となり、死亡した。
856	宮城刑務所	男	62歳	平成14年6月	肺腫瘍	肺結核及び肺がんのため病舎で治療中、症状が増悪し、肺腫瘍のため、死亡した。
857	宮城刑務所	男	76歳	平成14年7月	誤嚥性肺炎	老人性痴呆、振動病、糖尿病、高血圧症のため病舎で治療中、発熱、意識障害が生じ、誤嚥性肺炎のため、死亡した。
858	宮城刑務所	男	66歳	平成14年7月	がん性腹膜炎	がん性腹膜炎、肝硬変のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
859	宮城刑務所	男	61歳	平成14年8月	左半球脳出血	うっ血性心不全、脳梗塞等のため病舎で治療中、突然意識を失って倒れ、外部病院に搬送したが、左半球脳出血のため、死亡した。
860	宮城刑務所	男	73歳	平成14年9月	腸閉塞	腸閉塞のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
861	宮城刑務所	男	58歳	平成14年12月	食物の気道閉塞による窒息	頻尿、尿道炎のため病舎で治療中、意識及び自発呼吸がなくなったため、救命救急措置を講じたが、食物が気道を閉塞したことによる窒息のため、死亡した。
862	宮城刑務所	男	64歳	平成14年12月	肝不全(肝硬変による)	肝硬変、腹水、食道静脈瘤のため病舎で治療中、症状が増悪し、肝不全のため、死亡した。
863	秋田刑務所	男	53歳	平成14年3月	脳幹出血	独居房でうつ伏せ状態でいびきをかいて倒れているところを発見し、救急車で外部病院に搬送したが、脳幹出血のため、死亡した。
864	黒羽刑務所	男	57歳	平成14年2月	虚血性心疾患	肝硬変及び腹水症のため病舎で治療中、異状を発見し、救急車で外部病院に搬送したが、虚血性心疾患のため、死亡した。
865	黒羽刑務所	男	51歳	平成14年7月	肺炎の疑い	血糖値のコントロール不良のため治療中、肺炎の疑いのため、死亡した。
866	黒羽刑務所	男	46歳	平成14年10月	肺炎	高血圧症、鼻汁、発熱等のため病舎で治療中、症状が増悪し、外部病院に搬送したが、肺炎のため、死亡した。

整理番号	施設名	性別	死亡時の年齢	死亡の経緯		
				死亡年月	死因	概要
867	千葉刑務所	男	43歳	平成14年1月	縊死	独居房で縊死を図っているところを発見し、救命救急措置を講じ、救急車で外部病院に搬送したが、死亡した。
868	千葉刑務所	男	29歳	平成14年1月	縊死	独居房で縊死を図っているところを発見し、救命救急措置を講じ、救急車で外部病院に搬送したが、死亡した。
869	千葉刑務所	男	51歳	平成14年3月	脳血管障害の疑い	めまいのため病舎で治療中、症状が悪化したため、救命救急措置を講じ、救急車で外部病院に搬送したが、脳血管障害の疑いのため、死亡した。
870	千葉刑務所	男	60歳	平成14年3月	不整脈疑い	運動中、異状を発見し、救命救急措置を講じたが、不整脈疑いのため、死亡した。
871	千葉刑務所	男	57歳	平成14年5月	縊死	独居房で縊死を図っているところを発見し、救命救急措置を講じ、救急車で外部病院に搬送したが、死亡した。
872	千葉刑務所	男	80歳	平成14年5月	急性呼吸不全	肺炎のため病舎で治療中、症状が増悪したため、救命救急措置を講じ、救急車で外部病院に搬送したが、急性呼吸不全のため、死亡した。
873	千葉刑務所	男	85歳	平成14年12月	呼吸不全	食欲低下のため病舎で治療中、症状が増悪したため、救命救急措置を講じ、救急車で外部病院に搬送したが、呼吸不全のため、死亡した。
874	千葉刑務所	男	55歳	平成14年9月	不詳	独居房で異状を発見し、救命救急措置を講じ、救急車で外部病院に搬送したが、死亡した。
875	市原刑務所	男	76歳	平成14年5月	うっ血性心不全	息切れ及び下肢の浮腫があり、心不全の疑いのため、外部病院に搬送し、入院治療を行ったが、うっ血性心不全のため、死亡した。
876	八王子医療刑務所	男	61歳	平成14年1月	肺炎	脳梗塞のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
877	八王子医療刑務所	男	53歳	平成14年1月	敗血症	糖尿病性肝不全のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
878	八王子医療刑務所	女	55歳	平成14年1月	子宮頸がん	子宮頸がんのため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
879	八王子医療刑務所	男	60歳	平成14年1月	慢性呼吸不全	陳旧性肺炎、 <sup>の5</sup> 膿胸のため病舎で治療中、症状が増悪し、慢性呼吸不全のため、死亡した。
880	八王子医療刑務所	男	34歳	平成14年2月	呼吸不全	気管支喘息のため病舎で治療中、症状が増悪し、呼吸不全のため、死亡した。
881	八王子医療刑務所	男	67歳	平成14年2月	肝細胞がん	肝細胞がんのため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
882	八王子医療刑務所	男	46歳	平成14年2月	肺がん	肺がんのため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
883	八王子医療刑務所	男	65歳	平成14年2月	肝細胞がん	肝硬変、慢性C型肝炎のため病舎で治療中、肝細胞がんのため、死亡した。
884	八王子医療刑務所	男	52歳	平成14年2月	心室内伝導障害	不安定型狭心症のため病舎で治療中、心室内伝導障害のため、死亡した。
885	八王子医療刑務所	男	41歳	平成14年2月	後天性免疫不全症候群	後天性免疫不全症候群のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。

整理 番号	施設名	性別	死亡時 の年齢	死亡の経緯		
				死亡年月	死 因	概 要
886	八王子医療刑務所	男	52歳	平成14年3月	肺結核	糖尿病、アルコール依存症のため病舎で治療中、肺結核を併発し、死亡した。
887	八王子医療刑務所	男	62歳	平成14年3月	胃がん	胃がんのため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
888	八王子医療刑務所	男	63歳	平成14年3月	急性心不全	肝細胞がんのため病舎で治療中、急性心不全のため、死亡した。
889	八王子医療刑務所	男	57歳	平成14年3月	肝がん	肝がん、食道静脈瘤のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
890	八王子医療刑務所	男	71歳	平成14年3月	肝がん	肝がんのため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
891	八王子医療刑務所	男	65歳	平成14年3月	がん性胸膜炎	肺がんのため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
892	八王子医療刑務所	男	52歳	平成14年4月	胃がん	胃がんのため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
893	八王子医療刑務所	女	39歳	平成14年4月	誤嚥性気道閉塞	心因性多飲のため病舎で治療中、誤嚥性気道閉塞のため、死亡した。
894	八王子医療刑務所	男	68歳	平成14年4月	多臓器不全	播種性血管内凝固症候群のため病舎で治療中、多臓器不全のため、死亡した。
895	八王子医療刑務所	男	29歳	平成14年5月	カリニ肺炎	後天性免疫不全症候群のため病舎で治療中、症状が増悪し、カリニ肺炎のため、死亡した。
896	八王子医療刑務所	男	48歳	平成14年5月	うっ血性心不全	脳出血、糖尿病、糖尿病性腎症、腎不全のため病舎で治療中、うっ血性心不全のため、死亡した。
897	八王子医療刑務所	男	44歳	平成14年5月	肺結核	右気胸、十二指腸潰瘍、C型肝炎、精神分裂病（統合失調症）のため病舎で治療中、肺結核を併発し、死亡した。
898	八王子医療刑務所	男	71歳	平成14年5月	胆嚢がん	胆嚢がんのため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
899	八王子医療刑務所	男	54歳	平成14年5月	うっ血性心不全	C型肝炎による肝硬変のため病舎で治療中、うっ血性心不全のため、死亡した。
900	八王子医療刑務所	男	52歳	平成14年5月	大腸がん	大腸がんのため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
901	八王子医療刑務所	男	65歳	平成14年5月	肺がん	肺がんのため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
902	八王子医療刑務所	男	62歳	平成14年5月	胃がん	胃がんのため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
903	八王子医療刑務所	男	65歳	平成14年5月	直腸がん局所再発	直腸がんのため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
904	八王子医療刑務所	女	56歳	平成14年6月	呼吸不全	慢性腎不全、胃・十二指腸潰瘍出血のため病舎で治療中、症状が増悪し、呼吸不全のため、死亡した。

整理番号	施設名	性別	死亡時の年齢	死亡の経緯		
				死亡年月	死因	概要
905	八王子医療刑務所	男	56歳	平成14年6月	悪液質	左腎がん、多発性転移性肝腫瘍、骨転移、消化管出血のため病舎で治療中、症状が増悪し、悪液質のため、死亡した。
906	八王子医療刑務所	男	70歳	平成14年6月	肝がん	肝がんのため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
907	八王子医療刑務所	男	65歳	平成14年6月	消化管出血	アレルギー性紫斑病のため病舎で治療中、消化管出血のため、死亡した。
908	八王子医療刑務所	男	60歳	平成14年7月	腭頭部がん	腭頭部がんのため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
909	八王子医療刑務所	男	53歳	平成14年7月	下血	肝細胞がんのため病舎で治療中、症状が増悪し、下血のため、死亡した。
910	八王子医療刑務所	女	37歳	平成14年7月	子宮頸がん	子宮頸がんのため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
911	八王子医療刑務所	男	70歳	平成14年7月	誤嚥性肺炎	脳出血のため病舎で治療中、誤嚥性肺炎のため、死亡した。
912	八王子医療刑務所	男	56歳	平成14年7月	肝がん	肝がんのため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
913	八王子医療刑務所	男	59歳	平成14年7月	敗血症	汎血球減少症のため病舎で治療中、敗血症のため、死亡した。
914	八王子医療刑務所	男	65歳	平成14年7月	食道がん	食道がんのため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
915	八王子医療刑務所	男	68歳	平成14年8月	肝不全	糖尿病性腎症のため病舎で治療中、肝不全のため、死亡した。
916	八王子医療刑務所	男	56歳	平成14年8月	食道がん	食道がん、閉塞性黄疸のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
917	八王子医療刑務所	男	80歳	平成14年8月	脳血管障害	脳血管障害のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
918	八王子医療刑務所	女	68歳	平成14年9月	急性腎不全	肺がん、急性尿細管壊死のため病舎で治療中、急性腎不全のため、死亡した。
919	八王子医療刑務所	男	75歳	平成14年9月	胃がん	胃がんのため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
920	八王子医療刑務所	男	68歳	平成14年9月	肺がん	肺がんのため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
921	八王子医療刑務所	男	52歳	平成14年9月	後天性免疫不全症候群	後天性免疫不全症候群のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
922	八王子医療刑務所	男	61歳	平成14年9月	胃がん	糖尿病のため病舎で治療中、胃がんを併発し、死亡した。
923	八王子医療刑務所	男	59歳	平成14年10月	咽頭がん	咽頭がんのため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。

整理 番号	施設名	性別	死亡時 の年齢	死亡の経緯		
				死亡年月	死 因	概 要
924	八王子医療刑務所	男	65歳	平成14年10月	肝硬変	肝硬変のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
925	八王子医療刑務所	男	40歳	平成14年10月	右上顎洞がん	右上顎洞がんのため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
926	八王子医療刑務所	男	61歳	平成14年10月	転移性肺がん	直腸がん術後のため病舎で治療中、転移性肺がんのため、死亡した。
927	八王子医療刑務所	男	55歳	平成14年10月	肝不全	肝細胞がん、慢性C型肝炎、肝硬変のため病舎で治療中、肝不全のため、死亡した。
928	八王子医療刑務所	男	62歳	平成14年10月	肺炎	糖尿病のため病舎で治療中、肺炎のため、死亡した。
929	八王子医療刑務所	男	42歳	平成14年10月	呼吸不全	SLE、間質性肺炎のため病舎で治療中、呼吸不全のため、死亡した。
930	八王子医療刑務所	男	57歳	平成14年10月	播種性血管内 凝固症候群	食道がん、胃がんのため病舎で治療中、播種性血管内凝固症候群のため、死亡した。
931	八王子医療刑務所	男	58歳	平成14年10月	膵臓がん	膵臓がんのため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
932	八王子医療刑務所	男	68歳	平成14年11月	肝がん	肝がんのため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
933	八王子医療刑務所	男	74歳	平成14年11月	肺炎	胃がん術後、腸閉塞のため病舎で治療中、肺炎のため、死亡した。
934	八王子医療刑務所	男	55歳	平成14年11月	肺炎	亜腸閉塞のため病舎で治療中、肺炎のため、死亡した。
935	八王子医療刑務所	男	59歳	平成14年11月	胃がん	胃がんのため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
936	八王子医療刑務所	男	73歳	平成14年11月	肝臓がん	C型肝炎、肝硬変のため病舎で治療中、肝臓がんを併発し、死亡した。
937	八王子医療刑務所	男	55歳	平成14年12月	肝不全	肝細胞がん、慢性C型肝炎、肝硬変のため病舎で治療中、肝不全のため、死亡した。
938	八王子医療刑務所	男	36歳	平成14年12月	肺がん	肺がんのため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
939	八王子医療刑務所	男	58歳	平成14年12月	胃がん	胃がんのため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
940	八王子医療刑務所	男	73歳	平成14年12月	胃がん	胃がんのため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
941	八王子医療刑務所	男	43歳	平成14年12月	急性心不全	神経梅毒のため病舎で治療中、症状が増悪し、急性心不全のため、死亡した。
942	八王子医療刑務所	男	93歳	平成14年12月	肺がん	肺がんのため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。

整理番号	施設名	性別	死亡時の年齢	死亡の経緯		
				死亡年月	死因	概要
943	八王子医療刑務所	男	60歳	平成14年12月	呼吸不全	膀胱がん、がん性リンパ管症のため病舎で治療中、呼吸不全のため、死亡した。
944	八王子医療刑務所	男	60歳	平成14年12月	上部消化管出血	結腸がん疑いのため病舎で治療中、上部消化管出血のため、死亡した。
945	府中刑務所	男	62歳	平成14年1月	虚血性心不全	入浴後倒れ、救命救急措置を講じたが、虚血性心不全のため、死亡した。
946	府中刑務所	男	57歳	平成14年1月	肝硬変による肝不全	黄疸の症状を認めたため、救急車で外部病院に搬送し、検査後帰所したが、症状が増悪し、肝硬変による肝不全のため、死亡した。
947	府中刑務所	男	54歳	平成14年1月	肝不全	肝硬変による腹水が認められていたが、症状が増悪し、肝不全のため、死亡した。
948	府中刑務所	男	58歳	平成14年2月	大腸がん	大腸がんが再発し、症状が増悪し、死亡した。
949	府中刑務所	男	52歳	平成14年3月	敗血症	右腎部褥瘡、ネフローゼ症候群のため治療中、症状が増悪し、敗血症のため、死亡した。
950	府中刑務所	男	49歳	平成14年3月	縊死	居房で縊死を図っているところを発見し、救命救急措置を講じたが、死亡した。
951	府中刑務所	男	72歳	平成14年3月	肝がん	肝がん、肝硬変、食道静脈瘤、高血圧症のため治療中、症状が増悪し、肝がんのため、死亡した。
952	府中刑務所	男	62歳	平成14年3月	急性心筋梗塞	肝硬変、糖尿病、高血圧症のため治療中、症状が増悪し、急性心筋梗塞のため、死亡した。
953	府中刑務所	男	35歳	平成14年3月	急性呼吸不全	睾丸炎のため治療中、心不全、肺水腫を発症し、急性呼吸不全のため、死亡した。
954	府中刑務所	男	52歳	平成14年4月	出血性ショック	肝不全のため治療中、下血が見られたため、外部病院に搬送したが、食道潰瘍に起因する出血性ショックのため、死亡した。
955	府中刑務所	男	47歳	平成14年4月	急性心不全	大声、騒音のため保護房に収容中、心肺停止状態となり、救命救急措置を講じたが、急性心不全のため、死亡した。
956	府中刑務所	男	65歳	平成14年4月	下咽頭腫瘍	下咽頭腫瘍による手術後、症状が増悪し、死亡した。
957	府中刑務所	男	64歳	平成14年5月	肺炎	肺炎のため治療中、症状が増悪し、死亡した。
958	府中刑務所	男	47歳	平成14年7月	肝不全	肝硬変のため治療中、病状が増悪し、死亡した。
959	府中刑務所	男	50歳	平成14年9月	吐物による窒息の疑い	居室内で下を向いてうなり、職員の呼び掛けにも応じなくなったため、救命救急措置を講じたが、吐物が口腔内に残留したことによると思われる窒息のため、死亡した。
960	府中刑務所	男	53歳	平成14年9月	脳内出血	脳梗塞による意識障害の疑いのため外部病院で開頭血腫除去手術を実施したが、脳内出血のため、死亡した。
961	府中刑務所	男	50歳	平成14年10月	肝不全	肝がんが増悪し、外部病院に搬送したが、肝不全のため、死亡した。

整理 番号	施設名	性別	死亡時 の年齢	死亡の経緯		
				死亡年月	死 因	概 要
962	府中刑務所	男	55歳	平成14年10月	壊死性筋膜炎	急性腎不全のため、外部病院に搬送したが、症状が増悪し、壊死性筋膜炎のため、死亡した。
963	府中刑務所	男	59歳	平成14年11月	肝細胞がん	肝硬変、肝細胞がんのため治療中、症状が増悪し、死亡した。
964	府中刑務所	男	39歳	平成14年11月	脳内出血	頭痛、左半身まひのため外部病院に搬送したが、症状が増悪し、脳内出血のため、死亡した。
965	府中刑務所	男	65歳	平成14年11月	肝不全	肝不全のため治療中、症状が増悪し、死亡した。
966	府中刑務所	男	61歳	平成14年12月	急性心不全（ 心室細動疑い）	工場内で床に横臥したまま呼びかけに反応しなくなり、急性心不全のため、死亡した。
967	府中刑務所	男	67歳	平成14年12月	胃がん	胃がんと診断され、医療刑務所で治療後帰所したが、症状が増悪し、死亡した。
968	横浜刑務所	男	76歳	平成14年1月	肺炎	胃がん術後低栄養、慢性心不全等のため病舎で治療中、肺炎のため、死亡した。
969	横浜刑務所	男	52歳	平成14年3月	急性心筋梗塞	工場検身場で検身をを終えた際、突然倒れたため、救命救急措置を講じ、救急車で外部病院に搬送したが、急性心筋梗塞のため、死亡した。
970	横浜刑務所	男	37歳	平成14年9月	うっ血性心不全	雑居房で異状を発見したため、救命救急措置を講じたが、うっ血性心不全のため、死亡した。
971	横浜刑務所	男	65歳	平成14年12月	脳内出血	雑居房で異状を発見したため、外部病院に搬送したが、脳内出血のため、死亡した。
972	横浜刑務所	男	52歳	平成14年12月	心筋梗塞	独居房で異状を発見したため、救命救急措置を講じたが、心筋梗塞のため、死亡した。
973	横浜刑務所	男	31歳	平成14年12月	くも膜下出血 、脳内出血	てんかん発作を発症後、動作が緩慢となる等の脳血管障害が強く疑われたため、外部病院に搬送し、緊急手術を施したが、くも膜下出血、脳内出血のため、死亡した。
974	新潟刑務所	男	57歳	平成14年3月	呼吸不全	胃潰瘍穿孔による汎発性腹膜炎のため、外部病院に搬送し、入院治療していたところ、呼吸不全のため、死亡した。
975	新潟刑務所	男	58歳	平成14年6月	低酸素性脳症	居房便所内で心肺停止状態で倒れているのを発見し、救急車で外部病院に搬送したが、低酸素性脳症のため、死亡した。
976	新潟刑務所	男	38歳	平成14年9月	窒息	居房で縊死を図っているところを発見したため、救命救急措置を講じ、救急車で外部病院に搬送したが、窒息のため、死亡した。
977	甲府刑務所	男	65歳	平成14年12月	急性循環不全	総胆管結石症のため、外部病院に入院中、急性循環不全のため、死亡した。
978	長野刑務所	男	56歳	平成14年1月	肝性脳症	肝硬変、再生不良性貧血と診断されていたところ、吐血し、意識混濁が生じたため、外部病院に搬送したが、肝性脳症のため、死亡した。
979	静岡刑務所	男	39歳	平成14年1月	解離性大動脈瘤	激しい胸痛を訴えたため、外部病院に搬送し、緊急手術を行ったが、解離性大動脈瘤のため、死亡した。
980	静岡刑務所	男	70歳	平成14年2月	胸部大動脈瘤 穿破	肺気腫のため治療中、喀血したため、救急車で外部病院に搬送したが、症状が増悪し、胸部大動脈瘤穿破のため、死亡した。

整理 番号	施設名	性別	死亡時 の年齢	死亡の経緯		
				死亡年月	死 因	概 要
981	静岡刑務所	男	56歳	平成14年6月	肺がん	肺腫瘍のため治療中、容態が急変したため、救急車で外部病院に搬送し、入院加療していたが、症状が増悪し、死亡した。
982	静岡刑務所	男	69歳	平成14年6月	急性心筋梗塞	うっ血性心不全により治療中、居室内ベッドに上半身をうつ伏せにして倒れているのを発見し、意識不明の状態であったため、外部病院に搬送したが、急性心筋梗塞のため、死亡した。
983	静岡刑務所	男	83歳	平成14年7月	老衰	老衰のため休養中、心肺停止状態に陥り、死亡した。
984	静岡刑務所	男	57歳	平成14年10月	肝細胞がん	肝臓がん、肝硬変のため治療中、症状が増悪し、外部病院に搬送したが、肝細胞がんのため、死亡した。
985	静岡刑務所	男	58歳	平成14年12月	肺炎	糖尿病等のため治療中、鼻から血を流し、意識障害、呼吸不全に陥ったため、外部病院に搬送したが、肺炎のため、死亡した。
986	静岡刑務所	男	82歳	平成14年12月	急性肺炎	肺炎のため治療中、症状が増悪し、外部病院に搬送したが、容態が急変し、死亡した。
987	水戸少年刑務所	男	25歳	平成14年1月	自傷行為	独居房で縊死を図っているところを発見し、救命救急措置を講じ、救急車で外部病院に搬送したが、死亡した。
988	川越少年刑務所	男	39歳	平成14年8月	縊死	独居房で縊死を図っているところを発見し、救命救急措置を講じ、救急車で外部病院に搬送したが、死亡した。
989	川越少年刑務所	男	25歳	平成14年9月	縊死	居房で縊死を図っているところを発見し、救命救急措置を講じ、救急車で外部病院に搬送したが、死亡した。
990	東京拘置所	男	63歳	平成14年1月	大腸がん	大腸がんのため集中治療室で治療中、症状が増悪し、死亡した。
991	東京拘置所	男	64歳	平成14年2月	肺炎	糖尿病、狭心症等のため集中治療室で治療中、肺炎のため、死亡した。
992	富山刑務所	男	51歳	平成14年3月	汎発性血管内血液凝固症	右僧帽乳頭筋断裂の疑いのため病舎で治療中、胸壁血腫、血小板減少症のため、外部病院に搬送したが、汎発性血管内血液凝固症のため、死亡した。
993	金沢刑務所	男	58歳	平成14年3月	蘇生後脳症	雑居房において高血圧症の治療中、意識不明となり、外部病院に搬送したが、蘇生後脳症のため、死亡した。
994	金沢刑務所	男	73歳	平成14年12月	急性循環不全	独居房で異状を発見し、救命救急措置を講じ、外部病院に搬送したが、急性循環不全のため、死亡した。
995	岐阜刑務所	男	70歳	平成14年2月	脳梗塞	両下肢浮腫のため病舎で治療中、異状を発見し、救命救急措置を講じたものの、脳梗塞のため、死亡した。
996	笠松刑務所	女	52歳	平成14年1月	窒息	独居房で異状を発見し、救命救急措置を講じ、救急車で外部病院に搬送したが、窒息のため、死亡した。
997	名古屋刑務所	男	55歳	平成14年1月	胃がん	胃がんのため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
998	名古屋刑務所	男	58歳	平成14年1月	肺がん	肺がんのため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
999	名古屋刑務所	男	59歳	平成14年2月	肝細胞がん破裂	肝細胞がん破裂のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。

整理 番号	施設名	性別	死亡時 の年齢	死亡の経緯		
				死亡年月	死 因	概 要
1000	名古屋刑務所	男	57歳	平成14年2月	呼吸不全	肺線維症のため病舎で治療中、症状が増悪し、呼吸不全のため、死亡した。
1001	名古屋刑務所	男	72歳	平成14年3月	急性心不全	陳旧性肺結核、肺線維症のため病舎で治療中、急性心不全のため、死亡した。
1002	名古屋刑務所	男	51歳	平成14年3月	肝硬変	C型肝炎、肝硬変のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
1003	名古屋刑務所	男	71歳	平成14年3月	肝不全	肝がん、肝硬変のため病舎で治療中、肝不全のため、死亡した。
1004	名古屋刑務所	男	70歳	平成14年3月	肝硬変	肝硬変、腹水のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
1005	名古屋刑務所	男	53歳	平成14年4月	非定型絞死	独居房で、絞死しているところを発見し、救命救急措置を講じ、救急車で外部病院に搬送したが、死亡した。
1006	名古屋刑務所	男	58歳	平成14年5月	低酸素脳症	雑居房で、食物（餅）により窒息状態となり、救命救急措置を講じ、呼吸、心拍とも再開したが、意識が戻らず、低酸素脳症のため、死亡した。
1007	名古屋刑務所	男	49歳	平成14年5月	外傷性腸間膜損傷、肺梗塞	保護房で刑務所職員から、腹部に巻きつけられた革手錠のベルトを強く締め付け腹部を強度に圧迫するなどの暴行を受け、外傷性腸間膜損傷、肺梗塞のため、死亡した。
1008	名古屋刑務所	男	42歳	平成14年8月	肝細胞がん	肝細胞がんのため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
1009	名古屋刑務所	男	82歳	平成14年8月	肝腫瘍	肝腫瘍のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
1010	名古屋刑務所	男	77歳	平成14年8月	胃がん・腹膜播腫	胃がん、腹膜播腫のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
1011	名古屋刑務所	男	52歳	平成14年9月	呼吸不全	肺炎のため病舎で治療中、症状が増悪し、呼吸不全のため、死亡した。
1012	名古屋刑務所	男	64歳	平成14年10月	脳出血	独居房で意識不明に陥っているところを発見し、外部病院に搬送したが、脳出血のため、死亡した。
1013	名古屋刑務所	男	58歳	平成14年11月	急性硬膜下血腫	独居房で倒れているところを発見し、外部病院に搬送したが、急性硬膜下血腫のため、死亡した。
1014	名古屋刑務所	男	60歳	平成14年12月	脳梗塞	脳梗塞のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
1015	名古屋刑務所	男	78歳	平成14年12月	胃がん	胃がんのため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
1016	名古屋刑務所	男	71歳	平成14年12月	肝不全	肝不全、転移性肝腫瘍のため病舎で治療中、症状が増悪し、死亡した。
1017	名古屋拘置所	男	80歳	平成14年1月	老衰	夕食時、意識障害等の異状を発見し、救命救急措置を講じたが、死亡した。
1018	滋賀刑務所	男	59歳	平成14年11月	急性心筋梗塞（推定）	運動場でレクリエーション中、突然仰向けに倒れ、自発呼吸及び脈拍は認められたが、呼び掛けに対して反応しなかったため、救急車で外部病院に搬送したが、急性心筋梗塞のため、死亡した。

整理番号	施設名	性別	死亡時の年齢	死亡の経緯		
				死亡年月	死 因	概 要
1019	大阪刑務所	男	62歳	平成14年4月	出血性ショック	腹部腫瘤のため治療中、症状が増悪し、出血性ショックのため、死亡した。
1020	大阪刑務所	男	46歳	平成14年4月	肺炎	肺炎のため治療中、症状が増悪し、死亡した。
1021	大阪刑務所	男	42歳	平成14年4月	がん性悪液質	胃がんのため胃全摘等の手術を行ったが、数か月後、ショック状態になり、がん性悪液質のため、死亡した。
1022	大阪刑務所	男	73歳	平成14年4月	脳出血	居房で倒れ、脳出血の疑いのため治療中、症状が増悪し、死亡した。
1023	大阪刑務所	男	65歳	平成14年5月	肺炎	肺炎のため治療中、症状が増悪し、死亡した。
1024	大阪刑務所	男	55歳	平成14年5月	多発性脊椎転移(胃がん)	胃がんのため治療中、症状が増悪し、多発性脊椎転移のため、死亡した。
1025	大阪刑務所	男	55歳	平成14年5月	がん性悪液質	胃がんのため治療中、症状が増悪し、がん性悪液質のため、死亡した。
1026	大阪刑務所	男	64歳	平成14年5月	脳出血再出血	入所時から脳出血後遺症のため、食事、排泄の自己管理ができず、治療中、脳出血再出血のため、死亡した。
1027	大阪刑務所	男	53歳	平成14年7月	脳卒中	制御困難な糖尿病でインシュリンを使用し、治療していたところ、脳卒中のため、死亡した。
1028	大阪刑務所	男	64歳	平成14年8月	敗血症	脳梗塞後遺症のため治療中、敗血症のため、死亡した。
1029	大阪刑務所	男	63歳	平成14年9月	がん性悪液質	肝がん末期により治療中、症状が増悪し、がん性悪液質のため、死亡した。
1030	大阪刑務所	男	65歳	平成14年10月	出血性ショック	解離性大動脈瘤と診断され、出血性ショックで治療中、症状が増悪し、死亡した。
1031	大阪刑務所	男	67歳	平成14年12月	右血胸(がん性胸膜炎)	左胸水のため病舎で治療中、症状が増悪し、右血胸(がん性胸膜炎)のため、死亡した。
1032	大阪刑務所	男	60歳	平成14年12月	急性心不全	発熱のため治療中、突然心肺停止に陥り、急性心不全のため、死亡した。
1033	大阪医療刑務所	男	65歳	平成14年1月	肝細胞がん	肝腫瘍のため治療中、症状が増悪し、肝細胞がんのため、死亡した。
1034	大阪医療刑務所	男	29歳	平成14年1月	肺炎及び糖尿病性昏睡	肝炎と意識消失のため治療中、糖尿病性昏睡及び肺炎を発症し、死亡した。
1035	大阪医療刑務所	男	49歳	平成14年1月	脳出血	慢性腎不全のため治療中、脳出血のため、死亡した。
1036	大阪医療刑務所	男	52歳	平成14年2月	膵頭部がん	閉塞性黄疸のため治療中、胆管炎を併発し、膵頭部がんのため、死亡した。
1037	大阪医療刑務所	男	66歳	平成14年2月	肺がん	肺結核のため治療中、肺がんを併発し、死亡した。

整理番号	施設名	性別	死亡時の年齢	死亡の経緯		
				死亡年月	死因	概要
1038	大阪医療刑務所	男	69歳	平成14年2月	肝臓がん	肝臓がんのため治療中、症状が増悪し、死亡した。
1039	大阪医療刑務所	男	51歳	平成14年2月	脳幹部出血	脳幹部出血のため治療中、症状が増悪し、死亡した。
1040	大阪医療刑務所	男	58歳	平成14年2月	肝細胞がん	肝内腫瘍の精査加療中、肝細胞がんのため、死亡した。
1041	大阪医療刑務所	男	56歳	平成14年2月	肝細胞がん	肝硬変、肝細胞がん、胃・食道静脈瘤のため治療中、症状が増悪し、死亡した。
1042	大阪医療刑務所	男	66歳	平成14年3月	直腸がん	直腸がんのため治療中、症状が増悪し、死亡した。
1043	大阪医療刑務所	男	60歳	平成14年3月	肺がん	肺がんのため治療中、症状が増悪し、死亡した。
1044	大阪医療刑務所	男	68歳	平成14年3月	肝細胞がん	肝細胞がんの再発と転移性肺がんの疑いのため治療中、症状が増悪し、死亡した。
1045	大阪医療刑務所	男	50歳	平成14年3月	肺線維症	呼吸不全、肺線維症、嚢胞性肺疾患のため治療中、症状が増悪し、死亡した。
1046	大阪医療刑務所	男	68歳	平成14年3月	糖尿病性昏睡	肺炎、脱水、高血糖昏睡のため治療中、糖尿病性昏睡、急性腎不全を発症し、死亡した。
1047	大阪医療刑務所	男	53歳	平成14年3月	成人T細胞白血病	成人T細胞白血病のため治療中、症状が増悪し、死亡した。
1048	大阪医療刑務所	男	69歳	平成14年4月	腎不全	腎不全、高度脱水症状のため治療中、症状が増悪し、死亡した。
1049	大阪医療刑務所	男	55歳	平成14年4月	肝不全	食道静脈瘤、肝硬変のため治療中、症状が増悪し、肝不全のため、死亡した。
1050	大阪医療刑務所	男	66歳	平成14年4月	肝不全	食道静脈瘤、肝硬変のため治療中、症状が増悪し、肝不全のため、死亡した。
1051	大阪医療刑務所	男	67歳	平成14年4月	膀胱腫瘍	尿路上皮がんの疑い、慢性前立腺炎のため治療中、膀胱腫瘍のため、死亡した。
1052	大阪医療刑務所	男	64歳	平成14年5月	肝臓がん	肝腫瘍、急性胆嚢炎のため治療中、症状が増悪し、肝臓がんのため、死亡した。
1053	大阪医療刑務所	男	69歳	平成14年5月	肺結核	肺結核のため治療中、症状が増悪し、死亡した。
1054	大阪医療刑務所	男	52歳	平成14年5月	悪性リンパ腫	悪性リンパ腫のため治療中、症状が増悪し、死亡した。
1055	大阪医療刑務所	男	63歳	平成14年5月	膵頭部がん	閉塞性黄疸のため治療中、膵頭部がんのため、死亡した。
1056	大阪医療刑務所	男	59歳	平成14年6月	胃がん	胃がんのため治療中、症状が増悪し、死亡した。

整理 番号	施設名	性別	死亡時 の年齢	死亡の経緯		
				死亡年月	死 因	概 要
1057	大阪医療刑務所	男	53歳	平成14年7月	腎不全	糖尿病, 糖尿病性網膜症, 両眼硝子体出血, 高血圧症のため治療中, 症状が増悪し, 腎不全のため, 死亡した。
1058	大阪医療刑務所	男	40歳	平成14年7月	胃がん	胃がんのため治療中, 症状が増悪し, 死亡した。
1059	大阪医療刑務所	男	55歳	平成14年7月	胃がん	胃がん術後再発のため治療中, 症状が増悪し, 死亡した。
1060	大阪医療刑務所	男	51歳	平成14年7月	急性心不全	腸閉塞, がん性胸膜炎, 肺がん, 副腎腫瘍, 肺結核と診断され治療中, 急性心不全のため, 死亡した。
1061	大阪医療刑務所	男	59歳	平成14年7月	肝不全	急性胆嚢炎のため治療中, 肝不全のため, 死亡した。
1062	大阪医療刑務所	男	61歳	平成14年7月	肺炎	横行結腸がんによる腸閉塞のため治療中, 肺炎のため, 死亡した。
1063	大阪医療刑務所	男	66歳	平成14年7月	肺結核	肺結核のため治療中, 症状が増悪し, 死亡した。
1064	大阪医療刑務所	男	60歳	平成14年7月	大腸がん	出血性貧血, 消化管悪性腫瘍疑いのため治療中, 大腸がんのため, 死亡した。
1065	大阪医療刑務所	男	71歳	平成14年8月	白血病	骨髄異形成症候群のため治療中, 症状が増悪し, 白血病のため, 死亡した。
1066	大阪医療刑務所	男	76歳	平成14年8月	虚血性心筋症	慢性心不全, 腹部大動脈瘤のため治療中, 虚血性心筋症のため, 死亡した。
1067	大阪医療刑務所	男	60歳	平成14年8月	胆嚢がん	胆嚢がんのため治療中, 症状が増悪し, 死亡した。
1068	大阪医療刑務所	男	60歳	平成14年8月	直腸がん肝転移	直腸がん術後, 多発性肝転移のため治療中, 症状が増悪し, 死亡した。
1069	大阪医療刑務所	男	62歳	平成14年8月	胃がん	胃がん, 肝転移, 骨転移のため治療中, 症状が増悪し, 死亡した。
1070	大阪医療刑務所	男	67歳	平成14年9月	肝細胞がん	肝細胞がんのため治療中, 症状が増悪し, 死亡した。
1071	大阪医療刑務所	男	57歳	平成14年10月	肺炎	脳出血で治療中, 肺炎を併発し, 死亡した。
1072	大阪医療刑務所	男	54歳	平成14年10月	大腸がん	膀胱腫瘍のため治療中, 大腸がんのため, 死亡した。
1073	大阪医療刑務所	男	69歳	平成14年10月	肝細胞がん	肝がん, 食道静脈瘤のため治療中, 症状が増悪し, 死亡した。
1074	大阪医療刑務所	男	48歳	平成14年10月	食道がん	食道がんのため治療中, 症状が増悪し, 死亡した。
1075	大阪医療刑務所	男	67歳	平成14年10月	誤嚥性肺炎	左下肢蜂窩織炎のため治療中, 誤嚥性肺炎を発症し, 死亡した。

整理 番号	施設名	性別	死亡時 の年齢	死亡の経緯		
				死亡年月	死 因	概 要
1076	大阪医療刑務所	男	59歳	平成14年11月	がん性腹膜炎	幽門狭窄、胃がんのため治療中、がん性腹膜炎のため、死亡した。
1077	大阪医療刑務所	男	57歳	平成14年11月	多発性転移性肝腫瘍	多発性転移性肝腫瘍のため治療中、症状が増悪し、死亡した。
1078	大阪医療刑務所	男	50歳	平成14年12月	心不全	心不全、高血圧症のため治療中、症状が増悪し、死亡した。
1079	神戸刑務所	男	75歳	平成14年3月	脳幹部・小脳出血性梗塞	作業中、突然座り込み、くも膜下出血の疑いのため、外部病院に搬送したが、脳幹部、小脳出血性梗塞のため、死亡した。
1080	神戸刑務所	男	65歳	平成14年5月	肝細胞がん	肝硬変のため病舎で治療中、症状が増悪したため、外部病院に搬送したが、肝細胞がんのため、死亡した。
1081	神戸拘置所	男	61歳	平成14年8月	高血圧性脳出血	独居房で仰向けに倒れていたのを発見し、救急車で外部病院に搬送したが、高血圧性脳出血のため、死亡した。
1082	神戸拘置所	男	50歳	平成14年10月	急性心筋梗塞	雑居房で布団の上で横臥したまま手で胸を押さえ苦しんでいたのを発見し、救急車で外部病院に搬送したが、急性心筋梗塞のため、死亡した。
1083	岡山刑務所	男	62歳	平成14年2月	急性心不全の疑い	パーキンソン症候群のため病舎で治療中、症状が増悪し、外部病院に搬送したが、急性心不全の疑いのため、死亡した。
1084	岡山刑務所	男	43歳	平成14年4月	心不全	居房で畳のひもを使用して縊死を図っているところを発見し、救急車で外部病院に搬送したが、心不全のため、死亡した。
1085	広島刑務所	男	76歳	平成14年2月	粟粒結核	肺炎のため、外部病院に搬送したが、粟粒結核のため、死亡した。
1086	広島刑務所	男	72歳	平成14年3月	急性心筋梗塞	独居房でうつ伏せに倒れているのを発見し、救命救急措置を講じ、救急車で外部病院に搬送したが、急性心筋梗塞のため、死亡した。
1087	広島刑務所	男	63歳	平成14年4月	肝不全	肝細胞がんのため治療中、症状が増悪し、肝不全のため、死亡した。
1088	広島刑務所	男	58歳	平成14年4月	ネフローゼ症候群	ネフローゼ症候群のため治療中、症状が増悪し、死亡した。
1089	広島刑務所	男	41歳	平成14年4月	膀胱腫瘍	肝硬変症、膀胱腫瘍で治療中、症状が増悪し、死亡した。
1090	広島刑務所	男	59歳	平成14年5月	脳内出血	ネフローゼ症候群及び直腸がん術後のため経過観察中、作業中に体調が悪くなり、外部病院に搬送したが、脳内出血のため、死亡した。
1091	広島刑務所	男	46歳	平成14年7月	誤嚥性肺炎	脳内出血の疑いにより外部病院に搬送し、治療後、帰所し、加療していたところ、誤嚥性肺炎のため、死亡した。
1092	広島刑務所	男	73歳	平成14年9月	縊死	独居房で縊死を図っているところを発見し、救命救急措置を講じ、救急車で外部病院に搬送したが、死亡した。
1093	広島刑務所	男	51歳	平成14年10月	肝硬変	肝硬変、腹膜炎、胆嚢炎のため治療中、症状が増悪し、死亡した。
1094	広島刑務所	男	60歳	平成14年12月	膀胱がん肝転移	膀胱がんの病状を有していたところ、膀胱がん肝転移のため、死亡した。

整理 番号	施設名	性別	死亡時 の年齢	死亡の経緯		
				死亡年月	死 因	概 要
1095	広島刑務所	男	34歳	平成14年12月	肺水腫	呼吸不全症状が認められたため、外部病院に搬送したが、肺水腫のため、死亡した。
1096	山口刑務所	男	53歳	平成14年3月	急性呼吸不全	独居房で異状を発見し、救命救急措置を講じ、救急車で外部病院に搬送したが、急性呼吸不全のため、死亡した。
1097	徳島刑務所	男	57歳	平成14年1月	急性呼吸不全	脱水、肺炎等のため病舎で治療中、症状が増悪し、外部病院に搬送したが、急性呼吸不全のため、死亡した。
1098	高松刑務所	男	62歳	平成14年4月	肝がん	強度の貧血のため、点滴等の実施を予定していたところ、意識混濁、脈拍微弱状態に陥ったため、救命救急措置を講じ、外部病院に搬送したが、同病院において死亡した。
1099	高知刑務所	男	57歳	平成14年10月	急性呼吸不全	食道がんのため、外部病院に入院中、急性呼吸不全のため、死亡した。
1100	北九州医療刑務所	男	57歳	平成14年3月	腸閉塞	腸閉塞のため治療中、症状が増悪し、死亡した。
1101	福岡刑務所	男	84歳	平成14年1月	急性肺炎	慢性閉塞性肺疾患等のため治療中、容態が急変し、救命救急措置を講じたが、急性肺炎のため、死亡した。
1102	福岡刑務所	男	56歳	平成14年2月	急性心筋梗塞	入浴終了後、突然意識を失って倒れ、心拍及び呼吸停止状態となったため、救命救急措置を講じ、外部病院に搬送したが、急性心筋梗塞のため、死亡した。
1103	福岡刑務所	男	63歳	平成14年3月	敗血症	肝硬変のため病舎で治療中、吐血したため、止血措置等を講じ、外部病院に搬送したが、敗血症のため、死亡した。
1104	福岡刑務所	男	62歳	平成14年3月	S状結腸がん 及びその多発 肝転移	S状結腸がんのため、外部病院に搬送したが、症状が増悪し、死亡した。
1105	大分刑務所	男	52歳	平成14年4月	脳出血	雑居房で仰向けに倒れていたのを発見し、救命救急措置を講じ、救急車で外部病院に搬送したが、脳出血のため、死亡した。
1106	大分刑務所	男	54歳	平成14年7月	急性心肺停止	独居房で異状を発見し、救命救急措置を講じ、救急車で外部病院に搬送したが、急性心肺停止のため、死亡した。
1107	宮崎刑務所	男	61歳	平成14年7月	急性心不全	居房で異状を発見し、医務室に搬送したが、既に脈や呼吸もなく、両手足が硬直しており、急性心不全による死亡が確認された。

別表二 少年院の在院者

整理 番号	施設名	性別	死亡時 の年齢	死亡の経緯		
				死亡年月	死 因	概 要
1	加古川学園	男	19歳	平成8年5月	窒息	単独室で縊死を図っているところを発見し、救命救急措置を講じ、救急車で外部病院に搬送したが、窒息のため、死亡した。
2	奈良少年院	男	19歳	平成10年7月	窒息	単独室で縊死を図っているところを発見し、救命救急措置を講じ、救急車で外部病院に搬送したが、窒息のため、死亡した。
3	広島少年院	男	17歳	平成12年6月	窒息	集団寮便所で縊死を図っているところを発見し、救命救急措置を講じ、外部病院に搬送したが、窒息のため、死亡した。
4	京都医療少年院	女	14歳	平成12年11月	窒息	居室内で縊死を図っているところを発見し、救命救急措置を講じ、救急車で外部病院に搬送したが、窒息のため、死亡した。
5	関東医療少年院	男	18歳	平成13年9月	非定型縊死	集団室で縊死を図っているところを発見し、救命救急措置を講じ、救急車で外部病院に搬送したが、同病院において死亡した。
6	中津少年学院	男	14歳	平成13年10月	縊死	単独室で縊死を図っているところを発見し、救命救急措置を講じ、外部病院に搬送したが、同病院において死亡した。
7	沖縄少年院	男	15歳	平成13年12月	低酸素性脳障害	単独室で縊死を図っているところを発見し、救命救急措置を講じ、救急車で外部病院に搬送したが、死亡した。
8	京都医療少年院	男	18歳	平成14年1月	急性左心機能不全	単独室で異状を発見し、救命救急措置を講じ、救急車で外部病院に搬送したが、急性左心機能不全のため、死亡した。
9	関東医療少年院	男	19歳	平成14年2月	縊死	集団室で縊死を図っているところを発見し、救命救急措置を講じ、救急車で外部病院に搬送したが、死亡した。